

稲門フィラテリー 31 ～ 35 号目次



31 号 (2009.3.1)

横浜洋菓子事始	小林 彰	418
手彫切手の楽しみ NO2 創業期の郵便料金の変遷		
	坂下 泰一	427
「野球早慶戦とラグビー早慶戦」比較	磯野 昭彦	432
丑年に因んで	渡辺 勝正	435
切手偏見 5 連刷切手偏見でみると		437

32 号

何もようせい傳 ふたたび	池山 真彦	442
二人の収集家	木辺 円慈 (本磨)	451
慶應義塾郵便切手研究会、慶応義塾郵研三田クラブ		
150 周年記念号を発行		454
手彫切手の楽しみ NO3 房黄 2 銭 (版別法と楽しみ方)		
	坂下 泰一	455
クイーン・メリー 2 横浜来港	野島 正顕	459
切手に厠の香を聞く (2)	小川 義博	461
切手偏見 切手の原画とカットを偏見		468
大隈講堂切手 原画作者 藪野 健氏芸術院賞受賞		472

33 号

切手偏見 7 日本切手データベース完成		474
切手の個展あれこれ	長谷部 晃	479
手彫切手の楽しみ NO4		
製造面を中心に 破損とレタッチ等	坂下 泰一	483
"Ameri Stamp Expo 2009"	和田 文明	488
世界遺産とカジノ	西村 寿一郎	493

34 号

総会報告	青柳 次男	498
京の都への旅	上田 克己	500
卓球を描いた新中国切手	渡辺 浩章	505
日本切手 2009 年の発行状況		508
手彫切手の楽しみ NO5		
手彫り切手に観る二重丸型日付印	坂下 泰一	509
江戸を偲ぶ舟遊び	池山 真彦 小川 義博	513
切手偏見 8 文化財・スポーツ切手を偏見		516

35 号 (2010.3.1)

ゴルフ切手 (蒐集事始め)	杉山 光雄	522
手彫切手の楽しみ NO6		
長崎の初期郵便印: 不統一印と N1B1 印	坂下 泰一	527
三宅島の記	池山 真彦	531
お年玉くじ付年賀はがき等のあたり目について		
	佐藤 隆之	525
切手偏見 9 切手発行日を偏見		527

稲門フィラテリー

第31号

2009年3月1日発行

横浜洋菓子事始

小林 彰

はじめに

1865年から1880年まで横浜にフランスの郵便局があった。このフランス局に興味をもち、同局から発信されたカバーを初めて入手したのは1979年のことだった。それは3通で、すべて横浜のペイル兄弟(Peyre Freres)個人あるいはペイル兄弟洋菓子店(Peyre Freres Confiseurs et Pâtisseries)発信の南フランス・ローヌ川河口県の町ムーリエス(Mouries, Bouches du Rhone)のペイル父子(Peyre pere et fils)宛カバーだった。その後さらに4通のペイルカバーがコレクションに加わった(1通は日本横浜局引受)【図-1】。

以来、ペイル兄弟洋菓子店およびペイル父子について調べたいと思いつつ歳月が流れた。

2002年から調査を始め、ペイル兄弟の子孫の方と知り合うこともできた。2003年、2006年、2008年の三度にわたりペイル兄弟の故郷ムーリエスに足を運び、二男の曾孫に当たるセルジュ＝ケンソン氏(Serge Quensont)が当時のまま維持されている生家を訪ね、代々相続されてきた遺品の数々を見せていただいた。反対に2004年三社祭の初日にケンソン夫妻が来日され、ペイル兄弟洋菓子店跡などゆかりの地を訪ねた。



図1 ペイル兄弟洋菓子店発信カバー

① (1877年、日本横浜局引受アメリカ経由ムーリエス宛)

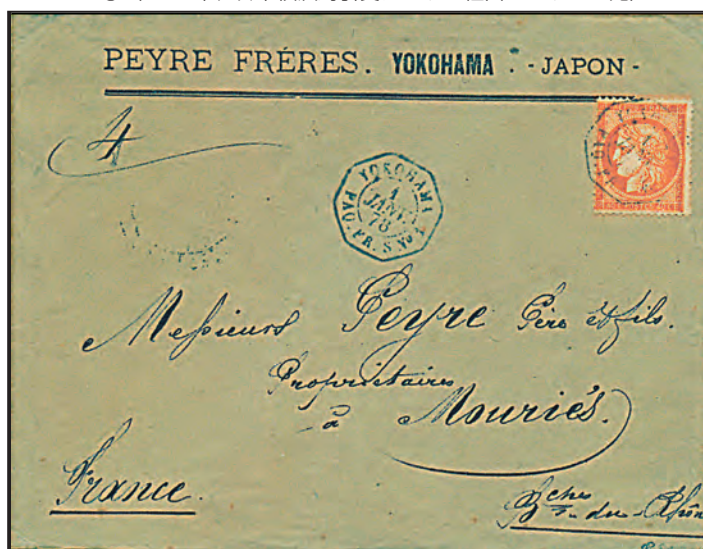


図1 ② (1878年、横浜出航仏郵船タナイス号船内局引受
香港・マルセイユ経由ムーリエス宛)

表 1-1 ペイル兄弟洋菓子店の系譜

西暦	オテル・ド・コロニ	インターナショナル・ホテル	オリエンタル・ホテル	ペイル兄弟洋菓子店	村上新堂	風月堂	ウチキバン	ヨコハマベーカリー	グッドマン・ベーカリー
1860									
1861									居留地 3.5 グッドマン
1862									クラーク
1863									
1864	居留地 164							居留地 135 クラーク	
1865	ラプラス ボナフー ボナ								
1866				サミュエル、マ サルセイユのセマ ドゥニ洋菓子店 で 1868 年ま で住込み見習					
1867									
1868									
1869		居留地 18 カーチスボナ							
1870									
1871			居留地 84						
1872			ボナ						
1873			サミュエル						
1874					柳町山元町 村上新堂				
1875				居留地 8012 月 17 日、ペイ ル兄弟洋菓子 店創業 アル チュール、サミュ エル	村上光保オリ エンタル・ホ テルでサミュ エルに師事				
1876									
1877									
1878			ペイル兄弟ホテル ボナと賃貸借契約					打木彦太郎 クラークのヨ コハマ カリーに見習 として住込	
1879			アルチュール サミュエル						
1880			サミュエル離日 ウジェンヌ来日						
1881			アルチュール離日 ジュール来日			筆頭番頭 来津松造		クラーク死亡 クラーク夫人	
1882			ホテルから撤退	居留地 85 洋菓子店新装開 店		横浜で西洋事 情見聞			
1883				ウジェンヌ					
1884				ジュール					
1885									
1886									
1887				クラタ・マサキ 子 谷戸綾二郎ほか 日本人職人住籍		来津松造 谷戸綾二郎か ら洋菓子の指 導	横浜元町 彦太郎のヨコハ マベーカリー創 業		
1888				日本郵便切手総 代理店					
1889				ウジェンヌ					
1890									
1891									
1892									
1893									
1894									
1895									
1896									
1897									
1898									
1899				ペイル兄弟洋菓子 店					
1900				ヴェイユに譲渡				クラーク夫人 死亡	
1901				店名は従来どお り					
1902									
1903									
1904				打木彦太郎弟入 店					

表 1-2 ペイル兄弟洋菓子店の系譜

西暦	ホテル・ド・コロニー	インターナショナル・ホテル	オリエンタル・ホテル	ペイル兄弟洋菓子店	村上開新堂	風月堂	ウチキバン	ヨハマベーカリー	グッドマン・ベーカリー
1905				日本人職人 10 名			ペイル兄弟洋菓子店で製造したケーキ類をヨコハマベーカリーでも販売		
1906									
1907									
1908									
1909									
1910									
1911				ヴェイユ廃業					
1912				ヴェイユ夫妻離別					
1913									
1914				ヴェイユ再来日			彦太郎弟 ヨコハマベーカリーに戻り洋菓子担当		
1915				ヴェイユ横浜で死亡					
2009					村上開新堂	風月堂	ウチキバン		

ペイル兄弟洋菓子店の系譜と兄弟の動向

ペイル兄弟洋菓子店の系譜を語るには「ホテル・ド・ルーロップ」(Hotel de l'Europe) の経営を引き継ぎ 1864 年に開業したフランス人ラプラス (Laplace) の「ホテル・デ・コロニー」(Hotel des Colonies) と 1861 年創業のグッドマン・ベーカリー (Goodman Bakery) の後を受けた英国人クラーク (R.Clarke) の「ヨコハマ・ベーカリー」(Yokohama Bakery) の 2 系列を辿る必要がある【左ページ 表 1】。

①洋菓子店開業前

1872 年 居留地 84 番でフランス人ボナ (Bonnat) が「オリエンタル・ホテル」(Oriental Hotel) を開業した。

他方、ペイル兄弟三男ポール＝サミュエル (Paul Samuel) は 1866 年から 2 年間マルセイユのセマドウニ洋菓子店 (G.Antoine Semadeni) で修業を積んでいた。その後、1874 年 4 月 21 日以前に単身で横浜にやって来て、「オリエンタル・ホテル」の副料理長として採用された。

②洋菓子店開業

1875 年 12 月 12 日、仏郵船ヴォルガ号 (Volga) で長男ジャン＝アルチュール (Jean Arthur) が横浜に着いた。長男到着後 5 日目の 12 月 17 日、ペイル兄弟洋菓子店を居留地 80 番で創業した。当時の英字紙 (The Japan Gazette) と仏字紙 (L'Echo du Japon) での開業広告を示す【図 2】。

三男サミュエルがすべてお膳立てし長男の到着を待って開業したに違いない。

勝海舟の三男・梅太郎と結婚したクララ＝ホイットニー (Clara A.Whitney) の「クララの明治日記」の 1877 年 4 月 20 日に「フランス人の経営するパールフレールですばらしくおいしいコーヒーを飲んだ。母はパール氏にねだっていったコー

ヒー豆を 1 ポンド売ってもらったが、パール氏は惜しくてたまらない様子だった」(一又民子訳、講談社、1976 年刊) と記されている。このことからペイル兄弟洋菓子店には喫茶室も併設されていたことがうかがえる。



図 2 ペイル兄弟洋菓子店開業広告

③ホテル経営

ボナがグランド・ホテル（Grand Hotel）を取得して二つのホテルを所有したので、1878年6月にペイル兄弟はボナから「オリエンタル・ホテル」を賃借しホテル経営に乗り出した。オリエンタル・ホテルを「ペイル兄弟ホテル」と改称し洋菓子店と喫茶室を併設した。ホテルのレストラン広告【図3】とホテルの外観【図4】。左側の建物外壁に HOTEL PEYRE FRERES の文字が見える。

レストランが評判で東京からも欧米人が食事を楽しみに来たという。前掲「クララの明治日記」の1879年3月15日に「パールフレールでお昼

を食べてから、私は山の手にヘップバーン夫人を訪問して楽しい時を過ごした」とある。ヘップバーン夫人とはヘボン式ローマ字の創始者であるヘボン医学博士夫人クララ。

兄弟の中で最初に横浜の土を踏んだ三男サミュエルが1880年4月4日に仏郵船ティール号（Tibre）で離日した。その後1880年12月1日に仏郵船タナイス号（Tanais）で二男マチウ＝ウジェンヌ（Mathieu Eugene）が夫人同伴で来日し、1881年2月10日には仏郵船メンザレ号（Menzaleh）で四男ジュール＝ダニエル（Jules Daniel）が来浜した。他方、長男アルチュールは1881年9月11日仏郵船ヴォルガ号で帰途についた。

④ホテルからの撤退と新洋菓子店

1882年8月12日付「The Japan Weekly Mail」：火曜日（8月8日）午前1時横浜居留地83番ホッジス夫人方から出火、消火活動をする間もなく全焼した。ポンプの到着後も給水が遅れ迅速かつ的確な消火活動ができなかった。このため炎は83番を焼き尽くし、ペイル兄弟ホテルに燃え移り、ホッジス夫人宅ともども焼失させた。（中略）。ホッジス夫人は家具も家財もすべて失ったが、ペイル兄弟は搬出しやすい高級家具の一部を持ち出せた。ホッジス夫人宅のスイス人の使用人が頭と腕に重傷を負った。

この8月8日の83番からの出火で84番の

ホテルを全焼し、保険求償も充分でなかったため、ペイル兄弟はホテルからの撤退を決意し12月4日に隣接の85番に移転して、レストランと喫茶室併設の洋菓子店を新規開店した。1893年7月8日の日替わり定食献立表が残されている【図5】。献立表には「美好」の署名。美好とは当時東京にいたフランス人風刺画家ジョルジュ＝ビゴー（Georges F. Bigot）で、美好はビゴーの雅号の一つだった。



図3 仏字紙 Le Courrier du Japon 掲載
ペイル兄弟ホテル併設レストランの広告



図4 ペイル兄弟ホテル外観
（石黒敬章氏所蔵）

⑤マチウ＝ウージェンヌ夫人の死

マチウ＝ウージェンヌ夫人メリナ＝ベルナル（Melina Bernard）が夫と共に 1880 年 12 月 1 日に来日したことはすでに述べた。1884 年 1 月 19 日横浜出航の仏郵船メンザレ号で子供 2 人と一時帰国して、1885 年 3 月 6 日タナイス号で再来日した。夫人は再来日 1 年後の 1886 年 3 月 22 日に生涯を閉じた。28 歳という若さであった。彼女にとって当時の日本は未開発で医療衛生問題、気候や風俗習慣の違いがあり、また攘夷の危険にもさらされただろう。最果て極

東の地での生活は困難を極めたに違いない。早逝した彼女は横浜外国人墓地に眠っている。子供 2 人、長男ジャン＝ニコラ＝サミュエル（Jean Nicolas Samuel）と長女ジャンヌ＝フランソワーズ＝ポール（Jeanne Francoise Paule）は横浜で誕生した。長男は 1897 年 7 月 1 日に再度来浜し父親の許で 1 年半過ごした。長女は女系が続いたため孫のケンソン氏はペイル姓ではない。

⑥ウージェンヌと兄弟の横浜撤退

1890 年四男ダニエルが離日した後は二男ウージェンヌただ一人で店を切り盛りした。しかし、1899 年ウージェンヌをしんがりに洋菓子店の経営を後継者ユダヤ系フランス人ジュスタン＝ヴェイユ（Justin Weill）に譲りペイル兄弟全員横浜を去った。その理由は明らかではない。この年、条約改正により 1859 年開港以来の居留地は撤廃され、外国人居留民にとって種々特権がなくなったせいかも知れないし、洋菓子店の財務状態あるいは生活上の問題だったかも知れない。

横浜洋菓子事始

a. 三男サミュエルと

村上開新堂

英国大使館至近の千代田区一番町にクッキーなど洋菓子やフランス料理で有名な「村上開新堂」がある。開新堂の初代・村上光保は京都から明治天皇と共に東上し、大膳職に就いた。文明開化とともに洋式接待の必要から宮内省より横浜外国人居留地のボナの経営するオリエンタル・ホテルに派遣さ



図5 フランス人風刺画家ビゴー作成
ペイル兄弟洋菓子店併設レストランの献立表

ウジェンヌは 1899 年に横浜を引き揚げるとき「日本郵便切手総代理店」は後継者に譲渡することもなく販売用の在庫切手すべてを故郷ムーリエスに持ち帰った。切手は手彫桜および旧小判が中心で多数の和紙製アルバムに納められ遺されている。その中に在庫見本帳とでもいうべき 1 冊があり、竜 48 文から図案改正洋桜 5 銭緑まで、カナ別も含めて手彫切手のほぼ全種が複数枚収まっている。また旧小判・新小判・U 小判や電信切手もあり、はがきは紅粋から小型カナなしまで全種揃っていた。

ペイル兄弟洋菓子店調査と子孫との交流

ペイル兄弟の往来を調べるため、横浜開港資料館で当時の英字新聞や仏字新聞掲載の乗船客名簿を 1874 年から 1917 年まで目を皿にして Peyre 名の乗船客がいなか追いつけた。このため横浜開港資料館には週に 3～4 回、5 カ月程通いつめた。しかし Peyre 名が見つからない日が殆どで落胆した。反対に Peyre を見つけた時には興奮し胸がときめいた。また、舗行名簿でも 1873 年版から 1912 年版まで Peyre Freres を探し求めた。さらに横浜で死亡している可能性も考えて横浜外国人墓地の埋葬者名簿にも目を通した。そしてウジェンヌ夫人の名前を見つけ、墓参した。

他方、2002 年 9 月、すべてのペイルカバールの宛先であるムーリエスの市役所助役に、19 世紀後半に横浜にいたペイル兄弟の戸籍謄本が欲しい、もし現在も兄弟の子孫が同地にいれば紹介して欲しいと書き送った。3 ヶ月後のクリスマスの日にペイル兄弟四男の孫でアルル (Arles) 在住のダニエル＝ペイル氏 (Jean Daniel Peyre) から返事が届いた。筆者にとって何よりのクリスマスプレゼントだった。

ムーリエス市役所から貴殿の書簡が転送されてきました。われわれ祖先の調査をされている由、たいへん光栄に存じます。私は四男ジュールの孫に当たり、両親から日本についていろいろ聞かされておりました。(中略)。二男ウジェ

ンヌの曾孫とも連絡を取りました。近々彼と会って、ご要望の家族の戸籍謄本を取り寄せ、また家系についてもお知らせいたします。(中略)。各種史資料などはここ一月以内にお届けできると思います。貴殿の調査はわれわれの心まで熱くしています。

これに対し、筆者が入手した史資料すべてを郵送した。横浜外国人墓地に眠るウジェンヌ夫人の墓碑の写真も同封した。そして近々ペイル兄弟の故郷ムーリエスを訪問しぜひ子孫の方々にお目にかかりたいと書き添えた。

年が明けた 2003 年 1 月、今度はウジェンヌの曾孫ケンソン氏から書状が送られてきた。

ペイル兄弟に興味を抱いている日本人がいると聞いてたいへん驚きました。(中略)。私の曾祖母メリナ＝ベルナルの墓碑の写真を目にしたときの感動を想像してください。(中略)。曾祖父が遺した日本切手のコレクションをお見せしたいと思います。来訪時期がはっきりしたらご一報下さい。

2003 年 6 月 12 日、パリのリヨン駅 (Gare de Lyon) 13 時 20 分発の TGV (新幹線) をアヴィニオン駅 (Avignon) で路線バスに乗り換えてアルル駅に着いたのは 17 時だった。この時刻、プロヴァンス地方 (Provence) の日差しはまだまだ強い。同駅でダニエル氏の出迎えを受けた。筆者にとって忘れぬ瞬間だった。自宅に案内された。夫人のマリーさん (Marie) は気さくで話好き。翌日昼過ぎにケンソン氏もエクサンプロヴァンス (Aix en Provence) からニコラ夫人 (Nicola) と共に駆けつけてくれた。

14 日、ペイル兄弟の子孫の方々の案内で一族が 15 世紀からその勢力を拡大していったというボー (Les Baux) の岩山を後方に見て、遂にムーリエスに第一歩を印した。陽が眩しい。早速、ペイル兄弟の生家に案内された【次頁 図 7】。現在はケンソン氏の所有で別邸として使用されている【次頁 図 8】。

生家の敷地は 5000 平方メートル、2 階建家屋の床面積は 400 平方メートル。その中に横浜



図7 ムーリエスのペイル兄弟生家
(現在は次男曾孫ケンソン氏の別邸となっている)



図8 生家で寛ぐペイル兄弟子孫・ケンソン氏とダニエル氏

から引き揚げた家財道具などが当時のまま手付かずで保存されている。横浜埠頭の額装写真、横浜の写真館で撮影した先祖の肖像や横浜からムーリエスまでの引越し荷物用木製通箱など。往時を偲びながら広大な生家の庭を散策し、ペイル4兄弟はなぜ豪農の親元を離れ日本を目指したのか考えた。彼らの両親は洋菓子店や食品・酒類の販売店を営んでいた訳でもなくホテル業でもない。筆者の推察。農業は重労働で若い

兄弟には耐えがたかった。他方、当時の日本は開発途上でそこに未知の魅力や新たな可能性を感じ日本へ旅立つ決心をした。事実はどうだったのだろうか。

おわりに

本2009年、横浜は開港150年を迎える。開港から15年後、1874年に先ずペイル兄弟三男サミュエルが横浜に降り立った。以来、二男ウジェンヌが横浜を引き揚げる1899年までの25年間4兄弟は入れ替わり来浜した。この間に兄弟が故郷に差し出したカバーは現在のところ36通の残存が確認されている(3通は日本横浜局引受)。

ペイル兄弟はわが国で最初の洋菓子の製造販売店を創業し、レストランと喫茶室を併設した。同時に食品や酒類の輸入販売を手掛けホテルにも進出した。加えて1887年頃「日本郵便切手総代理店」を設立、フランスを中心に日本切手の輸出も始め、郵趣分野でも先駆的役割を担っていた。また、開拓使の要請に応じ缶詰など北海道産品の品評にも協力した。

このように各分野で功績を遺したペイル兄弟ではあったけれど、その業容など詳細が正確に知られていなかった。調査結果はすでに数誌に発表しているが、今回本誌にその一部を紹介させていただく機会を得た。ペイル兄弟洋菓子店を通して当時の在日外国人の生活の一端や西洋文化のわが国への流入の様子など垣間見ていただければ幸いである。

「完」



と杉原千畝研究会の代表で、大正出版社長の渡辺勝正さんは続ける。
「ユダヤ人社会は命の恩人を探していたが難航。58年に再会を果たします。この縁で四男の伸生さんがへっ

杉原千畝氏の奥様の墓碑銘 (週刊新潮 2008.10.23)
前号、稲門フィラテリー 30 号に掲載すべきであったが紙面の都合で掲載できませんでした。

また、奥様、杉原幸子様と杉原千畝氏はその業績から切手としてグレナダで発行されております (2002 年 5 月、Grenada Carriacou & Petite Martinique)。ご夫妻で切手 (小型シート) に描かれることは皇族を除いて非常に珍しいので紹介しておきます。

1940 年 7 月、リトアニアのカウナスにある日本領事館にビザを求めるユダヤ人が押し寄せた。領事代理の杉原千畝さんは、ナチスに追われる難民を救うため、ビザ発給を外務省に打診するが拒否される。妻の幸子さんは、ビザ交付の決断に迷ひ眠れざる。夫のベッドの畔を明けり、と、詠み、自身も母乳が止まるほど神経をとがらせた。

領事館閉鎖までの約 1 カ月間、訓令に背きビザを書き続け、約 6000 人の命が救われた。日本で注目され出したのは、40 年以上も過ぎた 1980 年代だ。

「たいしたことをしたわけではない、人間として当たり前のこと、と千畝さんと幸子さんは家族の中ですら話題にしなかったのです」



ライ大学に給費生として招かれたことを報じる記事が、この逸話が日本で公になった最初です。イスラエルから勲章を受けても夫妻は騒がれることを好まなかった。

幸子さんは 1913 (大正 2) 年生まれ。郷里は岩手の遠野。両親は教師で転勤が多かった。作家志望の文学少女で、パリで美容院へ

東京で 13 歳年上の千畝さんと出会い「外国へ連れて行っても恥ずかしい」と求婚された。千畝さんは前妻からしばらく金を無心され、39 年に着任し、ビザ発給の舞台となったリトアニアでも、「前妻から靴が欲しい」と足の型紙が送られてきた。あつらえて送ったと幸子さんはあつけらかんと話してく

から 15 年も商社員としてモスクワに単身赴任。85 年にイスラエルから最高位の勲章を受けた翌年に他界した。「周りの勧めを受け、幸子さんが『六千人の命のビザ』を著し、講演を行うようになったのです。幸子さんの活動がなければ、千畝さんの功績は日本では再び埋もれたかもしれない」(渡辺さん)

墓碑銘

「命のビザ」の生き証人

杉原幸子さんの信念

✓を開きたいとも考えていたという。香川の高松高等女学校を卒業後、上京した。

一方の千畝さんは、ハルビン学院を卒業、満州国の外交部でロシア通として高く評価されていたが、軍部の横暴を嫌い、35 年に外務省に。11 年間連れ添ったロシア人とは帰国時に離婚した。その年、21 歳の幸子さんは

「リトアニアが独立 (90 年) した後に、領事館の場所を訪ね、感慨深い様子でした。建物はずいぶん古く、使われていて 3 階には当時から住む人が健在で、再会を喜び合ったのです」(先の知人、リトアニアへの思いは強く、2001 年には 87 歳にして桜の植樹などを行った。「日本のシンドラー」と称

賛された千畝さんの行為を、国の手柄にすり替えようとする動きも出てきたが、「退職を余儀なくされて苦労したことに思いはあっても幸子さんは外務省を批判しなかった。千畝さんの生誕 100 年にあたる 2000 年、河野 (洋平) 外務大臣が幸子さんに直接謝罪し、外交史料館に顕彰のプレートが設置されたことで名誉が回復されたと感じていた。千畝さんを冒瀆する虚偽にあふれた本には名誉棄損の裁判を起こし、勝訴したこともあります」(渡辺さん)

5 年程前に脳梗塞に倒れ、今年 9 月に肺炎を起こした。10 月 8 日、94 歳で逝去。

「リトアニアが独立 (90 年) した後に、領事館の場所を訪ね、感慨深い様子でした。建物はずいぶん古く、使われていて 3 階には当時から住む人が健在で、再会を喜び合ったのです」(先の知人、リトアニアへの思いは強く、2001 年には 87 歳にして桜の植樹などを行った。「日本のシンドラー」と称

賛された千畝さんの行為を、国の手柄にすり替えようとする動きも出てきたが、「退職を余儀なくされて苦労したことに思いはあっても幸子さんは外務省を批判しなかった。千畝さんの生誕 100 年にあたる 2000 年、河野 (洋平) 外務大臣が幸子さんに直接謝罪し、外交史料館に顕彰のプレートが設置されたことで名誉が回復されたと感じていた。千畝さんを冒瀆する虚偽にあふれた本には名誉棄損の裁判を起こし、勝訴したこともあります」(渡辺さん)

「リトアニアが独立 (90 年) した後に、領事館の場所を訪ね、感慨深い様子でした。建物はずいぶん古く、使われていて 3 階には当時から住む人が健在で、再会を喜び合ったのです」(先の知人、リトアニアへの思いは強く、2001 年には 87 歳にして桜の植樹などを行った。「日本のシンドラー」と称

賛された千畝さんの行為を、国の手柄にすり替えようとする動きも出てきたが、「退職を余儀なくされて苦労したことに思いはあっても幸子さんは外務省を批判しなかった。千畝さんの生誕 100 年にあたる 2000 年、河野 (洋平) 外務大臣が幸子さんに直接謝罪し、外交史料館に顕彰のプレートが設置されたことで名誉が回復されたと感じていた。千畝さんを冒瀆する虚偽にあふれた本には名誉棄損の裁判を起こし、勝訴したこともあります」(渡辺さん)

5 年程前に脳梗塞に倒れ、今年 9 月に肺炎を起こした。10 月 8 日、94 歳で逝去。

と杉原千畝研究会の代表で、大正出版社長の渡辺勝正さんは続ける。
「ユダヤ人社会は命の恩人を探していたが難航。58年に再会を果たします。この縁で四男の伸生さんがへっ

と杉原千畝研究会の代表で、大正出版社長の渡辺勝正さんは続ける。
「ユダヤ人社会は命の恩人を探していたが難航。58年に再会を果たします。この縁で四男の伸生さんがへっ

と杉原千畝研究会の代表で、大正出版社長の渡辺勝正さんは続ける。
「ユダヤ人社会は命の恩人を探していたが難航。58年に再会を果たします。この縁で四男の伸生さんがへっ

と杉原千畝研究会の代表で、大正出版社長の渡辺勝正さんは続ける。
「ユダヤ人社会は命の恩人を探していたが難航。58年に再会を果たします。この縁で四男の伸生さんがへっ

と杉原千畝研究会の代表で、大正出版社長の渡辺勝正さんは続ける。
「ユダヤ人社会は命の恩人を探していたが難航。58年に再会を果たします。この縁で四男の伸生さんがへっ

創業期の郵便料金の変遷

坂下 泰一

創業期の郵便料金は次の3つの時期に分類できる。

①宛先別料金制

この制度は前島密により、わが国に新式郵便制度が発足した明治4年3月1日(1871.4.20)から、長崎にまで郵便路線が拡張された明治4年12月4日までの約9カ月間継続した。東京から、神奈川まで百文(最低料金)、静岡まで五百文、西京まで一貫四百文、大阪まで一貫五百文(最高料金)等、郵便役所や郵便取扱所毎に料金が規定され、基本重量5匁(約19グラム)を超えた場合、5匁増す毎に5割の超過料金を徴収した。

②距離別料金制

明治4年12月5日から料金は距離制となり、基本重量が改正になった。重量2匁まで、25里以内100文、50里以内200文、100里以内300文、200里以内400文、200里以上500文。2匁以上4匁まで倍額、しかし、すぐ後、基本重量は4匁に変更になった。

③全国均一料金制

郵便が全国に行きわたるに伴い、明治6年4月1日から均一料金制を実施。一般書状2匁毎、同一市内1銭、市外2銭。無局地へは持ち込み料として1銭追加した。



図1 竜48文1版ペア貼り

創業期(手彫切手時代)の郵便料金を物語ってくれる書状を、筆者の収集品の中から選び、その変遷の一端を示したいと思う。

①「宛先別料金制」(該当する切手はすべて竜文切手)

この制度の書状は、発足まもない明治4年の使用例なので、一般的に稀少である。

図1は、西京から大阪まで、料金100文。竜48文1版縦ペアを大型「西京検査済」で抹消している。料金100文にたいして、48文が2枚の96文が貼られているのは銭九六文を百文に通用させた江戸時代からの商慣習(九六勘定)によっている。96は2でも3でも割り切れる便利な数字であることから来ているらしい。右上に(7月26日)の墨による書き込みがあるが、年号はない。しかし、4年7月26日の使用例と思われる。4年の12月以降は角型の「干支入日付印」が押されているのだが、その印がないからである。またこの書状の下方に朱色の丸印(一部欠けている)があり、郵(ゆう)と読める。これは、創業時、西京の郵便役所前(姉小路車屋町)の書状集箱(箱場)で使用していた箱場印である。この○郵は、数が

少なく4年の使用例しか見つかっていない。初期データは榎 哲朗氏所蔵の明治4年8月3日他が知られているが、今回、それよりも早い4年7月26日が新たに加わることになる。

図2は、48文1枚、100文1枚、200文3枚合計5枚貼り750文を大型「東京検査済」で抹消したカットである。48文の1枚貼(奇数貼)は少ない。当時の料金体系によると、基本重量



図2 竜48文1枚、100文1枚、200文3枚 3種貼り(実物大)

5匁を超える
と5割増料金
を取った。し
たがって、48
文の奇数貼が
見られるのは、
重量便で、宛
先の料金が
100文、300
文、500文、
700文等の奇
数のときに限
られる。この
カットは東京
からどこに宛
てて差し立て
れたものであ
ろうか。次の数式から簡単に宛先の料金が算出
できる。

宛先料金 $\times 1.5 = 750$ 文から宛先料金 = 500 文

東京から500文のところと言えば、静岡か岡部あたりか。

②「距離別料金制」(該当する切手は、主に竜文・竜銭切手と和紙桜切手)

図3は、松阪より四日市まで、25里以内100文(1銭)の料金である。竜半銭2版2枚貼りを「松阪駅」印で抹消。「23日」と「改発」の2つの枠付き朱印が書状の中ほどに見られる、(6月22日出)の筆書きがあることから6月23日に松阪駅を差し立てたと思われる。裏面には「松阪駅/郵便所」の朱色の角型印と「6月23日/四日市/駅郵便/取扱所」の朱印が到着印として押されている。この書状には年号がどこにも出てこないが、四日市の3行の角型印は使用期間が

短く5年の5月頃から10月頃までの使用例しかなく、6年には、「日月/四日市駅/郵便役所」の2行印が使用されている(中川長一氏編「初期消印集成」による)。また、6年4月1日から料金の改定があり全国一律市外2銭になった。

以上のことから推測して、この書状は、6年ではなく5年6月23日の使用である、と言えよう。

竜半銭2版の最初期使用例は、明治5.8.24(「手彫切手専門カタログ」2007年版による)であるから明治5.6.23は2ヵ月も記録を更新することになる。また、この2枚の竜銭切手は2版の同一位置26番であるという、珍しい使用例のおまけまでつく。当時の幼稚な器具による不揃いな目打(短器目打)のシートを2枚重ねて同じ位置を取り出すのは至難の業であったろうから、一体どのような取り出し方をしたのだろう。同じ位置が2枚揃ったのは全くの偶然であったのかもしれない。

図4は、彦根より東京まで、200里以内400文の使用例。竜200文1版縦ペアに「彦根消」印で抹消。(5月14日発)の筆書きがある。「壬



図3 竜半銭2版ペア貼り 裏面



図4 竜200文1版ペア貼り 裏面

申五月十九日 / 東京 / 郵便 / 役所」の青色到着印と朱色枠付き便号印「朝便」がある。この便号印は明治5年3月1日から、それまで1便であったのを3便(「朝便」、「昼便」、「夕便」)に増やしたのに伴って導入された。5年6月1日より、さらに3便から5便に増便された。裏面



図5 竜500文1版 1枚貼り 裏面

には黒色の角型「彦根 / 郵便」が押印されている。

図5は、大阪より東京經由宮内(羽前)まで、200里以上500文の使用例。竜500文1版を小型「大阪検」で抹消した適正料金1枚貼り。書状の上方に大阪市内の箱場印黒色○本が見られる。この箱場印は郵便創業時開設した7カ所の1つで使用されていたもので、箱場は本町橋西詰にあった。裏面に「大阪明治入日付印」(明治6年3月__日)の角型朱印がある。日が判読できないが(3月13日)の墨書きがあるので、差し立て日は13日。裏と表にそれぞれ「東京千支入日付印」があり、17日に到着し、18日に差し立てたことが分かる。「大阪明治入日付印」の最後期使用は「初期消印集成」によると、明治6.3.14とあるから、3月13日はそれに継ぐ後期使用例になる。なお、全国一律2銭になると、竜5銭(500文も)は通用不便利という理由で、5月末日で使用禁止になった。したがって、この切手の使用期間は短く、使用済みは少ない。

③「全国均一料金制」



図6 和紙黄色
2銭14版貼り

図6は、2匁以内の市外2銭料金。四日市より東京宛て。和紙黄色2銭14版に大型「四日市検査済」で抹消。(3月27日発)の書き込みがある。裏面に「N1B1 東京 7.3.31 日中」の到着印が押されている。

大型「地名入検査済」を7年になっても使用した局に、四日市の他、浜松、見附等がある。

図7は、2倍重量便の使用例。上野(伊勢)より四日市經由東京宛て、2銭×2(2倍重量)=4銭。竜2銭ペアを「上野駅」(篆書)で抹消。角型「3月24日 / 四日市駅 / 郵便役所」の中継印、「N1B1 東京 6.7.27 午前」の到着印がある。裏面に不鮮明ながら朱色の「郵便御用 / 勢州 / 取扱所」



図7 竜2銭ペア貼り



図8 和紙青1銭1版、和紙赤2銭2版貼り

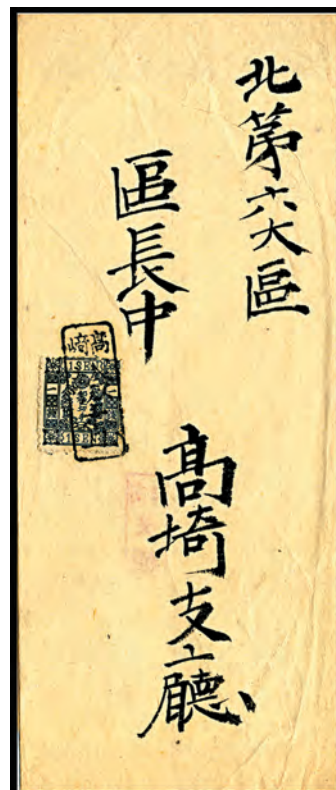


図10 洋紙青1銭仮名二

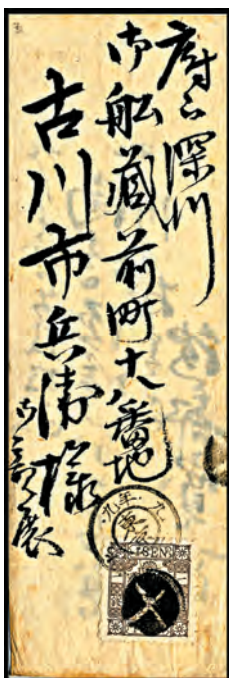


図9 房1銭2版貼り

／上ノ駅」と判読できる角型印がある。
図8は、郵税2銭＋持ち込み税1銭合計3銭。東京より土浦(常陸新治)下高津村宛ては3銭(郵税2銭＋下高津村は郵便局がないため持ち込み料金1銭追加合計3銭)。和紙青1銭1版と和紙赤2銭2版(中間印刷)に「N1B1 東京 6.4.29」を押印。東京市内局の1つである枠付き「松住」の黒印がある。

図9は、同一市内宛て、2匁まで1銭。房1銭(2版32番)を東京「白抜十字」印で抹消。「N2B2 東京 9.9.24 ち」。32番切手は「右中の七宝輕彫」の変種である。

図10は、地方官庁からの指令書等、無封の場合、半額の1銭。高崎支庁からの指令書。洋紙青色1銭仮名二を「高崎検査」で抹消。裏に「高崎夕便」の朱色の便号印が押されている。

図11は、別配達料金2

銭＋郵税2銭合計4銭。上水内郡中条から差し立て。洋紙改色1銭仮名なしペア2組を中条KG印「信濃・水内 7.18」で抹消。4枚貼りは、この切手の最大多数貼であり、KG消しは珍しい。

図12(次頁)、不便地へ至急配達を希望する場合は、別仕立にして受取人より相当の料金を徴収した。千葉県庁より市原郡菊間(不便地)宛ての指令書、「八幡より別仕立」で配達。改色緑4銭口を、「記番印ハ29号」で抹消。裏面に(9年



図11 改色1銭仮名なしペア2組貼り



図12 改色4銭
仮名口1枚貼り

11月25日発ス)の書き込みと千葉のKG印がある。

図13から図15は、書留便の使用例である。書留料金は6年4月1日から全国1通4銭、9年1月1日からは全国6銭に改定になる。

図13は、書留料金4銭+郵税2銭合計6銭。高津(石見国)差し立て、雲州宇竜宛て。和紙紅色4銭14版と房2銭を楕円形の「石高検」(石見国高津)で抹消。表面の12月25日は8年の12月25日のことである。房2銭の最初期使用例が明治8.8.5であることや、9年の1月1日から書留は6銭に値上げされたことから推測できる。これは値上げ直前の使用例である。なお、宇竜には、当時まだ郵便局が無かったので、持ち込み料1銭が必要で、1銭が無いと、不足税2銭を徴収されることになるが、この書状で判るように規則が徹底されてない局もあったようだ。

図14は、書留料金6銭+郵税2銭合計8銭。出雲国能義郡広瀬差し立て、大阪宛て。改色緑4銭仮名口縦ペアを「記番印イハ13号」で抹消。朱色広瀬KG「出雲・能義・5.19」。裏面に(9年5月17日午後1時発)の書き込みと「N1B1大



図15 洋紙 褐色6銭仮名ソ、
裏面 房2銭、改色1銭仮名タ貼り

阪9.5.22」の到着印がある。

図15は、書留料金6銭+郵税2銭+持ち込み料1銭合計9銭。小樽差し立て、越後国脇川村宛て。洋紙褐色6銭仮名ソ、房2銭と改色1銭仮名タを小樽KG「後志・小樽6.27」で抹消。裏面の「N1B1新潟 7.12午後」の日付から小樽から新潟まで15日かかったことになるが、その間の運送経路は不明である。船で直接日本海を通って運ばれたと考えられないものか。東京や横浜を経由していれば、その中継印がありそうなものである。○型大月の不統一印があるので、脇川村へは大月を経由したことが分かる。

明治16年1月1日の郵便条例施行により、市外地2銭、市内1銭の2本立ては廃止され、持ち込み料もなくなった。これでわが国も完全な均一料金制の時代に入った。

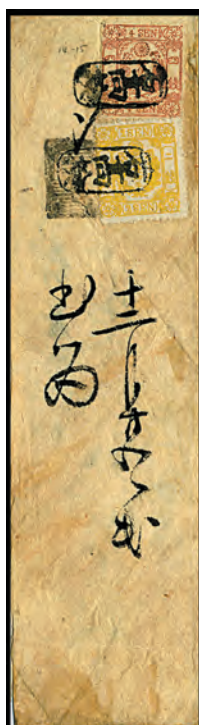


図13 和紙紅4銭
14版 房2銭貼り



図14 改色4銭
仮名ロペア貼り

「野球早慶戦とラグビー早慶戦」比較論

磯野 昭彦

慶応義塾創立150年記念切手が2008年11月7日に発行され、その10枚セットのうち2枚が、早慶戦（野球）と早慶戦（ラグビー）であった。野球は慶応が早稲田の好返球にも拘わらずホームイン、ラグビーは慶応が早稲田のタックルをはずして快走突進、という慶応が早稲田をいずれも圧倒するイラストであった。



では、2008年秋の野球とラグビーの早慶戦では果たしてどうなるか。神宮球場と秩父宮ラグビー場に行ってみた。両スタンドとも8割位の入りだった。そこで気がついたことは、野球早慶戦とラグビー早慶戦とは同じスポーツながら伝統、文化などいろいろな面で大きな違いがいっぱいあることだった。以下、私なりにその一端を解説してみよう。

入場券と入場料

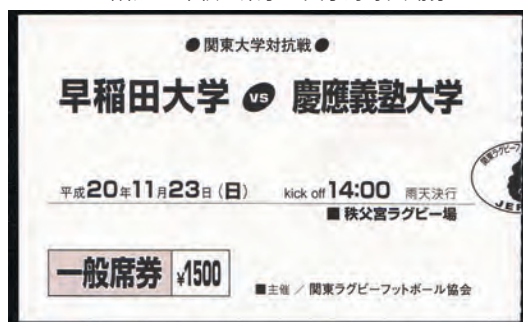
野球の入場券は昭和30年代からデザイン、大きさ、紙質などほとんど変わらずで、大きさはラグビーに比べ小さく半分以下、紙質も薄く悪く裏面印刷が透けて見える。野球もラグビーも文字のみが単色で印刷されている。

対戦大学名の記載は野球が「早大ー慶大」と省略記載、ラグビーは「早稲田大学 vs 慶応義塾大学」となっている。

なにより、入場料が驚きである。一般席の最低料金が野球は外野席700円、ラグビーが一般席1500円である。野球の一番高い特別指定席



昭和35年秋の東京6大学野球入場券



昨年の早慶戦入場券 ラグビー（上）と野球（下）

でも1300円である。（ラグビーの一番高いのは知らない）。

入場券だけを見る限り、野球よりもラグビーの方が番付上位に見える。野球はラグビーにばかにされているかのようだ。



応援と観客席

神宮球場では、学生席は1塁側が早稲田、3塁側が慶応と決まっており、一般観客も早稲田を応援するなら1塁側、慶応なら3塁側に陣取る。そして野球の応援は応援部がすべてを仕切り、試合前の応援合戦から終了後のエール交換まで応援部なしでは野球早慶戦は成り立たない。

南北にゴールがある秩父宮ラグビー場はメインスタンドである西スタンドの北側が早稲田、南側が慶応と学生席が一応決まっているもの

の、両校のラグビー首脳陣と応援部女子チアリーダーのみが陣取っているだけで学生らしき姿はあまりいないし、熱心な応援をしていない。応援部としてはチアリーダーのみがハーフタイムに少しの演技と試合開始前にエール交換で校歌を斉唱（プラスバンド伴奏なしで）するだけで、応援を盛り上げることはしない。従って、応援部男性リーダー、プラスバンドの活躍はない。

学生を含む観客は南、東、北スタンド（北は立見のみが許されるスタンド）で早稲田応援の観客と慶応応援の観客が混在する状態で試合を応援するのである。当日、私の後と左隣は慶応ファンであった。これがラグビー早慶戦応援の楽しさらしい。それでもどこかのサークルの仲間100名ほどが集まって勝手に紺碧を歌っていた。野球のような応援グッズもない。

このようなことから野球とラグビーとは応援の雰囲気も自ずと違ってくる。そもそも野球は試合開始何時間も前から選手の練習を見ながら応援歌を楽しみ、応援する気持ちを高ぶらせていくのであるが、ラグビーでは試合開始直前まで選手の姿は見えないし応援合戦なんぞなく、いきなりキックオフになるのである。野球とラグビーに共通するスタンド風景は、早稲田スポーツや慶応スポーツを見ながら場内アナウンサーによる出場選手の発表を聞くこと位である。

また、応援している観客を見ていると、野球は学生時代から応援しているので今年も応援にきたという人たちが多く野球の中身より雰囲気を楽しみにきている。私のそばのオジサンたちは野球の話でなく世間話ばかりしていた。ラグビーは真にラグビーを愛するファンが主体であるようで、選手の細かい動作にまでも真剣に声援を送っていた。

スタンド内の飲食物販売

われわれOBたちはゲームを見ながらビールを飲むのが大きな楽しみである。神宮では、生ビールとおつまみを可愛い売り子から欲しいだけ買うことができる。秩父宮では売り子はほとんどいなかった。やっと現れたのは少し汚いお兄さんで瓶ビールのみしかなく、生ビールはなかった。しかも、神宮ではビール大手4社からお好みメーカーを選べるのに、秩父宮は麒麟しかなかった。ラグビーでは好きなメーカーの生ビールを飲みながら応援してはいけないようだ。

早稲田スポーツと慶応スポーツ

早慶両校のスポーツ紙である早稲田スポーツと慶応スポーツは、野球、ラグビー、レガッタのときに特集号を発行し、ファンを喜ばせている。定価100円である。野球早慶戦では、周辺の駅から神宮にくるまでの路上で有料販売（12頁）している。ところが、ラグビー早慶戦では、なんと周辺の駅から秩父宮にくるまでの路上で無料配布（6頁）しているのである。これには驚いた。なお、野球早慶戦で試合終了後、余った早稲田スポーツは10円で販売されている。

観客のアクセス

神宮球場のゲートは内外野にそれぞれ複数あるが、秩父宮ラグビー場はゲートがたった

1ヶ所、試合終了後は2ヶ所となる。このゲート数の差は、特に帰路の混雑の差となっている。



昨年、無料で配られた早稲田、慶応両校のスポーツ紙
早慶ラグビー特集号

ついでにラグビー早明戦も

2008年秋には、ラグビー早慶戦より伝統があるラグビー早明戦も観戦してみたくなり、今度は国立競技場に行った。

その入場券を見たら、ラグビー早慶戦と大きさは同じだが上紙質、カラーイラスト付、立派に美しくデザインされている。野球早慶戦の入場券はちゃちでおもちゃに見える。

応援はラグビー早慶戦とは大分違っていて、校旗掲揚などあり、応援部男子部員も少しは活躍の場がありほっとした。従ってラグビー早慶

戦より試合前のセレモニーは少しだけ荘厳であった。だが、スタンド、フィールドがあまりにも広いので、なにをやっているのかよくわからなかった。

学生席はラグビー早慶戦と違って、南側スタンドが早稲田、北側スタンドが明治と指定されているが、誰でもが自由に入れる。

私は明治の応援席にとびこんでしまった。実は、冬の北側スタンドは秩父宮ラグビー場と同様日当たりがよく暖かいのである。

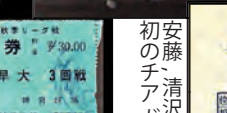
この試合、早稲田は元氣なく惜敗したが、この時、明治ファンの歓喜の姿は天下一を取ったようだった。六大学野球で何年前かに東大が慶大に完勝したときの東大ファンを思い出した。母校を愛する精神はどの学校も皆同じと思った。

早稲田スポーツは、早明戦特集号をこれまた路上で無料配布(10頁)していた。明治スポーツももちろんであった。



思い出の早慶6連戦

1回戦から6回戦までの入場券



位置	氏名	背番号	学年	出身校	学年	生年月日	出身校
投手	玉置 孝	168	60	徳島	13	8.1	高
捕手	山崎 孝	170	61	徳島	13	9.18	野
一塁手	沢村 孝	172	60	徳島	13	12.1	高
二塁手	三浦 孝	174	60	徳島	13	4.16	高
三塁手	三浦 孝	174	60	徳島	13	4.16	高
四塁手	三浦 孝	174	60	徳島	13	4.16	高
五塁手	三浦 孝	174	60	徳島	13	4.16	高
六塁手	三浦 孝	174	60	徳島	13	4.16	高
七塁手	三浦 孝	174	60	徳島	13	4.16	高
八塁手	三浦 孝	174	60	徳島	13	4.16	高
九塁手	三浦 孝	174	60	徳島	13	4.16	高

栗本の登山用品

優秀舶来品在庫豊富

銀四 座目 栗本運動具店 (561) 0360 2390 2396

栗本の庭球用品

フタバヤ、河崎製品在庫豊富

銀四 座目 栗本運動具店

丑年に因んで

2009年は丑年、牛と切手といえば、稲門フィラテリーの会員は 通称「オックス」(OX、雄牛)と呼ばれていた渡辺勝正氏と、その収集品であるブラジル、牛の目切手を思い起こすに違いない。

昨年「郵趣」12月号に「拝見 10枚の愛蔵コレクション」の85回として「私の好きな牛の切手」と題して渡辺勝正氏の収集品10点が氏の説明文とともに紹介された。(編集子)

平成21年の干支「丑」に寄せて

拝見!

10枚の愛蔵コレクション



メクレンブルクの牛

メクレンブルク・シュワレーン (1856)
鼻輪を付け、王冠をかぶった牛。ドイツ・メクレンブルク公国の紋章。世界で最初に発行された牛切手であり、世界で最も小さい切手として知られている。



乳牛/ホルスタイン種

キューバ (1947)
オランダで改良された乳牛で、世界でもっとも広く普及している乳牛である。別名「フリージャン種」ともいう。図案は国内展覧会入賞のホルスタイン(中央ガッター付き)。

私の
No.1



モルダビアの雄牛

モルダビア (1858)
ルーマニアの前身モルダビア侯国時代に発行された切手。家畜牛の先祖である野牛オーロックスを图案化したモルダビアの雄牛。映画「シャレード」のモデルで登場し、大珍品切手として有名になった。



乳牛/エアシャー種

ニュージーランド (1956)
エアシャー種は、スコットランドを原産地とする乳牛。ニュージーランドで普及。ホルスタインより小さいが、牛乳の濃度が高く、バターやチーズの生産に役立っている。



役牛/クリオロ

パナマ (1942)
中南米の家畜牛は、品種を特定できないものが多く、一般的にクリオロと総称している。役牛は運搬、耕作に現在でも活躍している。これはサトウキビを運ぶ2頭立て牛車。

牛は古代から現代まで、熱帯から寒帯まで、人類にとって最大のパートナーである。したがってその関係は実に多種多様で面白い。牛切手といっても、牛の姿を描いた切手だけがコレクションの対称ではない。チーズやバターなど

も牛切手であり、牛車も鋤も牛切手の範疇に入る。また、このようなテーマイク・コレクションには、記念印などの各種郵趣マテリアルの探查が求められる。

(渡辺 勝正)

私の好きな

第 85 回

渡辺勝正

切手は特記外拡大150%

()内は発行年

牛の切手

人間に役立つ動物の筆頭は牛である。したがって動物切手の中で、牛がもっとも多く多くの国から発行されている。牛切手を追いかけるためには、世界各国を広く、また各時代を深く調査しなければならない。熱帯地方から寒帯地方まで、湿地帯から乾燥地帯まで、さらに牛には家畜牛の他に野生牛も多いが、牛切手を探索すれば、世界中の切手発行事情を知ることができる。第二次世界大戦後のアジア・アフリカ新興独立国が、農耕、牧畜、野牛切手などを発行し、牛切手の世界を活気づけている。

家畜牛を大きく分類すれば、肉牛、乳牛、耕牛ということになるが、品種の分類は200種を超える。さらに牛切手を大きくとらえて細分類すれば、牛乳、チーズ、バター、皮革、耕作、運搬などにも分けることができる。その他、文化面での見方によれば、神話、十二支、星座、洞窟壁画、彫刻、絵画、楽器、祭事、競技など、際限がない。牛切手は実に多種多様で面白い。

■渡辺勝正(S169)：1937年丑年生まれという単純な動機から、牛切手を集め始める。1967年、オランダで開催された国際切手展に牛切手を出品。丑年同期生の故・小淵恵三首相を囲む「牛讀郵便会」はユニークな存在だったが、現在は残念ながら休眠中。〈JAPEX〉登録審査員。



牧畜／嵐の中の牛

アメリカ (1898)

アメリカ大陸は広大な牧場によって発展した。トランス・ミシシッピ博覧会開催で、西部開拓を示す切手として発行。1ドルの黒牛は名品として名高い。



野牛／バンテン

インドネシア (1946)

インドネシアのバンテン牛は野牛であるが、家畜化されて耕牛として利用される。インドネシア独立に当たり、記念切手には鎖を切ったバンテン牛が描かれている。



闘牛／リディアン種
スペイン (1960)
スペインの闘牛。ローマ帝国時代からの伝統を継ぐ、牛と人間との競技にも古くからの規則が守られている。



野牛／ヨーロッパ・バイソン
チェコスロバキア (1959)
第二次世界大戦で絶滅寸前になったヨーロッパ・バイソンだが、各国の保護活動によって復活した。



野牛／アメリカ・バイソン

アメリカ (1898)

アメリカ平原のバイソンは、ネイティブ・アメリカンと共生していたが、ヨーロッパからの白人の侵入で危機に瀕した。しかし野生動物保護令が出されて、現在は安定している。

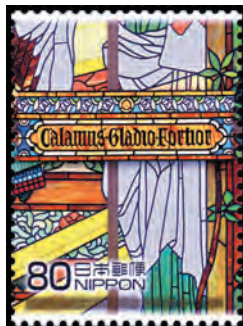
切手偏見



慶応大学創立 150 周年記念切手を手にして、他の記念切手にも増して、収集を意図し、実際の使用は念頭にない切手として発行されたと考えざる得ないことが非常に残念に思われた。

それは切り離して使用するのに躊躇する画像を分割して連刷した切手が 10 枚の切手のうち 6 枚も占めていること、更に、6 枚の切手のなかに、画像を縦横に 4 分割している 4 枚の切手（ステンド・グラス）が存在したことである。この 4 枚、切り離すと一枚の切手としては表現しているものが理解しにくく、残念としか言いようがない。

この 4 枚の切手を考える時、画像を分割している連刷切手のもつ問題を整理する必要を考えた。



1 枚の切手にすると、何が描かれているのか理解が困難
十字架が描かれていると解釈されても

連刷切手には右の 4 種類の切手のように

①異なる画像を連続して印刷している（例、第 2 ～ 22 回国体切手）

②画像を明確に分割している（例、慶大 150 年記念図書館外観）

の 2 種類があるが、これに加えて

③画像の 2 つの部分を使用して連刷している（例、切手趣味週間 朝顔狗子図杉戸）

④一対の作品画像を連刷している（例、第 2 次国宝：紅白梅図屏風）

の計 4 つの種類に整理されると考える。

ここでは①を除いたものを連刷切手（画像分割連刷切手）として検討したい。

③、④の切手を分割連刷切手とすることは是非は意見があろう。

この連刷切手の発行状況を整理すると原画を確認できないので正確さに不安はあるが表 1 のようになる。

表 1. 画像分割の数から見た連刷切手の発行状況

分割形態	ふるさと切手	記念特殊切手	合計	枚数
横 2 分割連刷	38	108	146	292
縦 2 分割連刷		2	2	4
横 4 分割連刷	2	1	3	12
縦横 4 分割連刷		1	1	4
横 5 分割連刷	1	2	3	15
合計	41	113	155	327

連刷切手は 155 種類 327 枚が発行されている。ここで注意されるのが横分割連刷がほとんどで、縦分割連刷は 3 種類にしか見られず、今回、問題を感じたステンド・グラス切手がその 1 つである。

次に、分割された対象の画像を以下の 3 つ

①分割を意図して作成された画像を連刷

②アニメ画像（①に位置づけられるアニメ画像を含む）を連刷

③既存の資料、作品の画像を分割して連刷（写真類の多くは①とした）

に整理してみると表 2 のようになる。

表 2. 分割画像内容別連刷切手の発行状況

分割形態	ふるさと切手	記念特殊切手	合計
アニメ画像		41	41
分割意図作成画像	38	45	83
美術・学術資料	3	28	31
合計	41	114	155

美術・学術資料を分割して連刷切手としたものが意外と少なく、当然ながら分割し連刷することを前提に作成されたであろうものが半数をしめていた。縦横 4 分割のステンドグラス画像は美術・学術資料とした。

更に、分割画像内容と分割数の関連を見ると次頁、表 3 のようになり、美術・学術資料を対象とした場合に分割数が多くなるようである。唯一の学



①異なる画像の連刷



③一画像の二つの部分を連刷



②一画像を分割して連刷

④一対の作品画像を連刷

表 3. 画像分割の数と画像内容

分割形態	アニメ 画像	分割意図 作成画像	美術学 術資料	合計
横 2 分割連刷	41	78	27	146
縦 2 分割連刷		2		2
横 4 分割連刷		2	1	3
縦横 4 分割連刷			1	1
横 5 分割連刷		1	2	3
合計	41	82	31	155

術資料を連刷切手とした、ふるさと切手「長崎街道」は伊能忠敬の大日本沿海輿地全図に新たな画像を加えて 4 分割している。

このように連刷切手発行を整理したうえで今回、問題を感じたステンドグラス切手を 2 つの切り口から考えてみたい。



①切手として表現の難しい対象画像

鉛の枠が図柄の黒い輪郭線となって、通常の画像よりも内容をとらえ難くしている。そのうえ、今回は窓枠が縦横に入っていることで、1 枚の切手としても、かなりつかみにくい対象である。このステンドグラスの持つ封建社会の終焉と新しい文明の到来と、ラテン語「ペン」は剣よりも強し」を表現したことはよく理解できるが、切手にするには無理があったことは否めないであろう。更に、連刷のため、縦横の窓枠に加え、垂直に目打ち、水平に白地部分（以下、ガッターと記す）と目打ちが入って、なお一層画像内容を理解しにくいものになっている。

②水平ガッター存在の疑問

なぜ、見にくくする水平のガッターがいれられたのか。縦分割のためガッターを入れたのでは？という疑問は関西空港開港記念切手の縦分割にガッターを設けてない例がその要はないことを示している。また、原画の一部分をカット、若しくはイメージ追加がガッター追加の条件か？という国際放送 50

年記念切手の大観筆「夜桜」にはガッターはないこと等から、同じく、その要はないことは明らかである。

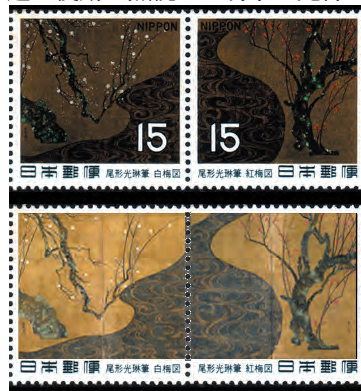
では、ガッターなく目打ちをいれた連刷切手とガッターに目打ちをいれた連刷切手はどこが異なるのか。

2 枚の切手が完全に連続した画像であればガッターはない。これに対して、○ 1980 趣味週間切手 西川祐信筆「春の野遊図」のように一枚の絵画の部分を割愛し、二つの部分を並列したもの、○ 国宝切手光琳作 二曲一双の屏風「紅白梅図」のように画としては連続しているが作品として対を成すもの、○ 政府印刷事業 100 年切手橋本雅邦筆 絹本著色六曲屏風「竜虎図」のように対であり、しかも一部を除いたものはガッターに目打ちをした連刷切手にされている。

例えば、この基準で竜虎図をそのまま連刷切手とした場合はガッターが必要がないので下図のようなイメージになる。これだけ原画をトリミングしたのであれば、当然独立した画像として表現する必要からガッターをつけざるえなかったと理解できる。



しかし、紅白梅図のような本来はひとつの画であるものをあえてガッターをつけて連刷切手にする必要があるか考えてみたい。学術的、美術的にタブーなことかも知れないがガッターを設けないものをイメージすると下図のように切り離して使用することを躊躇させられるものになる。このガッターを設けた理由がその使用しやすさを考慮してからかと、最近の使用を無視した切手の発行を踏まえると、あ



て、考えたくもなる。

一方、分割で分割部分に消去があったことを明らかにするため、ガッターを設けるということにも疑問を感じざるえない。

1981 年切手趣味週間の鈴木春



上 見立夕顔 原画

上右 1981 年切手趣味週間切手

右 原画あてはめイメージ図



下 南波照間 原画

右 1986 年切手趣味週間切手

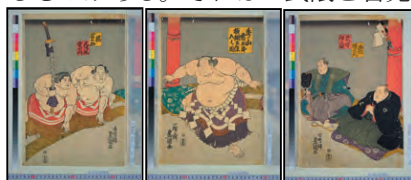
右下 原画あてはめイメージ



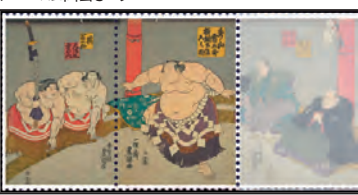
信筆「見立夕顔」と1986年切手趣味週間の菊池契月筆「南波照間」の連刷切手と原画を比較するとこの点がみえてくる。上の2枚のイメージ図をみる限り原画のわずかなトリミングでガッターを設けた理由が理解しにくい。

逆に、本来は1枚の画に描くところを複数に分けて描かざる得なかった画などをなぜ1枚の画としてガッターなしで連刷切手にできなかったかと思わせるものもある。それは相撲絵シリーズの「秀ノ山横綱土俵入り」切手である。この原画は下のように3枚の絵である。つなぎ目を目打ちとすればより美しい切手となったのではと思われるものである。

この相撲絵シリーズにステンド・グラス切手と同じく切り離すことによって切手として考えさせるものがある。それは「武隈と岩見瀉取組」の右上の切手である。1枚だけ貼られたものを見て相撲を知らない者は



国会図書館貴重所蔵画像データベース錦絵より



何を思うであろう。この切手の原画は1枚になっており、トリミングの難しさを考えさせてくれる連刷切手である。

このように、過去の連刷切手をながめてみると、慶応大学創立150年記念切手のステンド・グラスの4枚



連刷切手に横方向のカッターを入れる必要性は考えにくい。考えられるのは右下のラテン語のプレート



トを加えたことのサインでもあるのか。ガッターを除いたイメージを見ると4枚ブロックの画像としては見やすくなるが単片化時の問題は解決しない。



ガッターをとると



ガッターが半分



杉戸の原画をはめ込むと

上のように非常に小さい朝顔画像になってしまうことがわかる。

以上、ステンド・グラスのおかげで連刷切手に関して若干の知識を得る機会を持てた。今後、ますます、濫発されるであろう連刷切手に、新たな偏見フィルターをあててながめる楽しみを持ちたい。(編集子)

表 4 画像分割連刷切手一覧

形態	発行年月日	通 称	画像内容
横 2 分割連刷	S44.9.25	第 1 次国宝 紅白梅図	美術学術資料
横 2 分割連刷	S46.11.1	政府印刷事業 100 年 竜虎図	美術学術資料
横 2 分割連刷	S50.4.21	1975 年趣味週間 松浦屏風	美術学術資料
横 2 分割連刷	S51.4.20	1976 年趣味週間 彦根屏風	美術学術資料
横 2 分割連刷	S52.4.20	1977 年趣味週間 織織り	美術学術資料
横 2 分割連刷	S53.7.1	相撲絵シリーズ 横綱土俵入り	美術学術資料
横 2 分割連刷	S53.9.9	相撲絵シリーズ 東西土俵入り	美術学術資料
横 2 分割連刷	S53.11.11	相撲絵シリーズ 英雄取組図	美術学術資料
横 2 分割連刷	S54.1.13	相撲絵シリーズ 両国橋渡り	美術学術資料
横 2 分割連刷	S54.3.10	相撲絵シリーズ 取組図	美術学術資料
横 2 分割連刷	S56.4.20	1981 年趣味週間 見立夕顔	美術学術資料
横 2 分割連刷	S57.3.20	1982 年趣味週間 待乳山の雪見	美術学術資料
横 2 分割連刷	S58.4.20	1983 年趣味週間 台所美人	美術学術資料
横 2 分割連刷	S60.6.1	国際放送 50 年 夜桜	美術学術資料
横 2 分割連刷	S61.4.15	1986 年趣味週間 南波照間	美術学術資料
横 2 分割連刷	S63.4.8	瀬戸大橋開通 香川県側	作成画像
横 2 分割連刷	S63.4.8	瀬戸大橋開通 岡山県側	作成画像
横 5 分割連刷	H2.6.20	馬と文化シリーズ 殿内屏風	美術学術資料
横 2 分割連刷	H3.1.31	馬と文化シリーズ 郵便便絵巻	美術学術資料
横 2 分割連刷	H4.7.7	国際宇宙年 地球と宇宙船	作成画像
横 2 分割連刷	H5.6.10	ラムサール条約締結国会議 鶴	作成画像
横 2 分割連刷	H6.9.2	関西空港開港 海上空港と大型機	作成画像
横 5 分割連刷	H6.11.8	平安建部 1200 年 楓圖	美術学術資料
横 2 分割連刷	H8.7.5	近代河川制度 100 年 奥入瀬渓流	美術学術資料
横 2 分割連刷	H11.2.16	民家シリーズ 白川郷風景	作成画像
横 2 分割連刷	H11.4.20	1999 年趣味週間 春野村に遊ぶ	美術学術資料
横 2 分割連刷	H11.9.22	20 世紀 6 国産飛行機	作成画像
横 2 分割連刷	H11.10.22	20 世紀 3 東京駅開業	美術学術資料
横 2 分割連刷	H12.2.9	20 世紀 6 国産乗用車量産	作成画像
横 2 分割連刷	H12.2.23	20 世紀 7 プロ野球結成	作成画像
横 2 分割連刷	H12.2.23	20 世紀 7 D 5 1 登場	作成画像
横 2 分割連刷	H12.3.23	20 世紀 8 神風・日本号飛行成功	作成画像
横 2 分割連刷	H12.4.19	日蘭交流 400 年 わが国と出島	美術学術資料
横 2 分割連刷	H12.4.20	2000 年趣味週間 龍虎図	美術学術資料
横 2 分割連刷	H12.6.23	20 世紀 11 黒澤監督活躍	作成画像
横 2 分割連刷	H12.6.23	20 世紀 11 東京タワー完成	作成画像
横 2 分割連刷	H12.6.30	社会を明るくする運動 50 回 花	作成画像
横 2 分割連刷	H12.7.21	20 世紀 12 タロジロ南極越冬	作成画像
横 2 分割連刷	H12.8.23	20 世紀 13 ヒョコヒョコ鳥島	アニメ画
横 2 分割連刷	H12.11.22	20 世紀 16 アンパンマン	アニメ画
横 2 分割連刷	H12.11.22	20 世紀 16 Jリーグ開幕	アニメ画
横 2 分割連刷	H13.1.5	インターネット博覧会 飛翔	美術学術資料
横 2 分割連刷	H13.3.19	日本イギリス 2001 年 自由の女神	美術学術資料
横 2 分割連刷	H13.3.23	第 2 次世界遺産 厳島神社	作成画像
横 2 分割連刷	H13.5.31	2002FIFA カップ フェアプレー	作成画像
横 4 分割連刷	H13.7.16	第 9 回世界水泳選手権 水泳競技	作成画像
横 2 分割連刷	H13.8.16	秋田ワールドゲームズ 2001	作成画像
横 2 分割連刷	H13.8.16	秋田ワールドゲームズ 2001	作成画像
横 2 分割連刷	H13.8.23	第 2 次世界遺産 醍醐寺三宝院庭園	作成画像
横 2 分割連刷	H13.12.21	第 2 次世界遺産 天竜寺庭園	作成画像
横 2 分割連刷	H14.9.20	第 2 次世界遺産 白川村萩町秋	作成画像
横 2 分割連刷	H15.7.1	江戸開府 400 年 黒船の図	美術学術資料
横 2 分割連刷	H17.3.25	2005 年博覧会 マモスと地球	作成画像
横 2 分割連刷	H17.8.1	アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ	アニメ画
横 2 分割連刷	H17.8.1	アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ	アニメ画
横 2 分割連刷	H17.8.1	アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ	アニメ画
横 2 分割連刷	H17.8.1	アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ	アニメ画
横 2 分割連刷	H17.8.1	アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ	アニメ画
横 2 分割連刷	H17.10.3	国際宇宙会議 地球とロケット	作成画像
横 2 分割連刷	H18.2.1	アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ	アニメ画
横 2 分割連刷	H18.2.1	アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ	アニメ画
横 2 分割連刷	H18.2.1	アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ	アニメ画
横 2 分割連刷	H18.2.1	アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ	アニメ画
横 2 分割連刷	H18.2.1	アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ	アニメ画
横 2 分割連刷	H18.4.3	アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ	アニメ画
横 2 分割連刷	H18.4.3	アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ	アニメ画
横 2 分割連刷	H18.4.3	アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ	アニメ画
横 2 分割連刷	H18.4.3	アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ	アニメ画
横 2 分割連刷	H18.4.20	2006 年趣味週間 朝顔獅子杉戸	美術学術資料
横 2 分割連刷	H18.5.23	2006 日豪交流年 ウルル	作成画像
横 2 分割連刷	H18.5.23	2006 日豪交流年 オラハウス	作成画像
横 2 分割連刷	H18.6.23	第 3 次世界遺産 熊野本宮大社	作成画像
横 2 分割連刷	H19.1.23	南極観測開始 50 周年	作成画像
横 2 分割連刷	H19.1.23	南極観測開始 50 周年	作成画像

横2分割連刷	H19.1.23	南極観測開始 50 周年	作成画像
横2分割連刷	H19.1.23	南極観測開始 50 周年	作成画像
横2分割連刷	H19.1.23	南極観測開始 50 周年	作成画像
横2分割連刷	H19.2.23	アニメ・ヒロ・ヒロインシリーズ	アニメ画
横2分割連刷	H19.2.23	アニメ・ヒロ・ヒロインシリーズ	アニメ画
横2分割連刷	H19.2.23	アニメ・ヒロ・ヒロインシリーズ	アニメ画
横2分割連刷	H19.2.23	アニメ・ヒロ・ヒロインシリーズ	アニメ画
横2分割連刷	H19.2.23	アニメ・ヒロ・ヒロインシリーズ	アニメ画
横2分割連刷	H19.6.22	アニメ・ヒロ・ヒロインシリーズ	アニメ画
横2分割連刷	H19.6.22	アニメ・ヒロ・ヒロインシリーズ	アニメ画
横2分割連刷	H19.6.22	アニメ・ヒロ・ヒロインシリーズ	アニメ画
横2分割連刷	H19.6.22	アニメ・ヒロ・ヒロインシリーズ	アニメ画
横2分割連刷	H19.6.22	アニメ・ヒロ・ヒロインシリーズ	アニメ画
横2分割連刷	H19.7.6	第3次世界遺産 知床五湖連山	作成画像
横2分割連刷	H20.2.22	アニメ・ヒロ・ヒロインシリーズ	アニメ画
横2分割連刷	H20.2.22	アニメ・ヒロ・ヒロインシリーズ	アニメ画
横2分割連刷	H20.2.22	アニメ・ヒロ・ヒロインシリーズ	アニメ画
横2分割連刷	H20.2.22	アニメ・ヒロ・ヒロインシリーズ	アニメ画
横2分割連刷	H20.2.22	アニメ・ヒロ・ヒロインシリーズ	アニメ画
横2分割連刷	H20.3.21	天文学会創立 100 周年 天体	作成画像
横2分割連刷	H20.3.21	天文学会創立 100 周年 天体	作成画像
横2分割連刷	H20.3.21	天文学会創立 100 周年 天体	作成画像
横2分割連刷	H20.3.21	天文学会創立 100 周年 天体	作成画像
横2分割連刷	H20.6.18	日本ブラジル交流年 リオ景観	作成画像
横2分割連刷	H20.6.18	日本ブラジル交流年 イグアスの滝	作成画像
横2分割連刷	H20.6.18	日本ブラジル交流サルバドール地区	作成画像
横2分割連刷	H20.6.20	2008 グリーティング (赤毛のアン)	アニメ画
横2分割連刷	H20.6.20	2008 グリーティング (赤毛のアン)	アニメ画
横2分割連刷	H20.6.20	2008 グリーティング (赤毛のアン)	アニメ画
横2分割連刷	H20.6.20	2008 グリーティング (赤毛のアン)	アニメ画
横2分割連刷	H20.8.13	日中条約 30 周年 鴛鴦	作成画像
横2分割連刷	H20.8.23	アニメ・ヒロ・ヒロインシリーズ	アニメ画
横2分割連刷	H20.8.23	アニメ・ヒロ・ヒロインシリーズ	アニメ画
横2分割連刷	H20.8.23	アニメ・ヒロ・ヒロインシリーズ	アニメ画
横2分割連刷	H20.8.23	アニメ・ヒロ・ヒロインシリーズ	アニメ画
横2分割連刷	H20.8.23	アニメ・ヒロ・ヒロインシリーズ	アニメ画
横2分割連刷	H20.11.7	慶應創立 150 年 建物	作成画像
縦横4分割連刷	H20.11.7	慶應創立 150 年記念スタンドグラス	美術学術資料
横2分割連刷	H20.12.1	製鉄 150 年 高炉	作成画像
4分割連刷	H9.6.3	長崎街道	美術学術資料
横2分割連刷	H9.8.20	おはら風の盆	作成画像
横2分割連刷	H10.7.17	世界人形劇フェスティバル	作成画像
横2分割連刷	H11.2.22	恐竜	作成画像
横2分割連刷	H11.6.1	白根大嵐合戦	作成画像
横2分割連刷	H11.7.1	隅田川花火	作成画像
横2分割連刷	H11.10.28	讃国名	作成画像
横2分割連刷	H12.5.1	さいたま新都心	作成画像
横2分割連刷	H12.7.19	北の大地 II	作成画像
横2分割連刷	H12.7.19	北の大地 II	作成画像
横2分割連刷	H12.9.13	第25回バレーボール世界選手権	作成画像
横2分割連刷	H13.7.2	クルマのまち豊田	作成画像
横2分割連刷	H13.7.23	新潟の大花火	作成画像
横2分割連刷	H14.3.1	グラバー園の風景	作成画像
横2分割連刷	H14.7.1	白山の高山植物	作成画像
横2分割連刷	H14.7.1	白山の高山植物	作成画像
横2分割連刷	H14.9.10	秘蔵のくに伊賀上野	作成画像
横2分割連刷	H15.4.11	金子みすゞ生誕 100 年	作成画像
横2分割連刷	H15.5.1	長良川の鶴岡と岐阜城	作成画像
横2分割連刷	H15.10.3	千代女生誕 300 年	作成画像
横2分割連刷	H16.6.21	萩開府 400 年 (山口県)	美術学術資料
4分割連刷	H16.8.20	おわら風の盆 II	作成画像
5分割連刷	H19.6.1	沖縄の海 さんご礁海中	作成画像
横2分割連刷	H19.11.5	名古屋港	作成画像
横2分割連刷	H19.11.5	名古屋港	作成画像
横2分割連刷	H19.11.5	名古屋港	作成画像
横2分割連刷	H19.11.5	名古屋港	作成画像
横2分割連刷	H19.11.5	名古屋港	作成画像
横2分割連刷	H20.6.13	国土緑化	作成画像
横2分割連刷	H20.6.13	国土緑化	作成画像
横2分割連刷	H20.6.13	国土緑化	作成画像
横2分割連刷	H20.6.13	国土緑化	作成画像
横2分割連刷	H20.8.1	ふるさとの祭 第1集	作成画像
横2分割連刷	H20.8.1	ふるさとの祭 第1集	作成画像
横2分割連刷	H20.8.1	ふるさとの祭 第1集	作成画像
横2分割連刷	H20.8.1	ふるさとの祭 第1集	作成画像
横2分割連刷	H20.8.1	ふるさとの祭 第1集	作成画像
横2分割連刷	H20.10.1	旅シリーズ 第3集 清水寺	作成画像
横2分割連刷	H20.10.1	旅シリーズ 第3集 智積院	美術学術資料
横2分割連刷	H20.10.1	旅シリーズ 第3集 高台寺	作成画像

稲葉 良一 会員

中島健蔵・水原明窗記念受賞

日本における郵趣界に貢献が非常に大きい郵趣家に贈られる中島健蔵・水原明窗記念賞を本会会員稲葉氏が受賞されることに決定しました。

稲葉会員は早稲田大学切手研究会会員の時より小判切手の収集を始め、小判切手の研究で<PHILAtokyo'81>の「旧小判切手及びUPU小判切手」他、多くの研究で多くの賞を受賞しています。近年は中国東北郵便史も研究され、「関東州及び満鉄付属地の支那加刷切手の使用」他、多くの研究も発表しています。また、郵趣界の活動にも貢献され、日本郵趣会理事、関西郵趣会理事等、多くの会で活動されています。

なお、本賞の受賞は早稲田大学切手研究会 OBでは立川憲吉氏、渡辺勝正氏、大谷博氏に次いで4人目となります。授賞式、記念講演、切手展が春に予定されています。

長谷部 晃 会員 切手展開催

一昨年「日本の絹」展を開いた長谷部会員が切手展を開催します。2009年4月21～26日の6日間、埼玉県寄居町 里山ギャラリー ノアにおいて「切手趣味週間記念 切手展 2009 in 寄居」が開催されます。切手への関心を一般の方に持っていただけるように、親しみのある、手軽に楽しめる切手の展示と、切手、消印、絵はがき等で地元、秩父地方に関する展示が予定されています。

春の秩父のうらかな自然を訪ね、この切手展を楽しむ企画が考えられることでしょう。

第4回稲門フィラ切手展(新宿北郵便局常設切手展)

はやくも4回を迎えた切手展、今回は「切手で辿るアメリカの歴代大統領とその歴史」ぜひ新宿北郵便局1階の展示コーナーをお訪ねください。

試行 ホームページ終了のお知らせ

2004年9月より試行してきました「稲門フィラテリー試行ホームページ」を都合により本年2月末で終了させていただきました。

編集後記

横浜開港150年の年、最初の会報に日本最初の切手カタログ作成、そして日本切手を世界に紹介した方々の生活、そして当時の郵便料金をわかりやすく紹介された記事が同時に掲載できました。稲門フィラテリー会員の幅広く、深い、教養の蓄積と切手収集に対する真摯な姿勢を感じさせていただいた編集作業でした。

正月の箱根駅伝、ラグビーで活躍する選手の記憶を頭に早慶6連戦のメンバー表を眺める時、時の流れを強く感じさせる編集作業でもありました。

増刷大隈講堂切手、販売好調

昨秋に増刷され新宿区内で発売された大隈講堂切手。地方の購入できない学友のために、小西会

「大隈講堂」ふるさと切手の販売再開

平成13年に発売され在庫限りで販売終了となっていた「大隈講堂」ふるさと切手(80円)は、この度100万枚の増刷が決定し、販売を再開。早稲田キャンパス・生協コープをベース、新宿区内の各郵便局にて販売しています。なお遠方の方には、稲門フィラテリーのご協力で英国海外郵便代理店が通信販売をいたします。郵便振替にて送金、送付先住所、電話番号、注文のシート数を入力の上ご注文ください。

価格:1シートにつき1600円(20枚)
郵送料:500円
【郵便振替】口座番号00120-6-183648
加入者名:英国海外郵便代理店
【お問い合わせ先】
英国海外郵便代理店
☎03-3499-5250 FAX 03-3499-3529

長が大学に協力して、この大隈講堂切手の通販を引き受けたことが昨年の早稲田学報10月号に掲載された。おかげで販売も好調、新宿区内の郵便局窓口の多くで姿を消しつつあります。左・早稲田学報掲載記事

「切手塚」の碑が描かれた風景印

新潟県長岡市七日町郵便局(旧小国町)の風景



印には、「切手塚」と書かれた碑が描かれている。この塚は、1966年4月20日、郵便創業100年を記念して、使用済み切手を供養しようと当時の局長が建てたもののこと。

現在、七日町局は新庁舎に移転していて、この碑は旧庁舎跡にひっそりとたざずんでいる。(高橋 仁)

稲門フィラテリーの銀行口座番号のお知らせ

ゆうちょ銀行より口座番号等の連絡がありました。他金融機関からの振込みにご利用ください。

口座情報

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	019
店名	〇一九店(ゼ ロイチキウ店)
預金種目	当座
口座番号	0560458
カナ氏名	トウモンフィラテリー
(受取人名)	

発行日: 2009年3月1日

発行: 稲門フィラテリー

発行人: 小西 邦彦

〒150-0002

渋谷区渋谷 1-11-3 正栄ビル 4F

(株)英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

郵便振替口座:00110-0-560458

「稲門フィラテリー」

編集担当: 吉沢 忠一 五十野 和男
池澤 克就 小川 義博

稲門フィラテリー

第32号

2009年6月2日発行

何もようせい傳 ふたたび

池山 眞彦

もののあわれ

紫色の花

春の花

と冬も小雪

はらはら

自然の美かな

ああ緑の葉と

秋の色

風の声

鳥のさえずり

悲しい海

喜びの海

山、小石、アモ草

アイルランドの歌姫、エンヤの日本語歌詞の「葦草」である。



生まれ育った山河や歴史的風土の中から、ふと口ずさんだメロディの種が、心の在り様を示す心地よい言葉を求めて逍遙し始めた時、出会った日本語の響き。

彼女の時代を超えた幻想的なサウンドに心を癒されるのは、日本人の美意識や思想の源泉となる「もののあはれ」、「かなし」と共通するケルトのなごりが現代に息付いているからだろうか。



中世の Drogheda の町

極東の島国と極西の島国を結ぶ、はるかなる古代の縁みたいなのに、愛おしさを感じ始め、不思議の鐘が

再び響き始めたとき、「やはり、アイルランド。ふたたび。」となった次第です。

「北」という言葉には寂寥感が漂い、何となく物悲しい。その上、この国の「北」は過激で過酷である。その「北」へ向かう。

Drogheda の町は古代遺跡への玄関口であるが、数世紀に亘ってヴァイキング、ノルマン人、イギリス人等様々な支配者に翻弄された歴史をもつ城塞都市でもある。ボイン川の谷筋に築かれた、灰色に煙る石畳の坂道を行き交う人々は、無声映画のようにうつむき加減で早足であった。この町に不釣り合いな「d」という小奇麗なホテルに泊まる。

古代ロマン ニューグレンジ

ボイン川流域の緑あふれる丘陵に、ケルト以前 5500 年前の巨大墳墓群がある。巨大な石の建造物や、謎の渦巻文様など、古代史のロマンが溢れる魅力的な一帯である。ニューグレンジの他にナウス、ダウスといった悠久の時を語る遺跡群。一望千里、とにかく広大な牧草地のなかに点在している。



石器時代の謎の渦巻文様



ニューグレンジの巨大古墳

ビジターセンター内で実物大の墳墓の内部模型に頷いたり触れたりした後、し

ばし牛達の草を食むのどかな光景の彼方にある古代に思いをはせるが、浅学非才の悲しさ、神秘を目前にしての無力感がなんとも悔しい。特に太陽・神の宗教的意味を持つと云われる渦巻文様には、自らの指先で悠久の重みをなぞりたかったのだが・・・木々の間から望遠鏡でニューグレンジの墳墓を覗いていると、宮崎・佐土原で見た野菜畑のなかの「鬼の窟」を思い出した。古代人達の目に見えぬ情報交換が、不思議な類似を生み出したのかと思うと、何となく胸騒ぎがする。

又、こののどかな丘陵地帯は、17世紀終盤アイルランド・フランス連合軍とイギリス軍が激突した古戦場でもある。この戦争の敗戦以降、アイルランドにおけるプロテスタント支配が決定的となり、カトリックが様々な差別に甘んじることになった。怨念の地かも知れない。

いくつかの丘を越えた田園風景の中に、モナスターボイス僧院跡が残されている。先端の破壊された尖塔、ラウンドタワーと多数の墓標が林立しているが、その中に際立って巨大なハイクロスが静かに屹立している。日輪を配した十字架や、柱状部分に刻まれたレリーフにケルトの伝承神話と古代キリスト教の融合が見られる。しばらくは快適に、緑豊かな牧草地帯を北上すると、目の前にユニオンジャックの旗が眩しくはためいていた。あっけなくポンドの国に入ったのである。

セント・パトリック

アイルランドの象徴である「グリーン」と「シャムロック」、すなわち守護聖人セント・パトリックの象徴である。最初にキリスト教を伝えた聖人として、カトリック、プロテスタントを問わず、絶大な人気を誇るパトリックの姿や伝説の多きこと、まさに伊勢屋稲荷に・・・の類である。

何となく気になって迂回迷走の末、たどり着いたのが森に囲まれた小さな町、Downpatric で



St.Patric 像



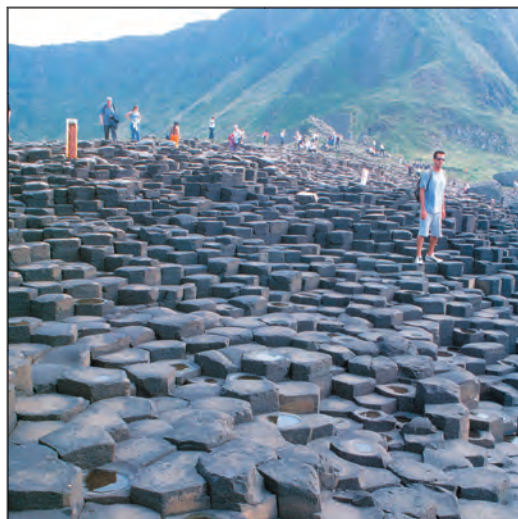
同じく St.Patric 像

ある。案の定、丘の上に堂々と建つダウンパトリック大聖堂には守護聖人 S t. Patric の遺体が葬られているという。本来なら、一大宗教都市となっても良さそうなものだが、今の時期は僅かな観光客が行き来するだけの、極くありふれた静かな町である。大聖堂への石垣の道をモスグリーン制服を着た表情豊かな高校生の一団が降りてきた。インフォメーションセンターの裏手にある小さな庭を散策していると、5メートル程の木が植えられており、足元に小さな案内板。「Fairlys Thorn」妖精の棘「サンザシ」の木であった。

Belfast は I R A、宗教戦争、テロなど不気味なイメージの先行する北アイルランドの首都だが、1990年代の和平以降、恒久的な平和へ生まれ変わり続ける近代的な活気溢れる都会である。ヴィクトリア時代の栄華を伝える建物も多く、又タイタニック号を建造した造船都市でもある。例によって大きな町には一方通行が多い。観光パンフレットだけが頼りの部外者には、自分の位置を確認するにも手間が掛かる。シテイホール、アルバート時計塔、オペラハウスなど有力な目印を探しながら進行するのだが、建物の名前と姿が一致しないのはどうにもならない。何とかお目当てのクイーンズ大学の赤と茶の優雅な姿を見つけたときには疲労困憊。映画やテレビで目にする、政治的壁画の並ぶ秘密めいた裏街、その緊張感を味わうことはできなかったのは残念至極である。

ジャイアンツ・コースズウェイ

九つの谷間をもつという風光明媚な北部ア



ジャイアンツ・コースズウェイ

ントリムの海岸線を行く。藍色に輝く North Channel の彼方はスコットランドである。窓際に流れる風が実に心地よい。カーンロッホ、クッシュンダールといった絵葉書のような小さな村を経て、巨大な岩礁と 20 メートルほどのつり橋で結ばれた Carrick-a-Rede という名所を過ぎると、イングランドの大作家に「見るには値するが、わざわざ行って見る価値はない。」と皮肉られた世界遺産ジャイアンツ・コーズウェイに到る。火山活動と氷河期によって形成された六角形の石柱群は、「巨人が造った土手道」という伝説も残っている。しかし、火山国の我々から見れば、柱状節理など規模の大小を考えないならそれ程ビックリするようなものではない。

石臼が並んでいるような石柱に腰掛けながら、数キロに亘って続く断崖の海岸線を眺め、上昇気流に舞う海鳥を目で追っていると、遠く「海のピエロ」パフィンの生息するラスリン島が望まれる。

わざわざ来てしまった以上、そこそこ「よし」とするか・・・

ここから Bushmills まで 僅かである。Bushmills には今から 400 年前の 1608 年にできた世界最古のウイスキー蒸留所がある。ウイスキーはアイルランドが発祥の地であり、「ウスケボー」Uisge beatha（生命の水）というゲール語が語源だという。

孤高の私立探偵が古いパブの片隅で静かに飲む酒、かつて良さの定番ウイスキー、ブッシュミルと煙草ゴロワーズ、共にケルトの申し子である。

今日の泊まりは馬車時代の古い木賃宿の趣をそのまま残す The Bushmills Inn というホテルである。

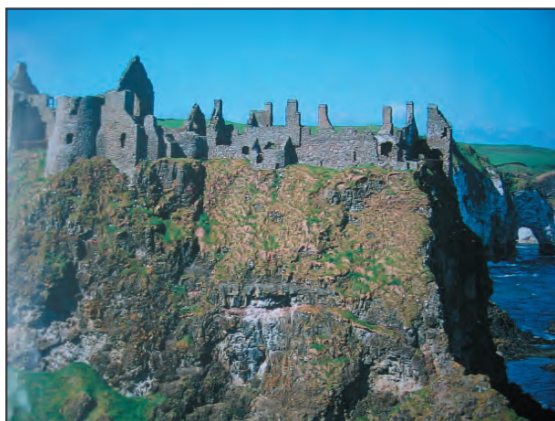
ダニー・ボーイの唄

気が付いたときには、既に通り過ぎていた。北の海から湧き上がる霧が、朝日を浴びて黄金色に輝いている。

霧の中から姿を現したのは、天然の地形を巧みに利用した難攻不落の要塞、Dunluce-Castle である。断崖にかけられた唯一の架橋を渡り、要塞内の崩れた窓から望む紺碧の海、足元に白く砕け散る波濤。崩れかけた城壁に沿って上ってくる霧を追っていると、長年の辛苦に耐えてきた辛酸が思われ、神々しささえ思えてくる。次から次へ湧き起こる純白の裳裾、海霧が岩肌を削り落とす。「五劫の擦り切れ、海砂利水魚の

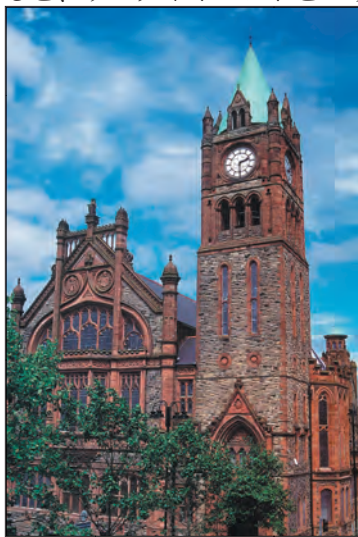
水行末、雲行末、風来末・・・・・・」

戦争に行く息子を思う親の気持ちを歌った「ダニーボーイ」はこの地の民謡である。小学校の頃より聞き覚えた「ロンドンデリーの唄」「庭の千草」など、この国の歴史の中から生まれた民謡は、日本人の感性に素直に飛び込んできて、何故か寂しく懐かしい。



難攻不落の要塞、Dunluce-Castle

Derry の街は 17 世紀初頭、ロンドンのプロテスタント達によって築かれたゆえにロンドンデリーとも呼ばれる。数度にわたる包囲攻撃に耐え、街を救った城壁が今も完全な形で残っており、ヨーロッパ最後の城壁都市と言われている。全長 1.6 キロと 7 つの昇降口を持つ無双の城壁は、かなりのアップダウンの繰り返しがあるものの、要所要所に設置された大砲群の間から望む街並みは、すばらしい景観を示してくれる。Butcher St. などという、恐ろしい名前の道を辿ると、ザ・ダイヤモンドという旧市街の中心に



ギルドホール

出た。商店、レストラン、パブなどが並ぶ、観光客の行きかう華やかな一角である。そこから川筋の方向へ坂道を下るとギルドホールと呼ばれるステンドグラスが印象的な市役所の前に出た。

守衛が中へ入る様に合図をしてくれたので、



デリー市の紋章

迷わず見学していると、奇妙な市の紋章に気がついた。盾の形をした上部には、白地に赤十字（イングランドの聖ジョージ旗）、下部には苔むした岩に座る、死からの回帰を示す骸骨。北アイルランドの歴史を物語っている様で考えさせられる。

「Life Truth Victory」が、この街の銘である。不滅宣言なのだろう。

再び、アイルランド。山の中腹に広がる谷間の町 Letterkenny の宿、庭に配された妖精の置物に目をやりながら、パティオからの景色にくつろぐ。午後9時、影こそ長く伸びているが、日暮れにはほど遠い。ここは北緯 55 度、サハリンと同じ緯度なのだ。

ENYA

人里離れた美しい Glenveagh 国立公園は、スケールの大きな山が連なり、深いU字溪谷には、湖や手付かずの針葉樹・広葉樹が混在するヨーロッパでも飛び抜けて空気のおいしい地域といわれる。ビジターセンターから専用バスに揺られながら、樹間に輝く湖面に感嘆していると、石楠花に囲まれた薄墨色の古城に到着。望楼に上り周囲を見渡すと、氷河の贈り物、遠く湖に映るU字谷が典型的な絵葉書画面を見せてくれる。足元の湖面に目を移すと、？水清からず！。タール色の水を通して、倒木が透かし見える。帰路、ワイルドボアー（野生イノシシ）が泥遊びに興じていた。

今日の昼はパブでコーヒーとサンドイッチと決めていた。

石楠花や黄色い針エニシダの群落が続く緑の平原を進み、白く花崗岩に覆われた Mt, Errigal を過ぎると、< G aeltact > と呼ばれるゲール語地域にはいる。



Enya の故郷の景色

エンヤの故郷、Gweedore (Gauth Dobhair) は湖畔の赤い屋根の散在する小さな村であった。湖から流れ出す川辺の草原に足を踏み出すと、ふかふかの絨毯。こ



Enya の実家のパブ



パブのようす

こが、あの歌声の原点かと思うと・・・納得する。

アイルランド楽器の描かれたパブの案内板を見つけ、「最初のコーナーを右へ2キロ、橋を渡る」

の指示に従い進むと、いつしか道は砂利道、深い森の奥へ奥へと続く。森と泉に囲まれた「隠れ家 P U B」を信じ、小さな橋を渡るが、あたりには何も見当たらない。間違いと気付いたが、ここは感との勝負とばかり2～30分真昼の無謀彷徨。やっとの思いで5～6軒の民家がひとかたまりとなった明るい所に出た。「Leos Tavern」、エンヤのお父さんが経営するパブに到着。どうも裏の方向から来たようだ。それにしても、周囲には人っ子一人見当たらず、駐車場には車の影すらない。何のことはないCLOSED だったのです。意気消沈して表口の広い道より戻りつつ、冷静に判断したところ、期待の大きさに脳内の回転軸に狂いを生じ、すっかり日本語脳に変換していたことが判明した。「2キロ先の橋を渡り、最初のコーナーを右へ」だった。

幻想ドネゴール

当初、感激の眼差しを転じていた幻想的な景色も、徐々にただの景色と変化してきた。単調な北西部の国道を南下する。

人口700人ほどの小さな Ardara の村は、何世代に亘って受け継がれてきた織物、ドネゴールツイードの産地である。手織りの織機や技術はヘリテージセンターに残っている。山と積まれた製品を物色していると、実演してくれるとのことで、奥の方へ案内される。きっと可憐な乙女がさわやかな音を奏でながら織るものと期待していたら、何と荒ぶる神ササノオノミコト

を思わせる大柄で不器用そうな親父がのそっと現れた。長さ5メートルほどの木製織機の前に座るや、「これぞクラフトマン」、驚きの手さばき。リズムカルにシャフトが右～左～右～左と驚く程の速さで移動していく・・・脱帽である。

ケルト人によって5世紀頃拓かれた Donegal はエスケ川の河口の小さな町であるが、秘境北西部への玄関口として、夏はたいへん賑わう町であるという。

又この町の周辺は、旧石器時代の狩猟民族が住んでいたとされ、今でも泥炭層の中から石積みの遺跡が発見され、未知との遭遇が期待される地域でもある。ザ・ダイヤモンドと呼ばれる広場の周りには、古い石造りのパブ、レストラン、ホテルなどが独特な雰囲気をかもし出しており、川沿いにはドネゴール城が黒々と川面に影を宿している。10分ほど下流に歩いていくと、静寂の中に崩れ落ちた修道院跡にでる。新旧入り混じった墓石の間に、わずかな石積みの壁が往時の繁栄を物語っている。

今日の宿は小高い丘の牧場に囲まれた、赤いレンガ壁と青い屋根の「Ard na breath」というゲストハウスである。夕食までのひと時、ボグ(泥炭)の燃える暖炉の前でギネスを飲みながら、空腹感の満ちてくるのを待つ。外の牧場では群れなす羊の晚餐が始まっていた。

千の風になって

中央低湿地帯の湖沼地域北辺の道を往く。氷河期に削られた湖沼には、ところどころドラムリンと呼ばれる小丘が点在する。水面の光、ブルーの空、緑の島影、湖を渡る風が爽快である。Belleek は個性的な磁器を産する運河沿いの小さな町である。光が透けるほど薄く、繊細な大理石の感触、バスケットをモチーフにした生地

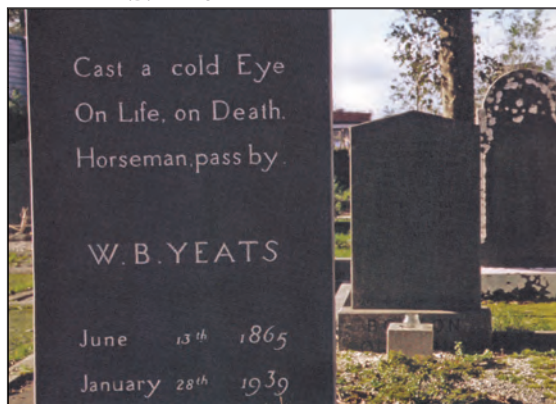


Beleek 陶器と妖精人形

に国花シャムロックをデザインした気品のあるクラフトである。ショールームで数多くの優雅な作品群をながめると、150年の歴史が一層輝き出す。



W.B.YEATS



W.B.YEATSの墓石



ノーベル文学賞 W.B.YEATS その墓は教会の裏手の共同墓地の一角にひっそり立っていた。

Cast a cold Eye 冷たい目を投げよ
On Life, on Death 生へも 死へも
Horseman, pass by 馬上の人よ 過ぎ行け
世界で最も有名な自分で記した碑文の一つ。でも・・・難解である。

60以上の墓があると言うアイルランド最大の巨石古墳群、Carrowmore 遺跡は5000年前の古代遺跡で、巨石が組み込まれた墳墓やストーンサークルが荒涼とした原に点在する。古代の埋葬場、祈祷所と言われているが、未だに謎の世界である。石墓は通常5つの岩石で囲い、その上に大きな岩が載せてあり、地下には石室があるという。囲まれた部分は恐らく霊界であり、上に置かれた岩には靈魂封じの意味があるのだろう。自然崇拜や精霊信仰、更には輪廻転生の世界観は日本古代の世界観と同一軸をなしてい

海岸線を南下すると、遠くにテーブル状の頂き、荒々しい岩肌の裾をもつ異形の山 Ben Bulbin が望まれる。この山の麓に、ノーベル賞詩人イエーツの眠る Drumcliff がある。教会の墓地には彫刻の美しいハイクロスやラウンドタワーが周囲



キャロモア遺跡の墳墓

ると云われており、興味を引く所である。

暗雲垂れ込める暗闇には魑魅魍魎が跋扈し、晴天ひかり輝く青空の下では精霊たちが、千の風になって大きな空を吹きわたっているのかも知れない。

スライゴーからゴールウェイ

9世紀、バイキングによって開かれ、後にイギリス軍により徹底した破壊を受けた Sligo であるが、元来この一帯はケルトの伝承や神話の多く残る地域であり、イエーツが子供の頃多くの時間を過ごした所でもある。

スライゴー修道院は最も古い建物で、度重なる火災や破壊で廃墟となったが、尖塔・祭壇跡・回廊など見所が多い。今でこそ廃墟ばかりになったこの国の修道院ではあるが、ケルトとキリスト教の融合した厳格な礼拝と私欲のない献身を基本にした極めて高い文化水準をもっていた。ダブリンのトリニティカレッジに残っている羊の皮に彩色をほどこした精巧な装飾写本「ケルズの書」などは圧倒的な存在感がある。

イエーツ博物館の前を歩いていると、突然「トーキョー***」と声をかけられた。定番のよっぱらいオジサンが親しげに話しかけてくる。一週間振りに聞く日本語もどきが急に懐かしくなり、相手のペースのままにブローケンなやり取りを続け、2～30メートル並行する。この場をどう収めるか思案しだした時、満を持したかこのオジサン、ポケットからコインを取り出したのです。思い出したのが「コインのおもて、うらを賭けて一杯飲ませろ」というやつ。貴重な体験と、ひと時の安らぎを与えてくれたオジサンには謝意を感じながらも、毅然と分かれた。

Knock という田舎町に入った。テント張りのマーケットを物色しながら歩いていると、突然目の前に近代的大聖堂が現れた。何とこの町は日本で言え



アイルランドの1ユーロ COIN

ば明治の始め、教会に聖母マリアが降臨したとされたことから一大キリスト教の聖地で、世界中から巡礼者が訪れては聖水を持ち帰ると言う。眉に唾をつけても信仰の自由、ありがたいことなのだろう。街中に透明なプラスチック瓶が山ほど売られていた理由が納得できた。

Galway は西部の中心都市として、活気にあふれている。中世の都市国家として往時の建造



アイリッシュダンス

物も多く残っており、ゴールウェイ大聖堂、聖ニコラス教会、スペイン門、この地で権勢を誇っていた、私刑の語源ともなったリンチ家跡など見所も多い。

食後、細く狭い石畳の坂道に並ぶブティックやみやげ店を覗きながらそぞろ歩く。路上のテーブルで食事をしたり、談笑を繰り返す老若男女、パブの奥からは伝統音楽の響き、あこがれの光景である。浮かれ気分です駐車場へ戻ったが、シャッターが閉まっている。手がかりなし。入り口の案内板を確認すると、「平日 24 時、土日 18 時」。今日は日曜日でした。

秘境アラン

ゴールウェイ湾の入り口浮かぶ絶海の島、アラン。その独特の生活様式と古の伝統が今に生きているケルト文化の中心である。有名なアランセーターは猟師たちが海難事故に遭ったとき、残された家族が容易に判別できるように、各家毎に固有の文様を持っているという。

この島の伝説的な苛酷さは書物や映画で何度も認識しているが、どうしても自分の五感で確認したかった。波頭のさきに秘境の影が濃密度を増してくる。

フェリーが Kilronan 村の岸壁に着くと、堤防沿いにミニバンや馬車が列を成して観光客の呼び込みしている。早速、一台のバンに乗り込むと、程なく古びた家屋や倉庫の間の狭い砂利道を疾走し始めた。10分ほどで一番の見所、断崖に築かれた謎の古代要塞「ドン・エンガス」に着く。藁葺きのみやげ物店が並ぶ、小さなターミナルで降りると、車は「2時集合」を指示して、さっさと元の道へ引き返してしまっ



海を見つめるアランの男



謎の要塞 ドン・エンガス

僅かな岩盤の境目から緑の草や小さな花が彩りを添えている。

振り返ると、遠く白波の連なる海岸線や、斜面を覆った草原の間を四方八方に触手を伸ばす石壁の縞模様が、まぶしい陽光を浴びて輝いている。息づかいを整え顔をあげると、天空を遮蔽する巨大な石壁が覆いかぶさってくる。三重の石壁に守られた要壁を潜り抜けると、海面より100メートルの断崖を背にした半円形の巨大な岩盤に出る。岩盤の先は、怒涛逆巻く大西洋である。

2000年前に造られた砦と言われるが、一体誰が何のために築いたのか、余りにも難攻で不落である。砦よりは宗教的意味合いの方が相応しいような気がするが、神や妖怪の手によって造られたのではない以上、相当強力な構築意図が働いたに違いない。海から吹き上げる強風にさらされながら、遠く大西洋を望んだが、不思議に恐怖感にはなかった。

バンは最西端へ行く。岩だらけの隙間に建つ民家とジャガイモ畑、この島の農地は風で飛ば



わずかな土が風に飛ばされないように、石垣で囲われた畑を耕す

登っていくと、両側は無骨な自然石が積まれた石壁の道に変わり、周りは四角や長方形のまな板状の岩盤が、敷き詰められたように飄々とした広がりを見せている。

ないように石垣で囲い、長い時間をかけて砕いた岩盤と海草でつくる。白い花を咲かせた僅かなジャガイモ畑には、人々の忍耐と不撓不屈の力が濃縮されて



岩を砕き、海から海草をアラン馬で運び、岩と砂の下に敷き 土をつくり畑へと (映画「アラン島」より)

いるようだ。戻り際、愛くるしい目をしたアラン馬が擦り寄ってくる。

古代、ケルト時代、キリスト教時代、近代等、多くの遺跡が無言のまま、目前に姿を見せてくれるが、刻んできた歴史はどれも悲しく厳しい。現代に至るまでの長い歲月、ひたすら厳しい自然に立ち向かってきた人々の勇氣に感動しながらも、物質的な豊かさを追い求め享受してきた我々の現代の姿が一層貧しく、寂しく見える。

次第に遠ざかる島影をぼんやり見ていると、いつ間にか眠ってしまった。

白日夢

Galwayの東24キロ、歴史と伝説の街、Athenryがある。街中に入ると、落ち着いた街の空気に乗って、聞き覚えのある音楽が聞こえてきた。「The Fields of Athenry」という、サッカーのワールドカップでの応援歌であった。本来、大飢饉の折、トモロコシを盗んだ罪で、オーストラリアに流刑に処せられる男と残された女の悲劇を唄った、哀調帯びた歌なのだがこの国では最も愛唱されている歌の一つなのだろう。

この街の歴史を象徴している石堀に囲まれた城で、往時の拷問道具や魔女の人形を眺めた後、周りを散策していると、床面に丸い穴のある突き出しが上方に現れた。これぞ斯界の権威？某会員よりご高説を賜った「空中厠」であった。落下地点には8帖敷ほどの石囲いが設置しており、まさしく体内に蓄積した老廃物の備蓄場である。このあたりには芳香を放つ秘密屁(兵器)を守護する厠番が、厳しく品質管理をし且つ盗難防止の為、巡回していたに違いない。

街なかに戻ると、銃を手にしたモスグリーンの制服に身を包んだ屈強な男が4-5人、角々であたりを睥睨していた。銀行の前には1台のジープ。いままさに現金を積み込むところであった。「怪しくありませんよ・・・。」と、さり気なく銀行の前を通り抜けたものの、完璧な警備体制にわが国との差異を感じたものです。

何度間違えたことか、又道を間違えてしまった。「そのうち何とかなるだろう」と先へ先へ。しかし「走っても走っても緑の丘」一本道。心細さが充溢した頃、やっと感激の十字路にでた。とりあえず車を止め方向を探っていると、何処からか1台の車、中から若い女性。偶然とは言え、あこがれの場面に遭遇した喜びに上気しながら、途中までの誘導を請い必死で後を追う。

T字路で車を下り御礼に行くと、車の中に更に若き乙女たちの3, 4人。人品卑しからぬ日本人であることを告げると、先程の女性が手に持った本から日本語ページを探し出し、「読んでください。」と言う。気もそぞろに適当に読み終わると、最後にお互いに名前を名乗る様記されていた。先ず彼女が、そして小生が名前を名乗り、握手を交わす。互いに見合す顔と顔、高鳴る胸のときめきと、柔らかき手の温もり、不思議な出会いに感謝・感激。輝く太陽、緑の草原、黄色い車、美しき乙女たち、一体何だったのだろう？名残りは尽きなかったが、先を急ぐ身、凛とした態度で清く分かれた。

昼食後、次の街を散策していると、又先程のモスグリーンに出会った。更に先の街でも出会ってしまった。二度あることは三度ある。

アイルランドのへそを目指して、平坦な道筋を走る。途中、まるい石橋を渡ったところで川岸に降り立つと、それはこの国を縦横に流れる幅5メートルほどの運河であった。左右遠く一直線に伸びる運河には、例によってCola色の水面に陽光が輝いていた。

それにしても今日は面白い一日であった。これだから旅はやめられない。

アイルランドのへそ

ガイドブックに載っていない町へ行きたいと思った。

地図上を指先でなぞりながら辿り着いたアイルランドのど真ん中の町 Birr。

記録の上では、6世紀に修道院が建てられて以来の、由緒正しき交通の要衝にあるこの地も、50年前の鉄道路線閉鎖により歴史の片隅に追いやられてしまったようだ。そのせいか、今まで見てきた多くが破壊、復興、再生といった、不敗・不屈の町のイメージが強かったのに対して、ここは経過してきた時代時代の足跡がゆったりと息付いているような、「忘れえぬ町」となってしまった。自然景観豊かな広大な敷地の中に美しい姿を今に残す Birr Castle は、1208年アングロ・サクソン人によって築かれ、又、世界中から集められた植生の豊富さで知られる美しいガーデンをもつ魅力的な城である。中でも特筆すべきは庭の中央に堂々と聳える150年前の大望遠鏡である。高さ10メートルほどのブロック塀に挟まれた直径2メートル、長さ10メートルほどの木製望遠鏡で、大宇宙観測の為に巨大なウインチで昇降する構造となっており、遠くから望む

と恰も恐竜が横たわっているようだった。隣接のサイエンス・センターには近代化への足取りを示す、宇宙観測、写真技術、蒸気タービン等の、この地で育った歴史的資料や器材が多数展示されており、近代化へ向けての統治者たちの並々ならぬ情熱が感じられた。

町の中には歴史的建造物も数多く残っているが、特に扇窓の玄関をもつジョージアン・スタイルの建物が並ぶ、Johns Mall 一帯は魅力的な街並みを見せてくれる。当時学校として使われたホールの傍らには、クリミア戦争で使われたロシアの大砲と並んで、高さ1メートルほどの円錐形に近い岩が置いてあった。何と [Navel of Ireland] すなわち、アイルランドの中心・でべそであった。



Birr Castle の大望遠鏡

直線的な石垣に区画された田園風景の中に、突然直径300メートルの正円形の農場が現れた。円の中心に数世代にわたって守られてきた伝説と伝承の Farm house 農家民宿である。飾らない人柄に Irish hospitality たっぶりの女主がにこやかに出迎えてくれ、早速心尽しのスコーンと香りたっぶりの紅茶を振舞ってくれた。庭にはブランコ、すべり台等の幼児向けの遊具が備えられ、背後の巨木にはツリーハウス、農場との境にはきれいに手入れされたサンザシの垣根。緑の牧場ではゆったりと草を食む牛達、夢の要件がすべて整った、理想的な癒しの里である。



農家民宿「The Rings」

件がすべて整った、理想的な癒しの里である。

町の散策からの帰路、驟雨に出会った。雨上がりの農場には大きな虹。司馬遼太郎的表現を借りるならば「気はすかしの」ほどの美しい虹であった。

ふたたび 旅の終わりに

前日確認しておいた田舎道を Slieve Bloom へ向かう。スリーブ・ブルームはこの国の中央部を東西に延びる、標高 500 メートルほどの山稜である。麓の村 Kinnity から山腹を縫うように砂利道の林道を登ると、深緑色の灌木に覆われた殺伐とした頂上部にでた。8 月の終わりには一面紫色の絨毯に染まるヒースの大群落。来たるべき時期に備えての樹勢養生期間とばかりに、今は眠っているかのような殺風景な光景だった。

牧場の主役が羊からサラブレッドに交代し始めた頃、周辺は世界的に競走馬の産地として有名な Kildare である。この町は櫟の木の下に聖ブリジットが修道院を建てたことからキルダラ「櫟の木の教会」と呼ばれており、100 年ほど前に日本人父子によって作られた日本庭園でもよく知られている。



競走馬 サラブレッド

「ゲールのマリア」と呼ばれる聖ブリジットは聖パトリック、聖コロンバと共にこの国の三守護聖人と言われているが、貧しい人や病人に施しをし続けた修道女として人々の敬愛を受けている聖人だという。2 月 1 日の聖ブリジットデーには麦わらで十字架を編み、厄除けのお守りとして天井や屋根に具えられるそう。今でこそ少なくなりましたが、藁葺き屋根の時代には火防御守護の意味もあったのだろう。その亡がらは、何と Downpatric の聖堂に聖パトリックと共に葬られていると云う。予想せぬ事柄を知った「旅の偶然・意外性」には、本当に驚ろかされた。



ST. BRIGID'S CROSS

ホテルの PUB で、柱にもたれながら、来し方を想いぼんやりと舞台をみつめる。心に響く伝統的アイリッシュ・ミュージック、躍動感に溢れるケルト文様コスチュームの踊

り子、グラス片手ににぎやかに語らう酔客、この場の雰囲気だんだん染まっていく高揚感。実に楽しく心地よい。やはり旅の終わりの夜は、このけだるさが相応しい。。。。。

「伝説と妖精の国」を巡る 3300 キロの旅は、一先ず休止する。

国の成り立ちから現代に至るまで、わが国に似て似ざる国の旅は、常に気負いのない美しい姿を見せてくれた。

B & B のお母さん、ガソリンスタンドのお兄ちゃん、道案内をしてくれた美しい娘、農作業の手を止めて話してくれたおじいちゃん、酔っ払いおじさん等々、みんな笑顔で、懐かしく、やさしかった。

過酷な風土を直視し、根を下ろした誇り高い民族の血や、長い植民地支配に対する不屈、不敗の魂を、日常の中に見出すのはむずかしいが、歴史の辛酸を内包する精神的ゆとりが、「美しい国」の原点となっているのかもしれない。

2008 年 6 月、欧州連合 (EU) の新しい運営体制を定めたリスボン条約批准に対して、「国の独自性が失われる」として拒否の意思表示をした 400 万の「ケルトの虎」たちの咆哮。大国の大義を看破した胆力に喝采である。

過ぎ去りし日々を思い起こすに、薄いヴェール越しに漂う「蒼々たる緑」の奥の不思議さが、更なる旅への招聘をしているような気がしてならない。

やはり「アイルランドには、緑がよく似合う」ようである。



旅行コース

太線 今回のコース 細線 前回のコース

二人の収集家

木辺 円慈 (本麿)



中宮寺
如意輪観音

昔から三上といって、枕上、馬上、架上で、好いアイデアが浮かぶものといいます。その三箇所は毎日乗るのですが、何も浮かばない日々。馬場、野島両先輩の如き振り込め詐欺事件もなく、といって切手の収集、研究とは無縁の日常で、その方面の素養はなく、編集長の懇切なる依頼に応じたものの、弱ったな。

馬場先輩はすでに旅立ったという情報を得て、そんなに年齢の変わらない私も、そうか終点も近い、準備すべきだと身辺整理を心掛け、まず引っ張り出したのが写真。やたらと沢山あって、何の時、何時だか思い出せないものもある。どんどん捨てることにした。そんな中で出てきたのが、結婚前のかみさんの写真。しげしげ見ている、私が惚れたのはこの娘であって、今の女房じゃないと、綾小路きみまろの台詞に同調しました。

きみまろと私の旧名もとまろは近似していますが、何の関係ありません。古希を迎えたからと、小中高と同級会が開かれてます。何十年ぶりに会う方は、名前が変わったのかといぶかしがるのです。女性も姓が変わると違った家風の下、違った生き方をなさる方もあるでしょう。

左様、私は20年前に坊さんになりました。正



新薬師寺
観音菩薩立像

確にはもっと以前ですが、しばらくは世過ぎをしておりました。違った生き方と申しましたが、人柄は変わっていないと思います。学生時代にもずいぶん斜めなことも言っていたようですが、失礼の段は今になってですがお許しください。もっとも馬場先輩ほか、先立たれた方にはこの世でのお詫びは申し上げられませんでした。いずれ同じ世界に立ったときお詫びすることに致します。

坊さんですといえば、よく聞かれるのが仏教はどのような宗教かということです。長い歴史を持ち、多様性を認める宗教ですから簡単に言うことは難しいのですが、あえて言えば、仏になった人が、仏のすばらしい世界を説き、仏に成る方法を説いたものということです。それでは答えにならないでしょうね。

多分、尋ねた方は自分に何か役立つものか、あるいは仏教の持つ本当の目的はなにかを聞きたいのでしょう。その質問に、仏教は仏になるのが目的ではなく、仏のあり方としては多くのものを救うのが目的である、と付け加えましょう。(このことは仏教書でははっきりいいませんが、仏教を学ぶ常識なのです) 仏になっていい気分と、世の中眺めて楽しんだりすることではあ



東大寺
執金剛神立像



法隆寺
銅造薬師如来座像



金剛峯寺
恵光童子像



法隆寺
百済観音



中尊寺
一字金輪像

りません。極楽に行けると喜ぶことでもありません。仏というのは最高に人格を完成させた方です。人格者は自己の世界に閉じこもって、世の中のこと関知せずでは、本当の人格者とはいえないでしょう。と同時にこの言葉は多様性を含みます。そこに仏教の多様性があります。この仏に成ることが仏教の最大の目的であり、それに尽きるのです。

仏さまの世界にはいろいろと多様性がありますが、共通して言えることは仏教は「仏法は無我にて候」という言葉があり、無我の世界です。

有名なデカルトの言葉に「我思う、ゆえに我あり」というのが、欧米の思考の出発点です。明治以後の日本は欧米に真似てきましたから、我があるという志向が現代の中心であって、仏教の志向とはまったく逆さまであり理解をされなくて当たり前なのです。しかも現代では人格者という言葉も通じなくなってきていますね。

ただ明治以来 130 年、雰囲気や思考の残りは連綿と続いており、それに触れた方が興味を持って再認識されて繋がっています。

無我ということは我がない、己をむなしくして生きる。もうそこに矛盾が含まれています。生きるということは、生命を維持していくこと(我を認める)に始まる行為です。己をむなしくしてとは一致しません。するとそこに説明や解釈が必要でしょう。この解釈や現実との微妙なバランスの取りようが仏教の多様な宗派になるのです。

ここからは一つのあり方を申します。己をむなしくして生きるとしても、今日では山の中で



広隆寺
弥勒菩薩

過ごすことはできません。すると多くのものと過ごす中で己をむなしくするには、多くのものに奉仕していくことです。奉仕という言葉で、何かにお仕えする、サービスをするというふうにイメージしますし、その方法にもいろいろありますが、誠実に、謙虚に、勤勉に生活することは、お互いの生活の中に安心を生み出します。これらはイメージされるような眼に見える奉仕の行為ではないのですが、生活の底流に大切なことです。ありがたい、おかげさまで、もったいない(我が身にあまる、とか、ものを大切にすること)お恥ずかしいことで、といった言葉も、見えないけれども、心遣いという形で奉仕しています。私たちにそれ以上の何が出来るとでしょう。

サブプライムローンで大儲けをした経営者に上述の感覚はあるでしょうか。残念な事に現代日本人も忘れ去りつつある感覚でもあるのです。

また、大規模な眼に見える奉仕にはなにか仕掛け(うら)はありませんか。仏教では、あげる人、あげる物、貰う人、その三者がすべて清浄でなければ布施(奉仕)は成り立たないと厳しい眼で見えています。三輪清浄といいます。

先に述べた行為、行動や言葉は仏教の己をむなしくしたところから出てくるものです。人格者なんてすごいものにはとてもなれませんが、おそばに居たいです。そしてその人格者(仏)のお力を傷つけ、そぐようなことは、出来る限りしたくありませんという姿です。

そうやって過ごしても命に限りがあることなれば、命終われば、その最高人格のお方、仏さ



東寺
如意輪観音



東大寺戒壇堂
広目天



平等院鳳凰堂
雲中供養菩薩蔵



東大寺
月光菩薩



法隆寺金堂壁画
侍者観音像

まの世界に往きたいです。そこ
でお手伝いさせていただいたら
(奉仕です)さらにうれしいこと
です。このように生死にかかわ
らず共に居させていただいてま
すという言葉が「なむあみだぶ
つ」

では日常生活はどうなるのだ。これは皆さん
と変わりません。たぶん『南無阿弥陀仏』だけ
が余計なのでしょう。そんな切手の収集家二人
にお会いしたことがあります。

お一人は西本願寺の前の御門主様でした。宗
教切手というジャンルをもっばらに収集なさっ
て、万を超えるといわれました。遺品のアルバ

ムは龍谷大学図書館に寄贈されました。いずれ
公開される時があるでしょう。確認のため訪れ
ましたら、まだ整理中で数年はかかるでしょ
うと、整理に苦勞しておいでの様子でした。こ
に短片がダンボール箱に入ったままだとか。

もう一方は、私の寺の古くからの信者で、前
川という神戸在住の方でした。芸術切手関係の
蒐集でしたが、遺品はどのようになさったのか、
ご遺族の方とは音信不通でわかりませんが、ご
存知の方がおいででしょうか。いずれのお方の
アルバムもあまりにも多く、拝見していても時
間が足りなく、ご説明にも目はキョロキョロ、
ハアハアとあいづちするのにいっぱいでした。

ではまた、お会いできる日を楽しみに。

興福寺 阿修羅像



2002 年
第 2 次世界遺産
シリーズ



1968 年第 1 次国宝シリーズ



2009 年
旅の風景シリーズ
第 5 集

脱活乾漆造 彩色、像高〔阿修羅〕153.4cm 【制作時期】734 年

慶応義塾郵便切手研究会、慶応義塾郵研三田クラブ 150周年記念号を発行

慶應義塾郵便切手研究会、郵研三田クラブは大学創立150年、郵便切手研究会創立60年記念号を発行しました。稲門フィラテリー会員黒川清知氏のお祝い、思い出の文章が掲載されましたので転載させていただきます。

ケーオーとワセダ 黒川 清知

慶応義塾創立150年ならびに慶応義塾郵便切手研究会創立60年心からお祝い申し上げます。思い起こせば50数年前から、慶応郵研とのお付き合いは深く長いものがあります。2007年10月早稲田125年記念の稲門フィラテリー(切手研OB会)懇親会に慶応OBの方々6名をお迎えし、久々の顔合わせ、懐かしく楽しいひと時を過ごしました。

私が幹事長の時1954(昭和29)年5月22日に、三田の学生ホール集会室で、慶応郵研顧問三井高陽先生を囲む早慶合同座談会をもち、先生の切手に関する蘊蓄の数々を、先生の息がかかるような近くでお聞きしました。前年に都下大学切手研連絡会発足、早、慶、東、



三井先生を囲む早慶切手座談会 青学、法政、学習院などがメンバー。しかし東大とは三島良績先生を囲んでの集まりが本郷の東大構内で行われたことは記憶にあります。私の代では他の大学とのお付き合いはあまり無かったような気がします。ともあれ慶応とのお付き合いは、座談会の後の飲み会で慶応の連中の酒の強さに圧倒され、早稲田は小熊君一人で奮闘しましたが、ほかは早々とダウンしました。これをキッカケに

54年6月4日、多摩川オリンピック球場で、早慶対抗ソフトボール試合を行い、ワセダ軍最終回としておきのバッテリー田川(現古怒田)共子嬢を送り込んだが、2-7で涙を吞みました。しかし、遊びだけではありません。学園祭の三田祭、早稲田祭では

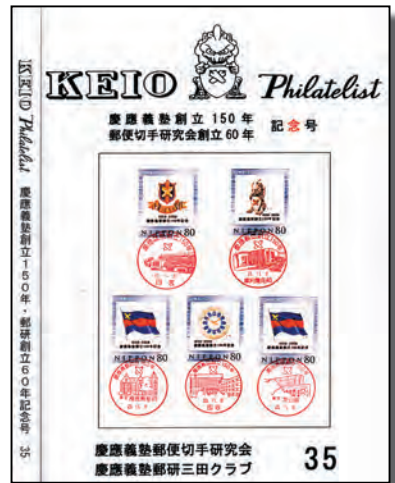


お互いに見学し、座談会、批評会を持ちました。

1955年4月「早大切手研究会々報」「KEIO Philatelist」の合同編集号が発刊され、画期的なもの

と斯界の話題になったそうです。両会から2人ずつの編集委員が選出され、苦労を重ねて発行されました。この合同編集号第3号(57年発行)に早慶OB座談会が企画され私は根岸先輩と共に出席し、慶應側は荻原海一、梅田隆男両氏、司会は的場嘉彦氏(K)、橋浦愛武君(W)、場所は日本橋ビアホール・ロータリー(確か慶応の小林善郎氏の当時の実家、灘の生一本「国冠」経営?)、57年3月11日のことでした。美味しい酒と料理を楽しみながら、現役時代のエピソード、切手研のあり方など酒の勢いも手伝って、お互い言いたいこと言いながら楽しい時間を過ごした事を覚えています。さぞかし司会者はお困りだったと思います。96年10月の慶応郵研50年また99年11月の早大切手研50年の記念パーティーには、お互いにそれぞれ招待し合い、祝福しました。ケーオーとワセダ、古くからのライバル、校風は全く違いますがお互い親近感深いのです。私の地元国分寺稲門会も国分寺三田会との交流は盛んです。

2008年11月7日には慶応義塾創立150年記念切手が出ました。慶応は100年にも発行されました。早稲田125年は学校、校友挙げての陳情空しく空振りでした。私は国分寺稲門会の会報に早稲田は慶応の後塵を拝していると書き、一部の人の非難を浴びましたが、正直現実是否定できません、悔しいけれど(スポーツを除けば)ともあれ前述の早慶合同編集号第1号の表紙の絵は、アンデルセンの「人魚姫」その解説は「ひたすらに思慕の情は(中略)何時までも心の故郷となるだろう」です。早大校歌「都の西北」に心の故郷と歌われていますが、それは早慶お互いに言えることではないでしょうか。50年も前のこと記憶も薄れがちです。記憶違い、思い違いなどあるかも知れませんが、お許し下さい。



房黄 2 銭 (版別法と楽しみ方)

坂下 泰一

房黄 2 銭は、房 1 銭とともに、図案改正の通達 (太政大臣布告 104 号) に基づき、明治 8.6.12(1875) に発行された手彫切手最後のシリーズである。菊と桐の両枝が交差してところに、仮名文字ではなく、房 (フサ) が描かれて

いるので〈房〉、又これはリボンに見えるところから、〈リボン〉の愛称で親しまれている (図 1)。

この房黄 2 銭は手彫の最後期に発行されているが、これほど研究の遅れている切手はないだろう。1 つには切手の色が黄色で見にくいこと、彫刻技術の向上によって均一性が高くなったこと、多孔性の紙 (ポーラス) に印刷されているため、印刷写りが悪いこと、またその消印の 70% 以上が、白抜十字印やつぶれ印で、印面が見にくい上に、面白みに欠けること、等が挙げられる。



図 1 房黄 2 銭、房 1 銭

(1) 房黄 2 銭の原版は何面か

A.M. トレーシー・ウッドワードはその大著「大日本及同属国の郵便切手」(1928 年発行) の中で、『この切手には、原版が 6 面又はそれ以上ある』と述べている。

故市田左右一博士は英文「桜切手」(1965 年発行) で、『6 種の原版が存在したことが報告されている。しかし詳細な研究は行われていない。洋紙黄 2 銭かな入り切手に 40 ~ 50 種が使われたことから考えて * 20 種位は存在したであろうと想像される。しかし存在する 4 隅の切手の種類から考えると、これより少なかったかもしれない』(* 原文では、"the number of original plates...ought to be approximately fifteen." と、15 種ぐらいとなっている)

同氏の和文「桜切手」(1982 年発行) では、『原版数については未使用シートが僅か 3 種しか現存しないので、専らコーナー切手によって現在まで 20 面が確認されている』と記されている。

「手彫切手専門カタログ」(2007 年版) では、『版数約 20 面 (推定)』

「日本切手専門カタログ (日専) 」 (vol.1 戦前編 2009-10) によると、『20 面程度の実用版が存在すると言われているが、正確なことはわかってない。推定発行枚数約 1,000 万枚と言うことから、房 1 銭同様、原版と実用版が異なる可能性が大いにあるが、詳細は不明である』

(2) 現在何種類のシートが存在するか

これまで殆どの文献で、『3 種類のシートが存在する』と述べられているが、ペプロウが「手彫切手シート写真集」(1910 年) を、ウッドワードが前出の著書 (1928 年) を出版する時点では、もう房黄 2 銭の完全シートは 1 版しか残されていなかった (1 版は複数シート存在する)。2 版は 39 番、40 番を 1 版の同ポジションで補填した 38 枚の大ブロックであり、3 版は 39 番、40 番コーナーを含む横 2 列の 14 枚ブロックである。

このように、原版シートが何面あるか未だにつかめていないのが現状である。版別位置決定に欠かせないシートやブロック、ペアが他の切手と比べると極端に少ないことが原因である。

(3) 版別の 1 つの試み (図 2、図 3)

まず、ウッドワードによって決定された 3 つの版 (1 版は未使用完全シート、2 版は 38 枚未使用大ブロック、3 版は 14 枚未使用ブロック) の図案特徴を調べて見ると、以下の 3 点について、版によって違いが認められた。

① 4 隅の 3 角飾りと、飾り点の位置について

1 版は 4 隅の 3 角飾りと、飾り点が完全に接している。

2 版は離れている。

3 版は左が接していて、右は離れている。

和紙黄 2 銭の場合、この飾り点が離れているかどうか版別決定に役立っている。

② 「N」の横棒 (セリフ) の長短について

1 版は横棒 (セリフ) が短い。

2 版は横棒 (セリフ) が長く、直線的である。いわゆる「棒セリフ」。

3 版はセリフが比較的短く、斜めの棒が他の版より太め。

「N」、「E」のセリフが棒状のものは、3 版の亜種にもある。

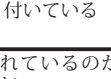
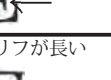
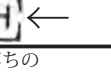
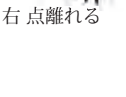
	版番号	シート有無	①隅飾りの点の位置	②N字の横棒(セリフ)	③桜花の4隅の点の大きさと位置	その他
タイプⅠ	第1版	有		横棒短い 	点小さく桜より離れている 	「手」の1画と2画が付く 
	1a版	無 12枚済 ブロック		→ 	→ 	「手」の1画と2画が離れる 
タイプⅡ	第2版	無 38枚未 ブロック		横棒長い 	点比較的大きく桜に付着 	「郵」の1画落ちエラーあり 
	2a版	無 8枚済 ブロック	→ 	左右とも点離れる 	点小さく桜より離れている 	「棒セリフ」 
タイプⅢ	第3版	無 14枚未 ブロック		横棒短く斜線太い 	点桜に付着 	「E」のセリフが短い 
	3a版	無 15枚済 ブロック	→ 	横棒長い 	点一番大きく桜に付着 	「E」のセリフが長い 
	3b版	無 8枚済 ブロック	→ 	「棒セリフ」 	右下桜芯落ちのエラーあり 	→ 
タイプⅣ	第4版 玉なし版	無 済単片のみ	→ 	横棒長さ中位 	4隅の点比較的小さく桜より離れる 	飾枠内の色が薄い 

図2 房黄2銭版別特徴

③ 4隅の桜花の点の大きさと位置について

1版は4隅の点が比較的小さく、桜より離れているように見える。

2版は点が比較的大きく、桜に接近しているように見える。

3版は点が大きく、桜に接しているように見える。

図3の左上の耳付き12枚ブロックを版別してみよう。

まず、①～③の順で調べて行くと、①隅飾りが、飾り点についている、②セリフが短い、③4隅の点が小さく、桜より離れている等から、このブロックはタイプ

Ⅰの特徴を持っていることが分かる。

またブロックが上耳付きであることから、これを1版のシート写真の上耳付きの1列目と2列目で比べて見たが、どれも一致しない。さらに精査して行くと、「手」の字体に違いのあることが分かった。1版は、1画目と2画目が接近しているのに対して、ブロックの方は3本の横棒の間隔がほぼ等しいことが分かる。このことから1版に対して、このブロックを1版の亜種と見て、サブ・ナンバーを与え、1a版と呼ぶことにする。今後1b版や1c版が見つかる可能性は十分にあるだろう。同様に、タイプⅡの場合は、③桜花の点の大きさと位置の他に、「郵」の傍の「おおざと」の3画が1画の「縦棒」に接しているか、いないかで、2版と亜種の2a版とに分かれる。タイプⅢは「N」や「E」のセリフの形や長さによって、3版と、亜種の3a版、3b版の3つに分類される。「玉なし版」はタイプⅢの図案特徴を持っているから、3版の亜種と考え、3c版と名付けたいが、「玉なし」という大きな特徴により、独立させて、「第4版(玉なし版)」の呼び名を与えた。

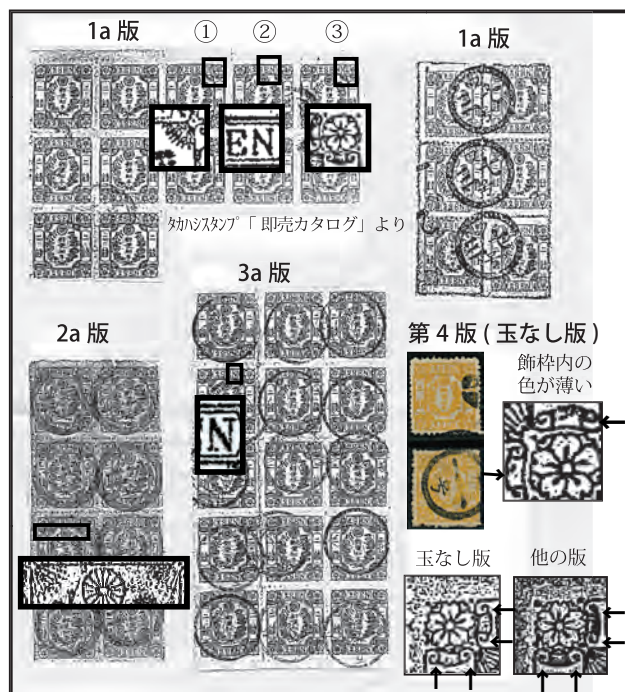


図3 房黄2銭使用済

現在のところ、版別可能な版はわずか8種類にすぎないが、大きなブロックが見つかるにつれて増えて行くものと思われる。2版の欠けている39番と40番を早く補い、リコンストラクションを完成させたい。また、14枚のブロックである3版も、1枚でも多く穴が埋まってくれることを願ってる。

(4) 製造面の楽しみ方(図4)

[目打の種類] 房黄2銭の製造面の楽しみは、目打のバリエーションをできるだけ沢山集めることだろう。この切手はポラス紙のため、きれいに抜けた目打は少ない。なるべくクリーン・カットの目打を集めたい。図4の上段のペアは4周9s(小穴9目打)で、その下は11s(小穴11目打)である。どちらも耳紙がついており、目打は小さいながら孔はきれいに抜けている。この両目打機(当時「打貫機械」と呼んでいた)は、11sが明治6年9月(和紙桜切手の後期)、9sが8年2月(鳥切手、改色桜切手の頃)に外国から輸入したものと推測されており、「和製手車付打貫機械」が1台45円のところ、175円もする高価な物であった(「印刷局沿革録 明治20年版」による)。しかし、9sは穴と穴との間隔が離れすぎているため、切り離しが不便で、実用的とは言えなかった。そのため4周9sはあまり使用されず、数も少なかった。3段目中央の11s×9s

のように、複合で用いられることが多かった。4周11sも中穴の11と比べると、特に、房では少ない。今のうちに、孔抜けのよい11sを集めておきたい。同じ4周9sでも、房1銭の9sの方がさらに少なく、1ダースあるか、ないかだろう。房1銭にだけに見られる珍目打14.5(いわゆるルーレット目打)よりも少ないと思われる(図5)。

竜銭切手から目打が入れたが、竜銭に使用した最初の目打器具は、「短器目打」と呼ばれる切手1辺分位の長さの目打器具で、1シート目打するのに90数回も目打しなければならない効率的な悪いものだった。和紙桜切手の後期からシート1辺分を1回で目打することが出来る「長器目打」が出現した。「長器目打」の最初は、中穴の11や11sであったと思



図5 房1銭珍目打

われる。少し遅れて12.5の割合細かい目打が現れて、この3つの目打(11、11s、12.5)が主力目打として手彫の最後まで活躍した。鳥切手や改色桜切手以降に9s、9.5や10.5等の粗い目打が単独または複合で出現した。また、房黄2銭だけにしか発見されていない先の尖った特徴のある13目打が8年に使用された。

以前に手彫切手研究会が行った約600枚の房黄2銭の目打調査の結果が残されている。目打別のおおよその傾向を知る参考になるとと思われる。以下はその調査の結果である。

12.5(39%)、11(30%)、13(14%)、11s(3%)、9s(2%)、その他(複合目打含む)(12%)であった。

9sが珍しいにもかかわらず、2%と割合が高いのは、会員が意識的に9sを集めていたからだろう。

[印面変種] 手彫切手の大きな魅力の1つは、何と言っても1枚1枚手彫りされたものであるため、印面変種が豊富であるということにある。ところが、手彫も後期になると、均一性が高くなり、彫りエラーもほとんど無くなり、特に、房黄2銭では版数が多いにもかかわらず、これまで分かっているエラーは2点しか知られてい



図4 房黄2銭目打の種類と印面変種



図6 房黄2銭3版ブロックの一部と3b版8枚ブロック

見てもらえば分かるように、2つのブロックが同一の版ではないからである。「N」や「E」のセリフの長さを比べてもらえると分かるだろう。

(5) 使用面の楽しみ方 (図7)

【不統一印】 房黄2銭ほど黒の消印の映える切手はない。特に、黄色に不統一印はよく似合う。房黄2銭は8年6月の発売の切手であるから、この切手に押された不統一印は、まず2次不統一印である。「記号入番号印(記番印)」の交付時(7年12月頃)にはまだ開局してなかったため、「記番印」の交付がなく、後で局独自で作製した消印である。この不統一印を使用する局はたいがい地方の小局であるためか、消印の押し方もていねいだ。消印の形もいろいろである。1列目左から楕円形、円形、四角形、長方形等。越前浅水の消印はまだ2枚しか知られていない珍印である。

【二重丸印】 2列目のNIB1印は明治6.4.1に3府5港の郵便局に配給された最初の

ない。図4の右下の切手はよく知られた「郵字第1画落ち」である。

このエラーは2版の21番である。38枚の大ブロック写真によって確認することができる。

図4の左下单片切手と、中央8枚ブロックの左上の切手は両方とも「右下桜芯落ち」のエラーである。

ウッドワードによると、このエラーは3版の3番ということになっているが、もしエラーが3番だとすると、3版の14枚ブロックとエラーを含む8枚ブロックが27番と28番で重なるはずであるが、重ならない。それは図6を

官給印である。7年12月頃には記番印に取って代わられるが、例外的に新潟のように9年、10年まで使用した局もあった。同列左のNIB1 西京は、8年には「証示印」として使用していた印が偶然印面に押されてしまったもの。

中央のN2B1印は、9年に東京、西京、京都、神戸で使用。N1は「明治八」のように「明治」が入る、N2は「八年」のように「年」が入る。B1は「午前」、「夕」等、漢字のもの。B2は「い、ろ、は」等、平仮名のもの。KG印のKは「国名」、Gは「郡名」、いずれもローマ字の頭文字から取った。KG上田島(日向、北那珂郡)は、9年に開局して、15年にはもう廃局になった局。KG高田には、何故か月日が無い。3段目、東京の「記番印イ一番」は抹消印としては、明治8.2.26が最後期であるが、金子入書状に限り、その後も使用された。これはその使用例で、なかなかの珍印である。白抜記番印は記番印を簡略化し、記号番号を白抜きにしたもの。東京(イ一)、大阪(子一)、京都(ター)、神戸(子一四)、長崎(イウ一六)等、大局を中心に使用。

最下段の「NCH穿孔」は、上海の新聞社、ノース・チャイナ・ヘラルド(North China Herald)の頭文字を取って、NCHと穿孔した。この穿孔は切手の私的な流出を防止するためのものであった。



図7 房黄2銭使用済

クイーン・メリー2 横浜来港

野島 正顕



開港当時の横浜港の風景

今年は1859年の横浜開港以来150年にあたる。開港記念日の6月2日には「横浜開港150周年記念」切手が発行された。市内では色々な記念行事が行われるが、テーマイベントとしてベイサイドエリアで「開国博Y150」(4/28~9/27)が開催されている。

これに先立ち3月6日、世界最大級の豪華客船「クイーン・メリー2」がシドニーから横浜港に来航した。



通せんぼのベイブリッジ

着く。広い出入国ロビーを備え、屋上には船の甲板調の通路と芝生を張った送迎デッキがあり港の人気スポットでもある。日本最大の客船「飛鳥2」もここを母港にしている。「クイーン・メリー2」は当然大さん橋に到着と思ったら、意外にも着岸は港のはるか外側にある大黒埠頭だという。不審に思って聞いたら、なんと「クイーン・メリー2」は背が高すぎて港の玄関に架かる「横浜ベイブリッジ」の下を通過出来ないのだという。

当日朝7時に入港、夕刻5時に出港予定。これに合わせて桜木町駅前から大黒埠頭まで市営の無料シャトルバスが出るという。朝から生憎の暴風雨であったが夕方の出港に間に合うように思い切って家を出た。天気が良くないのにシャトルバスは長蛇の列。世界最大級の豪華客船が日本に初めて寄港することだろうが、皆さん物見高いことは黒船来航以来変わらない。

着いてみると大黒埠頭は殺風景な貨物埠頭である。小生から見れば場末に女王陛下をお迎えした気持ちであった。送迎デッキから眺めると違い、埠頭から間近に見上げる海の女王はさすが威風堂々の巨船である。

151,400トン、全長345メートル、全幅45メートル。喫水からの高さは62メートルという。彼女が通れなかった横浜ベイブリッジは同じ英国キュナードラインの姉妹船「クイーン・エリザベス2」が通過出来る海上55メートルの設計が自慢である。

ちなみに、「クイーン・エリザベス2」は70,300トン、全長294メートル。喫水が



ベイブリッジ外側の大黒埠頭に着岸した
クイーン・メリー2



着岸を期待した大さん橋

小生も市民の一人として海の女王の歓迎に向かった。横浜港に來航する外国客船は、「外国郵便創業の局」のプレートがある横浜港郵便局から海に出たところの「大さん橋国際客船ターミナル」に



クイーン・メリー1を描く英国切手

らの高さ42メートルと妹よりかなり小ぶりだが、1969年の就航当時は世界最大の客船であった。パナマ運河を通過出来る船幅32メートルをクリアしているのでスリムで優美である。彼女は横浜港に何度か来航している。1989年の開港130年記念の時には大さん橋に2ヶ月間停泊して海上ホテルになった。小生もカミサンや友人と見学がてら船内レストランでランチを楽しんだことがある。「クイーン・エリザベス2」は30年間名門キューナードラインのフラグシップだったが昨秋引退した。近い将来三代目が就航するようだ。

一方「クイーン・メリー2」は2004年に就航したが、先代は1967年に退役している。「クイーン・エリザベス2」もそうだが、客船ラインの二代目の意味で2 (Two) を付けており、王位二世のII (The second) とは異なる。両船とも船名に荣誉ある郵便船の称号RMS (Royal Mail Ship) が付く。

夕暮せまる埠頭に船客を満載した富士箱根系の観光バスが次つぎと帰って来たが、この日の



クイーン・メリー2を描く英国切手



メリーの姉エリザベスの美しい姿



クイーン・エリザベス2の
Final World Cruise を記念する
オランダ切手

天気では富士山も見てもらえず残念。香港に向けての5時の出航を見送ろうとも思ったが、氷雨になったので帰りのシャトルバスに急いだ。隣に座った

た老婦人が宮崎の都城から見に来たと云うので驚いて聞くと、昨秋「クイーン・エリザベス2」



「クイーン・メリー2」に見せられなかった Yokohama の夜景

のロンドン~ニューヨーク最終航海に乗船したとのこと。日本人が40人ほど乗ったそうだが、その航海中、妹の「クイーン・メリー2」が終始付き添って走ってくれた。それがうれしく懐かしくて見に来たとのこと。世の中リッチで活動的な方がいらっ

しゃる。

切手に厠の香を聞く（2）

小川 義博

今回は人物切手に続き、厠が明らかに描かれていないが、ひそかにその香を出している建造物の切手に鼻を近づけてみます。

厠が建造物として出現したのは古く、紀元前3000年、今から5000年前のシュメール王朝がメソポタミヤのウル、ウルクなどに残した遺跡が最古であるといわれている。かなり下って、ローマ帝国時代の遺跡には素晴らしき水洗便所が残されている。トルコ、EHESUS 遺跡の切手から微かに香をきくことができる。何と18人が



トルコ
EHESUS 遺跡
切手
下
遺跡内の
公衆トイレ



一度に用を足せる公衆トイレである。このトイレの使用方法是説明が必要である。穴の開いた場



所に座り、終われば、用意された海綿等が括りつけられた棒を前の大理石面の溝に流れる清らかなる水に浸し、股下にくり貫かれた穴から差し入れ身体部分を清らかにし、使用した棒を清らかなる水で洗い流しておく。前の流れは端で流れを変えて、座面下を流れて排泄物を処理する。流れが方向を変える場所で排尿は別途行う

ことになっていた。この時代、手動ウオシュレットのトイレがすでに存在したのである。

目を日本に転じると、最初はなんと言っても桂離宮の切手であろう。上便所に文化的意義を



見出したブルーノ・タウトにその美を評価された建物は、普通切手と年賀切手水仙の釘隠しの2枚である。桂離宮には5ヶ所の厠があり、この切手印面の左手奥の方に優雅な厠が存在する。萌黄絹縁畳敷



四角い朝顔型便器の
小便所

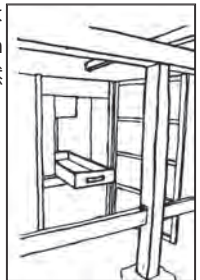


雲母で小桐紋が雅な壁の大便所



小便器の下は玉石が60cm埋められ自然吸い込み式

大便器の下に砂をいれた引き出しが用意されて一種の樋箱である



き春慶塗大便器（樋箱）と、前後に植木を置く板の間と香を焚く床の間をもつ大便所、障子の明かりとりと、大阪土壁に木製朝顔型小便器の小便所、竹張り床の手水の間がある。桂離宮は高床式の数寄屋造りである。厠の床下の造りが面白い、高床の長所を生かした排泄物の処理方法を工夫している。

この優雅さに対比されるような存在が庭に設けられた松琴亭の砂雪隠である。時をことにするが可動式椅子便器の香も気になる存在である



庭園の松琴亭の待合、腰掛
右 そこに設けられた砂雪隠



が、庶民の暮らしとは異なり、廁らしい香りが聞けないものであろう。

桂離宮と反対に位置する民家シリーズ第1集の旧渋谷家の切手に、懐かしい香を聞くことができる。出羽三山、湯殿山の麓に位置し、湯殿山信仰で宿坊にも利用された積雪を考慮した急勾配屋根の多層式農家である。1階は作業スペースである。廁は大戸口の左側で、この時代の多く農家と同じく南側に位置する。日中でも暗く、梁からたらされた綱をつかまり、黄金に浸からないように



日本の民家シリーズ渋谷家住宅



渋谷家の大便所
仕切戸はなく、縄のれんと命綱が特徴的



渋谷家の間取り

尿尿が大切な肥料であった時代、肥料として有効性を高めるために日の当たる南側に廁を設け、尿尿の発酵を促すことがことが重視された。



東北に残る命綱付廁

用を足すものであった。この綱を使用する廁は戦後しばらくは広く地方に見られた。

この廁に似たものが、日本の民家第5シリーズの合掌造りと第2次世界遺産シリーズ9集の合掌造り集落の廁である。合掌造りは岐阜白川郷と富山五箇山が有名である。白川郷の廁はヘッチャと呼ばれ地面に直径2m、深さ1.5mの便槽を作りそのうえに板を渡した廁である。中央に



日本民家シリーズ 白川郷



ヘッチャという廁

置かれた箱は"糞べら"入れである。ここでも農家の特徴として生産優先の配置(作業動線と肥やしにする発酵効率を優先)をとり、南側出入り口に設けられているのが普通である。

廁に類したことで興味深い事実がある。それは五箇山で尿を使用しての硝石に代わる人造焰硝作りと、それを用いて火薬作りが行われたことである。五箇山の煙硝作りは合掌造りとは特に関係はなく、気候条件、隠蔽のしやすさの点から五箇山がふさわしかったからである。

その製造方法は、人尿を素材とし、まず家の床下にまやという穴を掘って、人や蚕の尿に麻・ヨモギ類の葉、乾いた土を積み重ねる。それを五年以上ねかせておくと、人工の硝酸カリウムが生成されてくる。現代の化学的知識によると、これは土中にある硝化菌とよばれる一群の細菌が作用して、尿の中のアンモニウムイオンが亜硝酸イオンを経由して硝酸イオンに酸化されたわけで、硝化作用といわれる反応である。さて、



焰硝まやの位置とまやの造り

こうして熟成した培養土を集めて紺屋灰を加え、灰汁煮、中煮、上煮の三段階の濃縮工程を経ると、純白の硝酸カリウムの結晶が得られる。焰硝生産の宝庫になった理由には、材料にする植物の繁茂、湿気と腐敗を防ぐ高冷地の空気などの条件があった。加賀藩はこの地を厳重な監視の下に置き、その技術の秘匿につとめた。灰汁煮以下の三工程さえ、それぞれ別の村に分業させるという徹底した管理体制をとったという。

次の2枚の切手からは香合せを偲ばせる香が聞こえてくる。香の先は1969年沖縄政府から記念切手として発行され、1998年民家シリーズ切手にも描かれた、沖縄県にある国宝中村家住宅の廁である。

沖縄では戦前まで石組みの便所に豚を飼っていた。フールとい

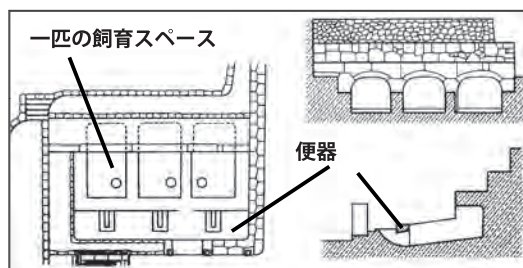


国宝 沖縄県中村家住宅

われ普通に見られた。人のものが豚の餌になっていたのである。人のものは50%は未消化で十分飼料となる。また、豚のものは敷き藁と発酵させると最良の有機肥料になる。このフールは養豚と廃棄物処理をセットにしたゼロエミッションの発想であったが、人畜共通



中村家豚便所（フール）3ヶ所の便器を持つ



感染症と人と豚の間を循環する寄生虫の存在などの点から戦後に破棄される運命であった。豚の放し飼いはともかく、フールは韓国、中国、フィリピン等にみられた。また豚便所に準じた魚便所などがある。

次に民家シリーズから近代洋風建築シリーズ切手に目を移すと、水洗式がみられ香も薄くなってくる。

第5集岩崎家住宅は明治29年に20棟からなる邸宅群であったが、現在は洋館そして地下で往来できる撞球場、日本家屋が残っている。洋館2階に日本で最初に作られたといわれる水洗式がある。現在のように大小をかねるものでなく、小は入り口のスペースに隅付き小便器がある。この時代は現在のように洋式＝大小便器ということではなかったようである。英国製の重厚な便器が設けられている非常に採光の良い廁である。重厚な木製の便座を見ると、誇り高き国で女王陛下の座した木製便座に敬意を表し、その木でパイプを作製し愛用した紳士諸氏が



東京都 湯島 岩崎家住宅



岩崎家の日本最初的水洗式便所





長崎県 グラバー邸

改装が成され、住宅として整備されたのは明治20年頃であるという。その後、進駐軍の宿舎として接收され当初の廁の姿は不明である。ただ現存する木造洋館最古のものとして、その廁の位置は意味があるという。

住宅から神社、仏閣、城の切手に目を移せば自ずとその香も廁も少しかわってくる。有名な東司の東福寺は切手に見つからない。

普通・国宝切手等に多く取り上げられている日光東照宮からの香は、すばらしく広く清潔な廁の長屋という感じの西浄という建物から漂ってくる。石敷きの通路に、一坪の広さを有する便室が連なっている。便室の下には9室共通の石積みだいやがわの溝が設けられ、大谷川の水を流す水洗式となっている。この西浄は東照宮建築群の中で他の建築と異なる扱いを受けている。まず、飾り丸瓦が他は葵の紋であるのに巴の紋になっており、次に他の建物は西側の石畳参道に正門を向かってその正面を向けてい



通路に沿って便室が9室並ぶ



便室の下は大谷川の水が流れる構造

全面朱色の弁柄漆塗り
飾り金具が使われ華麗な
廁

いたという話も理解できるものである。

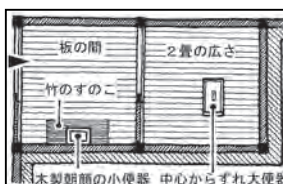
第8集の開国にともなう接客所として文久3年に建てられたグラバー邸は度重なる改築、

るのに対して、西浄だけは東通用門に向かって建てられている。

次に、城にその香を求めると意外と少ない。世界遺産の姫路城の天守閣の地下に緊急時の籠城に備え、台所と隣接した木製のきんかくしをもつ廁が香を放っているぐらいである。この廁、いざという時の黄金糞尿秘密兵器を蓄えておくため非常用に落壺が埋め込まれていたが、汲み取り口はない。この落壺は地元の備前焼である。



姫路城天守閣下にある
木製便器を持つ廁



熊本城の空中廁
竹の床である。
多分換気は最良であろう。

料をもとにルーベ片手にヨーロッパの国々の切手を探せば多くが見つかるであろうと考えるが、まだ、1枚だけでスイスはレマン湖畔シオン城にその香をやっと聞くにとどまっている。検証



英国 Wales 地方の Conwy Castle に見られる Garderobe



1998 年 中国とジョイント発行。レマン湖、瘦西湖の小型シートに描かれたシヨン城



便座のはるか下、レマン湖面が光る。

していないのが不安であるが湖面に面した2ヶ所が厠であろうと想像している。新島襄の厠を彷彿させる使い込まれた便座の下はレマン湖の水面である。何のことはない、豚便所ではなくスイスの魚便所である。



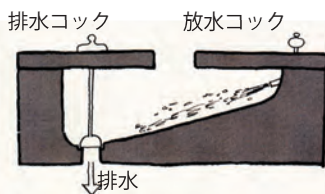
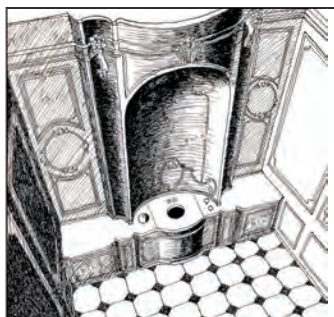
Atheryn 城の空中トイレを下から見る。

この空中トイレ、歴史は古く1200年頃に築城されたアイルランドのAthenry城にも見ることができる。この城の厠の下は板囲いができており、災害防止(?)に配慮がなされている。しかし、前頁のConwy Castleの厠となると防御不能なジュータン爆撃可能な規模である。

このように城のトイレを知ると、よく言われる“ヴェルサイユ宮殿にはトイレが無かった”ということは?、という疑問を抱いてしまうが、城のトイレが例外的な存在であったと考えるのが正しいようだ。ルイ15世は蓋付便器を設けた部屋を持っていた、ルイ16世は水洗式トイレを使用していたというがそれ以外にトイレはなく、274脚の腰掛式便器があったにすぎない。



トイレという部屋はなかったヴェルサイユ宮殿を描くフランス切手



ヴェルサイユ博物館資料から復元された17世紀後半ヴェルサイユ宮殿のトイレ。便座の下には水で排泄物进行处理する放水、排水設備があった。(朝日新聞、1982.8.27.「ベルバラム水洗使った大宮殿」『すまいの火と水-台所・浴室・便所の歴史-』彰国社)



トイレの代わりに用いた当時のチャンバーポット。今では骨董品として£350-450の値がつく

かったという。当時のヨーロッパには一般的にトイレという家屋に位置を占める空間はなく、種々の器、家具としての便器を使用していたと、理解するのが妥当であろう。その一般的なものがチャンバーポットというおまるを使用するスタイルである。ヴェルサイユの舞踏会ではこの器を皮の大きな手袋の中に忍ばせた貴族が見られたという。

このチャンバーポットの中身が宮殿の中庭に捨てられ、宮殿の生活はその香に包まれたものであったという。因みにこの宮殿が建てられた



貴族の寝室のチャンバーポット用の収納家具

のはルーブル宮殿の不潔さによる香の強さを避けてのことであつたともいう。

昨年末、国立京都博物館で、ヴェルサイユ宮殿のトイレ事情を考える上で、参考となるものを目にすることができた。140年ぶりに公開された蒔絵のトイレットボックスで



山水花鳥詩絵螺鈿箱（トイレットボックス）
ヴェルサイユ宮殿美術館蔵

ある。1640年に日本からフランス貴族に渡り、美術館に収蔵されてきた"山水花鳥詩絵螺鈿箱"である。蓋を開けると赤いビロードの座面が現れる椅子便器である。

また、オーストリー Graz 近郊の民家園を訪れ80棟近い民家を見たが厠はなく、ベッド下にチャンバーポットが置かれていたこと、復元された当時の万屋の棚に売り物としてチャンバーポットがあったのが思い出される。貴族といえども基本は変わらず美術工芸品としてのポット収納家具が準備されたぐらいの変化しかないようである。

チャンバーポットに類したものに中国の馬桶（マートン）、日本の尿筒、尿瓶、樋箱、清箱（おかわ）、韓国のヨガンなどがある。

ここで留意すべきがポットの中身の処理であ



オーストリー民家園の一民家



民家のベッド下に必ず置かれているチャンバーポット



チロル地方の民家
オーストリー通常切手

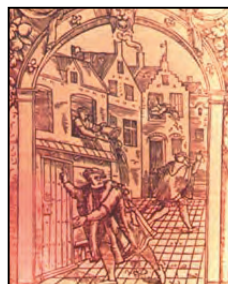
る。日本と異なり、屎尿に価値をおかない社会においては屎尿は廃棄物であり、その廃棄方法、処理方法が問題になる。

広い敷地を持つ貴族の邸宅は別として、都市国家として発達した、人口密度の高い都市における一般市民の処理が問題となってくるのは当然である。石造多層住宅の都市でのこと、処理方法も当然、手っ取り早く窓から外へ排泄される。18世紀初頭のスコットランド、エジンバラの早朝の風景が下のように記録されている。

「はるか頭上で5,6階あるいは10階の窓が開きポットにたまる糞尿を街路に放つ。捨てる人は"ガーディ・ロー（水がいくぞー）"と叫ぶのが礼儀であった。」とある。（フランス語であるのはフランスから入ってきた表現であることを示す。）このように当時のヨーロッパの都市の街路は不潔極まりない"排水路をかねた街路"であり。その対策として、ハイヒール、マント、傘が考えられたという。

このような劣悪な生活環境であらゆる物がパリであればセーヌ川に集まりセーヌ川は下水と化していたという。ここで注意されるのがヨーロッパの都市は、河川の河口でなく中流に位置しており、その及ぼす影響たるや計り知れないものがあったという。

当時のパリの空気は異様な臭気を持ち"腐った空気のパリ"と言われた。その後、1832年コレラで2万人の死者をみてから、下水道設備が



18世紀ヨーロッパの都市の朝風景を描写した画



18世紀パリ街路
中央に排水路
地下に下水



1880年頃の朝の川岸の様子
チャンバーをいっせいに川に空ける



下水となったセーヌに挟まれ強烈の香に包まれたであろうシテ島を想像させる 1947 年フランス航空切手

整いだし、現在では人が歩いて清掃のできる世界に冠たる下水道網が整備されたという。この辺の事情を知れば、遡ること安土桃山時代に來日した宣教師達が日本の都市の清潔さに驚愕したということも、理解できるものである。

一方、厠の方は下水網ができて石造りの多層建築物はそう簡単に各階、各家に厠は造れずチャンバーポットが使われ続け、セーヌや凱旋門を見下ろす歴史を感じさせる建造物は水洗式になってから厠環境が整備されたとも考えられる。水洗式は排泄物の破棄に、それまでの汲取り式のように建築物に、負担をかけなくとも厠を設置できることである。そのために日本では想像もつかぬものを目にする。

それは排水管を可能な限り細くして建物に手を加えることを少なくしていることである。姪が生活していた、凱旋門近くの屋根裏部屋の厠に驚いた。便器の脇に電動糞碎機が設置されているのである。何気なく見ている石造りの多層な歴史的建物で生活していく上での、隠れた困難さを知った。パリの切手に古き都の香に思いを馳せるとともに、耳新たな音色を耳に香を聞くことができた。

今後とも学識(？)、うんちくを積み、切手により良き香を聞けることを願い、日々気張って行きたい。



右上のスイッチを押すと中央に見える糞碎機が回り、排水レバーを押し自己のものが問題なく流れるのを確認



花の都の古い建造物での生活の苦勞を思わせるに十分なパリを描いた 1949 年フランス航空切手

もっと香をお聞きになりたい方は下記の HP に鼻腔をお近づけてください。

最後に、貴重なる写真を提供いただいた宮鍋会員、池山会員に深く感謝致します。

<http://www.bekkoame.ne.jp/~y-ogawa/kawayu.htm>

参考文献

- | | | |
|-----------------|---------|---|
| 1. 図説厠まんだら | INAX 出版 | |
| 2. 便所のはなし | 鹿島出版 | |
| 3. 日本トイレ博物誌 | INAX 出版 | |
| 4. 都市はいかにつくられたか | 朝日新聞 | |
| 5. 十八世紀パリ生活誌 | 岩波書店 | 他 |
- (第 51 回切手教室のレジュメを訂正、加筆)

厠に切手 海外に行き、トイレで多くの驚きと戸惑いを経験することが多い。その中に便器のカバーの扱いがある。無機質の便器カバーを、ソフトな材質で覆うことが日本では日常かと思う。それが趣味の世界の対象となっているのには複雑な思いを抱かざる得ない。オーストリーの友人から我が悪趣味の資料として送られてきたスイスの郵趣誌記事の写真である。フランコのスペイン切手が多く使用されている。他の趣味の世界にも



切手偏見



昨年からふるさと切手の発行が整理され、まともな切手が少しは見られるようになった。そんな中、偏見フィルターに気になる切手が見られた。原田泰治氏原画の「ふるさと心の風景シリーズ」の切手である。一連のふるさとを描き、ほのぼのとしたものを感じさせる画である。

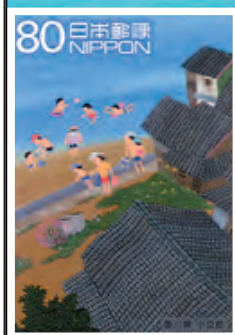
しかし、30センチ四方から60センチ四方の原画が切手にふさわしい画であろうかと感じた。切手の宿命、画像の緻密さと縮小の問題を感じさせるシリーズであった。このシリーズに負わされたこの宿命の解決には会報30号にふれた切手の「美の壺」「カットに秘密あり(トリミング)」もポイントであろうかと、シリーズ切手40枚のうち35枚の原画高精細複製画が販売されているホームページを知ったので原画がどのようにカットされたのか覗いてみた。(http://www.torinome.

net/sell/sell_list_kitte.html、なんと郵便局の通販ショップにリンク、3万～36万円で販売) 原画を知り得た切手のうち、カットなしで切手になっているのは4枚だけであった。他の31枚は上下、左右、方向の位置は不定で10%から70%の部分がカットで除かれてしまっており、原画の「ふるさと」のイメージとはかなり異なる感じになった切手が散見された。このようにカットせざるえない、カットすれば問題を感じざるえない画を切手の対象とすることは議論されてしかるべきであろう。具体的に、これら切手を原画に当てはめてみました。会員諸兄姉に評価していただければ幸いです。

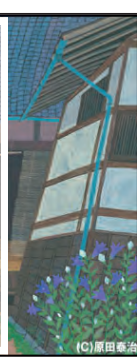
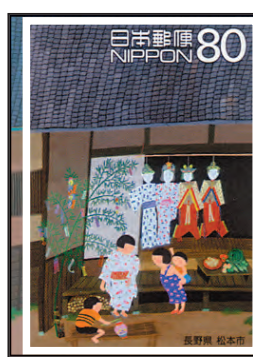
更にカットに加えて、原画に新たに対象を加えて切手にしたものが存在した。それは第2集福岡県朝倉郡「小さなスーパー」である。原画にはない郵便配達のアートバイが切手には描かれている。次ページの様に原画の下方に道路を描き、郵便配達を加えたのであろうか。

このようにカットがどのようになされているかを確認していると、過去に発行された多くの

切手が国宝、重要文化財等の芸術性の高いものを対象にカットをしていることを思い、その原画を探し出すことを試みた。有名な絵画、絵巻等であれば容易であるが、苦勞するものがほとんどであった。この原画が探しで痛切に感じたのが切手カタログの無力さである。せめて表題、作者、所蔵している機関が記載されていることが望まれる。教養の無い



(C)原田泰治



(C)原田泰治

- 左上 横長の画を縦の切手にカットした
第1集 川越市「時の鐘」
- 右上 ふるさと風景シリーズの中で
一番カットを大胆にしたと思う
第1集 香川県池田町「心の海」
- 左 あえてカットのしないで、
原画のままではと、思わせる
第1集 郡上市「夕涼み」
- 左 横長の画を縦の切手にカットした
第1集 松本市「七夕人形」



観音菩薩像

黒き猫図

わが身にとってはカタログの図柄説明が唯一の手がかりということが普通である。幸い、現在はネットで検索ができるが、皆様も経験されているように、カタログの図柄説明の単語で検索しようものならネットオークションの切手が数多くヒットしてしまい、本来の絵画、工芸品をそこから検索するのに神経と時間をとられてしまう。

最初に、絵画そのものが目的に発行された近代美術シリーズ切手に取り上げられた原画をながめてみた。正確さにやや不安があるが、すべて原画を確認できた。これら原画と切手を比較するとさすがに美術品対象切手だけに前述した「ふるさと心の風景シリーズ」の切手とは異なり32枚のうち、カットをされていないもの24枚、わずかに上下をカットされたもの6枚、カットがかなりなされたものが2枚あった。その2枚は菱田春草「黒き猫図」と富岡鉄斎「観音菩薩像」であった。この2枚は掛け軸様のものなのでカットは不可欠な原画となろうか。

次に、国宝シリーズの中の絵画関係をながめてみると対象が仏画、屏風と対象が大きく、カットは避けて通れない対象物であるだけに逆にカットが重要性を増してくるものであろう。いくつかをながめていただきたい。絵画関係25枚のうちほとんど原画のままとと思われるものは吉祥天像、源頼朝像、釣便図、紅白梅図屏風等にかぎられ、他はかなりのカットがなされている。屏風絵はかなり大胆にカットがなされそれぞれの作品の美しさを示すことの難しさを感じさせる。

対して、絵巻物は一絵巻に画像が多く、対象とする場面を選択して、縦の長さを制限されているカットという、屏風とは異なる難しさがあることが忍ばれる。国宝の絵巻をイメージさせる切手ということでカットがより重要な役割を担っていることが理解できる。



普賢菩薩



納涼図屏風



松林図屏風



濡標図屏風



信貴山縁起絵巻



紫式部日記絵巻

次に、非常に多く切手になっている浮世絵について見ると、国際文通週間の広重・東海道五十三次、北斎・富嶽三十六景の絵はカットなしと、とらえられるが、これら風景浮世絵が他の

特殊切手に用いられると大きくカットと加工がなされている。具体的に見ると全画面を切手に使用（東海道線電化完成）、縦横比を変えた画にデザインを加える（国際地震サミット）、風景画の一部を切り取った画にデザイン（国際ロータリー大会、20世紀・箱根駅伝と新幹線）、切り取った部分のみのデザイン（江戸開府400年）などの形態があるようだ。ここで注意しておきたいのが江戸開府400年シリーズでカットされた広重の日本橋の画である。これは広重の意に反して版元が売上を考慮して後刷りした画であり、初版は1962年国際文通の画、これを使用すれば下に見るように、落ち着きのある、渋い切手が発行されていたことであろう。同じ作者の異なる版の画が切手になっている珍しい例であろう。同じ浮世絵でも、美人画の方は大きくカットされているものは鳥居清長の



広重 東海道五十三次 由比



広重 東海道五十三次 日本橋 初版



広重 日本橋 後刷り



広重 東海道五十三次 小田原



北斎 富嶽三十六景 相州梅沢庄



広重 東海道五十三次 箱根

雨傘と大川夕涼み図などあるが少ない。

このように切手の原画を調べていると同一絵画等が異なる目的での切手に別々にカットされているものがいくつか存在することに気づかされた。

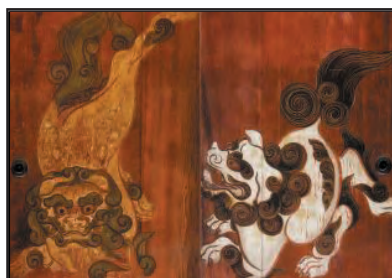
先ず、切手趣味週間と国際文通週間にカットされ、すべての人物が切手に描かれた婦女遊楽図屏風（松浦屏風）である。6曲1双の右隻を2曲と4曲に切り離して発行されている。左隻の方の10人の婦女はカットの難しい構図であるので切手には難しかったか、と考えられた。次に、京都・養源院の俵屋宗達描く唐獅子図杉戸絵がライオンズクラブ関係の記念切手に四半世紀の間隔を



婦女遊楽図屏風（松浦屏風） 右隻

置いて用いられていることにも気づかされた。

次に、同じ原画で多くの切手がカットされているのが酒井抱一の絹本着色・四季花鳥図巻上巻、下巻14mである。1997年国際文通週間の3枚と700円普通切手1枚の4枚の切手である。4枚の切手で下巻7mの中の約1m50cmを使用しただけであり、今後とも使用されるであろう。

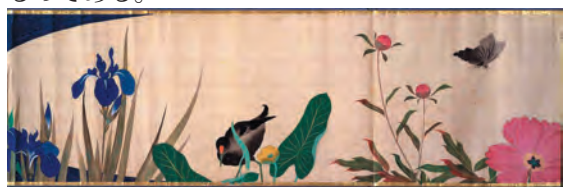


養源院 唐獅子図杉戸絵



酒井抱一 四季花鳥図巻下巻一部と切手部分

上巻の方は郵政公社設立記念切手の10枚の切手に使用されている。縮尺の割合は10枚それぞれ異なり釣り合いの良い状態で切手になっている。しかし、1枚切手のカットの仕方に目が留まった、どうも原画と異なるのである。通称、「牡丹と芍薬と蝶」と記されているシリーズ10番として記されている切手である。下に示すように蝶が牡丹にどう見ても近づき過ぎているのである。



酒井抱一 四季花鳥図巻下巻一部の画像
東京国立博物館情報アーカイブ画像番号 C0035819



上記絵巻よりカットされた郵政公社設立記念切手
河骨とパン 改ざん？された牡丹と芍薬と蝶

蝶の位置が異なることは明らかである。酒井抱一のような著名な画家の作品を借用カットだけでなく、改ざん、加工して切手にしたことをはじめて目にして複雑な思いである。縮小率を少し上げることではダメであったのか。仮に許されるとしてもどこかに明記すべきであろう。明記で気になっていたことがある。カットして切手にしたことを明記した切手が2006年以降、趣味週間切手をに増えてきたが40枚弱と少ないが存在する。江戸開府400年記念17枚のうち11枚に、そして、興味深いのが三の丸尚蔵館の所蔵の絵画が7枚が切手に用いられているがその内の6枚には恐れ多いか、部分を切手にした旨、明記されている。また、多分1枚だけだと考えるが、合成した旨を明記した切手が存在す



雪村の松鷹図

る。どの切手にもこのように明記されることが望まれよう。

普通切手で絵画をカットしたものは終戦直後の北斎の山下白雨にはじまるが、数えるほどしかないのが意外である。その中で、殊殊院旧蔵という雪村の松鷹図

の凹版切手のカットを見ると掛軸サイズなので上下がカットされている。対の一方の松鷹図もグラビアで1974年に国際文通週間の切手になっている。同じ印刷方式で同じ種類の切手として発行されていればと、悔やまれる原画カットの例である。

普通切手に多く見られる工芸品には馴染みが薄いものが多く、改めて切手を知らないことを



痛感させられる。例えば、「中尊寺華臺」といわれ120円切手3種類に描かれるもの、「法隆寺金銅小幡」といわれ70円切手に描かれるもの等がどのような工芸品



からカットされているかご存知の方は少ないであろう。このように「ふるさと心の風景」切手への疑問は切手が発信している情報とカットに対する無関心さを反省させられた。同時に、このように過去の多くの美術品をカットし、切手に描いている国があるのかな

中尊寺の金銅宝相華文透彫華臺という仏具

と、新たな疑問を抱いた。

最後に、今回切手の建築物を除く文化財の原画を求め400点余徘徊し、現時点で一番大胆に



江戸開府400年記念
江戸名所図屏風極小部分

カットされて切手になったと思われるものをご紹介します。これは部分カットというより探索、発見、採取、という言葉の表現がふさわしい感じがします。江戸名所図屏風が出光美術館で公開の折は単眼鏡、図録であればルーペをお忘れなくお探してください。

(編集子)

稲葉良一氏受賞記念切手展

稲門フィラテリー 31 号でお知らせしました
中島健蔵・水原明窓記念賞を受賞された会員 稲
葉良一氏の受賞を記念する切手展示会が 6 月
27,28 日に目白の切手博物館で行われます。

里山の切手展、新緑の青葉の中で開催

長谷部会員の「切手展 2009 in 寄居」が 4 月
21 日から 1 週間、新緑が目にし、青葉の香に
つまれ、蛙の声の聞こえる素晴らしい里山の
会場で開催されました。多くの会員が秩父の春
と、長谷部会員の人生の節目に郵趣を取り込
んだ展示を楽しみ、旧交を深めたようです。

会員郵趣活動

★全日本切手展 (4.18-22)

銀銅賞

書留郵便番号表示法の変遷 (戦前)

一東京深川局及び管内局一

鎌倉 達敏氏

銀銅賞

米国郵政の公用業務航空郵便史 1911-38 年

和田 文明氏

★スタンプショー (4.24-26)

外国切手にかくれている日本 甲斐 正三氏

新入会員

森 孝之 39・政

185-0037 国分寺市富士本 1-27-9

切手教室

第 59 回 2 月 7 日

切手を PC に集めよう 小川 義博氏

第 60 回 3 月 7 日

アメリカの郵趣雑誌から 小熊 忠三郎氏

第 61 回 4 月 4 日

日本の城と切手 甲斐 正三氏

訃報

地図切手の収集と地図切手に関する執筆な
どで活躍された高木実氏が逝去されました。
ご冥福をお祈りいたします

編集後記

昨年来、稲門フィラテリーの校正をしていた
だき、文章、字句の訂正だけでなく、幅広い知識、
見識から原稿内容も見ていただき、執筆者の方々
から感謝されておられた編集幹事吉沢さんが 2
月末、骨折し、入院されています。このため、
残念ながら、32 号は以前と同じ状態での発行と
なりました。多くのお叱りを覚悟での発行です。
1 日も早い回復を願い、稲門フィラテリーの品格
の維持、向上にお力添えをお待ちしています。

お蔭様で、原稿がたくさん寄せられました。
掲載をお待ちいただく方に深くお詫びします。

今年の見学旅行は京都です

● 稲門フィラテリー恒例の見学旅行は京都に
● 決まりました。
● 旅行日は、9 月 27 日 (日) 28 日 (月) です。
● 宇治・平等院、二条城などの見学を予定して
● おります。平等院では大修理なった鳳凰堂の
● ほか、平成 13 年に開館したミュージアム鳳
● 翔館を見学します。2 日目は市内散策も予定
● しておりますが郵便創業時の西京郵便役所を
● 前身とする赤レンガ造りの中京郵便局には
● ひ寄りしたいと思います。多くの会員の参加を
● お待ちしております。

稲門フィラ総会開催日予定

今年の総会が 10 月 18 日 (日) に予定されました。
出席の御予定をお立てください。

第 5 回稲門フィラ常設展

新宿北郵便局で開いている常設展、はやいも
ので下記のように 5 回を迎えました。今回は「切
手趣味週間はじまる」。美しい趣味週間の切手の
拡大図が展示されています。



新宿北郵便局 稲門フィラ常設展のあゆみ

2008.6.7 ~ 8.12

第 1 回 日本・カナダ同時発行赤毛のアン切手

2008.8.13 ~ 10.31

第 2 回 洞爺湖サミット記念 切手展

2008.11.1 ~ 2009.2.6

第 3 回 クリスマス切手と日本年賀切手

2009.2.7 ~ 4.7

第 4 回 切手で辿るアメリカの大統領とその歴史

2009.4.8 ~ 7.3 予定

第 5 回 切手趣味週間はじまる

発行日: 2009 年 6 月 2 日

発行: 稲門フィラテリー

発行人: 小西 邦彦

〒150-0002

渋谷区渋谷 1-11-3 正栄ビル 4F

(株) 英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

郵便振替口座: 00110-0-560458

稲門フィラテリー

編集担当: 吉沢 忠一 五十野 和男

池澤 克就 小川 義博

稲門フィラテリー

第 33 号

2009 年 9 月 1 日発行



編集幹事が原稿執筆者の依頼にこたえるため切手画像を集めてきました。

同時併行的にふるさと切手の抱える問題を明らかにしたく、ふるさと切手に限定した"データベースもどき"を作成しました。このもどきを用いて、稲門フィラテリー 28 号切手偏見でいくつかの疑問と問題点を指摘しました。

その後、日本切手全体のデータベースに発展させるべきだとの助言を中川会員から、中途半端であるとお叱りを青柳会員から受け、さらに宮鍋、坂下会員より貴重な切手画像提供の協力も得られて、何とか日本切手データベースといえるものが編集担当の机上 PC に、不完全ながらも一応完成しました。

なぜ、不完全か？それは日本切手の完全な美品画像を全てに準備できていないこと、それ以上に個人による作成であるため、一枚の切手から引き出す情報が主観的になり、偏りが生じてしまっている感が深いこと、加えて、使い勝手の点でも、より多くの観点から使用して汎用性を高める必要があること等、多くの限界と改善すべき点を痛感させられます。

そこで、このデータベースを会員諸兄姉に紹介させていただき、関心をもたれるようでしたら、試用していただき、誤り、過不足、難点等の指摘を受け、より錬られたものにして、会の活動の一助になればと思い、不遜ではありますが、紙面を汚し、紹介させていただきます。

基本的プログラム内容

1 万種にも満たない対象であること、多くの方の PC で使用できること、切手の美しさを表現できること等を考慮して EXCEL と 400dpi 画像 FILE で動作するプログラムとしました。

日本切手データベース完成

データ内容

発行された日本切手 1 枚の持つ基本的事項(日本切手カタログ番号、さくらカタログ番号、画像ファイル名、銘版、シート形態、種類、額面、発行年月日、発行枚数、印刷方式、通称名等)と KeyWord1 ~ 12、備考の 29 項目を準備しました(一部未記載)。従って、切手枚数×29 のマトリックスのセルからなる文字データ領域を持つ実行 FILE (日本切手 DATABASE.xls) と切手枚数分の画像 FILE (□ ****.jpg) と特定の切手原画画像 FILE (□ **** 原画.jpg) が作業対象となるデータ内容です。

実行 FILE 構成

実行 FILE 構成は表 1 のような 12 の sheet* で構成しました。

●データ sheet

3 つの sheet は 1 枚の切手に一行を割り当て、上記 29 項目が A(1) 列から AC(29) 列に入力されています。従って、特殊 sheet の場合は約 3300 の行の 1 から 29 列のセルにデータが記入されたデータ sheet です。更に、この sheet で画像を確認したい切手の行を選びショートカットキーで切手画像が表示されるので、一覧表となった

表 1 12 の sheet とその内容

	sheet 名	内容・作業内容
データ	特殊	記念・特殊切手 DATA + 画像表示でカタログ機能
	ふるさと	ふるさと切手 DATA + 画像表示でカタログ機能
	通航年国	普通・航空・年賀・公園切手 DATA + 画像表示でカタログ機能
作業 sheet	検索	検索対象語入力画面 検索結果文字情報表示
	検索画像	4 つの単語・文字による AND・OR 検索
	特定検索	検索 sheet 表示切手の画像一括表示画面作成
	補足修正	年、印刷方式で検索・検索結果の一覧表示と画像一括表示画面作成
	原画写真	切手拡大表示でのデータの修正、追加、確認
補足	全切手	切手とその原画の比較表示(文化財切手中心)
	雑作業	必要時、全切手の時系列に基づくリスト自動作成
	表紙	検索出力リストを使用する作業・汎用目的に使用
	説明	使用上の留意点表示・立ち上げ時表示画面
		本実行 FILE の使用説明の抜粋

*sheet は EXCEL の sheet、シートは切手シート

切手画像カタログとして利用もできます。

●作業 sheet

作業 sheet はデータ sheet から目的の切手を検索し、結果を表示したり、拡大切手画像を確認しながら KeyWord を検討、修正したり、切手の対象となった文化財の絵画、写真等と比較するための sheet です。

5つの作業 sheet 画面を示します。データベースの具体的なイメージを描いてください。

1. 検索 sheet(図 1)

この sheet が検索作業の中心となります。例えば、「国宝」、「仏像」と2つの言葉で **AND** 検索する場合、下記のように文字入力セルに順に言葉を入力し「AND 検索ボタン」をクリックすると33枚の切手が該当し、その文字データが表となって表示されます。更に、切手の画像を確認したい時は「切手画像表示ボタン」をクリックすると文字データの表の順に検索画像 sheet に切

手画像が表示されます(図2)。

更に、KeyWord に仏像製作時代が入力済みであれば検索文字3に時代名を入力後クリックすれば絞り込まれたデータ表が得られます。前2語検索段階で「OR 検索ボタン」を仮にクリックすると、262枚の切手の一覧表と画像がえられます。

2. 検索画像 sheet(図2)

1で検索された切手画像をすべて表示する sheet です。モニタによって異なりますが表示される切手画像は1280×1024ピクセルで20インチモニタ上で普通切手で40mm×45mmの大きさで4列に該当枚数だけ表示されます。切手画像は400dpiの画像FILEですから、この画面で細部まで確認する場合は、EXCEL 画像操作方法のマウドラッグで1枚ずつA4判程度の画像に拡大し表示できます。その画像のイメージは200円の普通切手東大寺音声菩薩像で菩薩

が笛をどの指で押さえているかを、容易に判断できる画像です。このような画像FILEで統一しようとしたのは会報への利用だけでなく、切手展示会でのパネル展示の紙ベース出力に耐えられる切手画像FILEを意図したことによります。そのため、現状でも4GB近くのFILEの総量になり、CDでなくDVDでないと記録できないものになってしまいました。最近の切手の種類の多さの馬鹿さ加減を考えると、近いうちにDVDでも記録できなく、2層DVDが必要になることは必然かと危惧しております。

3. 補足修正 sheet(図3)

文字データ一覧表、拡大画像を確認していると、KeyWord の追加、修正の必要が生じてきます。その場合に備えて、補足修正 sheet を用意しました。文字データ表では目的の切手の行を、画像画面では通称名表示セルをクリックし、ショートカットキーで図3の画面が表示されるので画像を見ながら、補足修正作業をします。

KeyWord を補足修正するたびに思うことがあります。それはKeyWordを決めることの難しさです。発行目的、描かれた図柄、双方からKeyWordを考えて入力します。その順番はともかく、その日の気分によってでも入力する言葉が異なってしまう、というお粗末なことが普通

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
2	検索対象切手種類FILE数										5602枚		原画作者を対象			no
3	検索文字 1		仏像		AND		検索		検索対象							
4	検索文字 2		国宝		OR		検索		AND							
5	検索文字 3				切手画像表示											
6	検索文字 4															
7	画面初期化白紙に										検索語数		2	検索ヒット数		33
8	個別の切手画像確認は行をクリックし CTRL + e で															
9	番号	*****	FILE	形態	種類	額面	発行年月日	*****	印刷方式	通称		Keyword				
10	403	403	通常0403	単	通常	310	1981/3/18		グラビア	花・貝・文化財	広目天像					
11	404	404	通常0404	単	通常	360	1989/6/1		グラビア	花・貝・文化財	観音菩薩立像					
12	407	407	通常0407	単	通常	600	1981/3/18		グラビア	花・貝・文化財	広隆寺弥勒菩薩					
13	487	487	通常0485	単	通常	300	2009/7/23		グラビア	郵便委社	金剛峯寺惠尊菩薩					
14	488	488	切0488	単	通常(54号)	15	1967/11/1	2200	デジタル印刷	第1次国宝シリーズ	飛鳥					
15	489	489	切0489	単	通常(54号)	15	1968/2/1	2200	デジタル印刷	第1次国宝シリーズ	奈良					
16	491	491	切0490	単	通常(54号)	15	1968/2/1	2200	デジタル印刷	第1次国宝シリーズ	奈良					
17	495	495	切0494	単	通常(52号)	50	1988/8/1	800	グラビア	第1次国宝シリーズ	12世紀平安					
18	745	745	切0739	単	通常(52号)	100	1976/12/9	1600	グラビア	第2次国宝シリーズ	執金剛神立像					
19	749	749	切0743	単	通常(52号)	100	1977/3/25	1800	グラビア	第2次国宝シリーズ	雲中供養菩薩藏					
20	751	751	切0745	単	通常(52号)	100	1977/6/27	1800	グラビア	第2次国宝シリーズ	制多伽羅子像					
21	1206	1206	切1193	単	通常(52号)	110	1988/2/12	2200	グラビア	第3次国宝シリーズ	惠光童子像					
22	1212	1212	切1199	単	通常(52号)	100	1989/1/20	2200	グラビア	第3次国宝シリーズ	銅造聖師如来座					
23	2113	2113	切1794	単	通常(52号)	80	2001/6/23	300	グラビア	第2次世界遺産	吉野神社の文化財					
24	2114	2114	切1794-10	単	通常(52号)	80	2001/6/23	300	グラビア	第2次世界遺産	吉野神社の文化財					
25	2140	2140	切1797-03	単	通常(52号)	80	2002/6/21	300	グラビア	第2次世界遺産	吉野神社の文化財					
26	2141	2141	切1797-04	単	通常(52号)	80	2002/6/21	300	グラビア	第2次世界遺産	吉野神社の文化財					
27	2145	2145	切1797-08	単	通常(52号)	80	2002/6/21	300	グラビア	第2次世界遺産	吉野神社の文化財					
28	2145	2145	切1797-12	単	通常(52号)	80	2002/6/21	300	グラビア	第2次世界遺産	吉野神社の文化財					

図1 検索 sheet 作業終了画面(紙面都合で部分表示)



図2 検索画像 sheet 画面(紙面都合で部分表示)



図3 補足修正 sheet 画面

です。虫か昆虫か、浮世絵か版画浮世絵か、こんなことは、しっかり入力メモ書きを作成しておけば混乱することはないのですが、これができません。更に、個人の嗜好で Keyword に偏りが生じてしまっていることは否めません。文化財関係には所蔵機関名まで入力するのに、天然記念物には生息地すら入力してません。このあたりが個人的に製作していることの弊害で、会員諸兄姉の助けが欲しいところです。



図4 特定検索 sheet 画面 (「1954」年での検索画像画面)

4. 特定検索 sheet(図4)

次に、既存の市販書籍カタログでは非常に手数が要る作業に年毎に発行された切手リスト作成があることを思い出しました。特殊、ふるさと、普通といった種類別に整理するだけならまだしも、シリーズ切手が複数で絡んでいる場合が少なくありません。この発行年と特定単語の印刷方式の2項目で検索できるように特定検索 sheet を作りました(図4)。

図4の右に文字データの一覧表が作成されており、年毎の発行状況を簡単に把握できます。

印刷方式は過去の日本切手の印刷方式一覧表(表2)がボタンク

リックで表示されるので、その中から選択、表示されます。印刷方式の表現についてはカタログによって異なる点があるので検討中です。この表に基づき検索した画面が図5であり、表3(次頁)がその文字データ一覧表です。勿論、全項目を表示できます。

このような機能を検討していて、従来のカタログ(日本切手、さくら日本切手)のどちらかとせめて整理番号を統一させたいと考えましたが難しい問題がありました。

1995年のグリーティング切手に始まる多種連刷シート(5,10,20種)の扱いです。2つのカタログともシートに整理番号を与え、各々の切手にはアルファベットをつけ、シートの中の縮小された画像で切手表示は事足りりとしています。しかし、このデータベースでは切手1枚ずつに情報を持たせるので、連刷シートの中の切手も他の切手と同等の位置づけと同等の画像を準備する必要がありま

表2 印刷方式表

オフセット
グラビア
グラビア・エンボス
グラビア・ザンメル凹版
グラビア・メタリック
グラビア・凹版
グラビア・階調凹版
グラビア・局式凹版
グラビア・凸版
グラビアメタリックマルチイメージ
ザンメル凹版
凹版
凹版・ドライオフセット
凹版・平版
階調凹版
階調凹版・ドライオフセット
手彫り
凸版
凸版・石版加刷
凸版・凸版加刷
凸版・平版
平版
平版・エンボス
平版・ホットスタンプ



図5 特定検索 sheet 画面 (「ザンメル凹版」印刷方式での検索)

表3 「ザンメル凹版」印刷方式での文字データ表

	カタログ	FILE	種類	印刷方式	通称
1	記 298	記 0298	記念切手	ザンメル凹版	自然公園の日制定
2	記 308	記 0308	記念切手	ザンメル凹版	日本三景シリーズ
3	記 309	記 0309	記念切手	ザンメル凹版	日本三景シリーズ
4	記 310	記 0310	記念切手	ザンメル凹版	日本三景シリーズ
5	記 312	記 0312	記念切手	ザンメル凹版	日米修好 100 年
6	記 313	記 0313	記念切手	ザンメル凹版	日米修好 100 年
7	記 323	記 0323-4	記念切手	ザンメル凹版	第 15 回国体
8	記 324	記 0323-4	記念切手	ザンメル凹版	第 15 回国体
9	記 342	記 0342	記念切手	ザンメル凹版	第 52 回国際ロータリー
10	記 345	記 0345-6	記念切手	ザンメル凹版	第 16 回国体
11	記 346	記 0345-6	記念切手	ザンメル凹版	第 16 回国体
12	記 384	記 0384-5	記念切手	ザンメル凹版	第 17 回国体
13	記 385	記 0384-5	記念切手	ザンメル凹版	第 17 回国体
14	記 402	記 0402-3	記念切手	ザンメル凹版	第 18 回国体
15	記 403	記 0402-3	記念切手	ザンメル凹版	第 18 回国体
16	記 410	記 0410-1	記念切手	ザンメル凹版	第 19 回国体
17	記 411	記 0410-1	記念切手	ザンメル凹版	第 19 回国体
18	記 437	記 0437	記念切手	ザンメル凹版	第 20 回国体
19	記 438	記 0437	記念切手	ザンメル凹版	第 20 回国体
20	記 466	記 0466-7	記念切手	ザンメル凹版	第 21 回国体
21	記 467	記 0466-7	記念切手	ザンメル凹版	第 21 回国体
22	記 487	記 0487	記念切手	ザンメル凹版	第 1 次国宝シリーズ
23	記 489	記 0489	記念切手	ザンメル凹版	第 1 次国宝シリーズ
24	記 708	記 0708-09	記念切手	ザンメル凹版	船シリーズ
25	記 709	記 0708-09	記念切手	ザンメル凹版	船シリーズ
26	記 710	記 0710-1	記念切手	ザンメル凹版	船シリーズ
27	記 711	記 0710-1	記念切手	ザンメル凹版	船シリーズ
28	記 712	記 0712-3	記念切手	ザンメル凹版	船シリーズ
29	記 713	記 0712-3	記念切手	ザンメル凹版	船シリーズ
30	記 714	記 0714-5	記念切手	ザンメル凹版	船シリーズ
31	記 715	記 0714-5	記念切手	ザンメル凹版	船シリーズ
32	記 718	記 0718-9	記念切手	ザンメル凹版	船シリーズ
33	記 719	記 0718-9	記念切手	ザンメル凹版	船シリーズ

す。一方、連刷切手シートの特長性を考えると連刷シート画像を無視するわけにいかず、1 データとして記録しました。従って、10 枚連刷の特殊切手の場合、カタログでは 1 データとなっていますが、ここでは 11 のデータとして記録されています。但し、シート画像は通常の検索対象とならない扱いとしました。

5. 原画写真 sheet(図 6,7)

切手の発行目的、切手画像から Keyword を検討していく過程で、従来のカタログでは解決の付かない問題を痛感しました。それは切手に用いられている文化財、美術品の姿、内容を知ることが、どうしても不可欠であるということです。そのため、すべての切手ではなく、最低限必要であると感じる切手に関しては写真、原画を集めて、切手と一緒に表示する sheet を設けました。具体的には、切手と原画と Keyword を一目で見られるように原画写真 sheet を作成しました。この sheet を設ける

ことによって、切手に対する理解が一層深まり、従来よりも、切手から知ることの多いことを実感しました。

例えば、2005 年国連防災会議記念切手を取り上げてみると、教養無き者にとってはカタログの難儀鳥という " 通称 " と切手を見て、地震 (鯨) を捕まえて連れ去ってくれる鳥の浮世絵を使用したのかな? 程度 (部分であると表示がないので) で考えていました。これを郵便会社の HP の発行案内で調べると「江戸時代の鯨絵「難儀鳥」(東京大学所蔵) をもとにデザインしています。鯨絵とは、安政江戸地震 (1855 年 11 月 11 日) の直後から、民間に大量に出回った錦絵版画です。被害にあった職業の人々の道具で構成された難儀鳥と呼ばれる架空の鳥が、古来地震のもととされていたナマズを捕まえているところ。」とあり、鯨絵という存在を知りました。ついでに難儀鳥の原画を探してみても驚きました。図 6 のように、そこに社会風刺と生活教訓の深い意味を持たせた絵であることを知りました。

また、江戸 400 年シリーズの江戸名所図屏風。これも郵便会社の HP の発行案内では「1629 ~ 30 年頃の江戸の様子を描いた八曲一雙の屏風です。本切手は、歌舞伎小屋の様子を描いた部分です。(出光美術館 蔵) とだけです。この原画を調べると図 7 のように ' 部分 ' と表示してありますが、極小部分であることと、町人文化栄える江戸の 400 年



図 6 原画写真 sheet 画面 (2 行目以降の文章は Keyword でなく、備考欄記録内容)



図7 原画写真 sheet 画面 (稲門フィラテリー 32号切手偏見の問いかけへのお答えです)

を切手に表現しようとした意図がよくわかる、江戸の賑わいを知ることのできる、実に大きな屏風(原画?)です。

このように原画を知ることにより1枚の切手に対する思い、理解が大きく変わります。一部の切手には原画をすぐ参照できる環境が不可欠ではないかと考えさせられました。

反面、この原画類を用意することは非常に大変です。現在、430枚程度しか用意できていません。インターネットで低解像度の画像であればもう少しは探し出せますが、ふさわしいものを探すことは非常に大変な作業です。更に、著作権の問題が生じるであろうと考えると、この機能は個人レベルでの使用しかできないかとも思います。今後、郵便会社は切手発行に文化財等を利用する時、最近の様に、やたらに余白の多いシートであれば、裏面にでも原画等の画像、所蔵機関等を明記することが期待されます。また、市販カタログにも同じような記載が少しでもあれば、より切手に親しみを持つ方が増えると同時に、切手発行に対する見方がより厳しく、豊かになり、より良い切手発行に繋がるのではないかと考えます。

原画探索参考のために、有益なHPを紹介しておきます。勿論、所蔵機関のHPも有益です。

国指定文化財データベース

独立行政法人国立美術館所蔵作品総合目録検索システム
文化遺産オンライン

東京国立博物館図書写真の利用

国会図書館貴重書画像データベース

Tokyo Digital Museum

会員諸兄姉で、この日本切手データベースを試

していただき、そして、誤り、粗を見つけてくださる方がおいででしたら連絡ください。なお、Excelを多少ご存知の方であれば、ご自分なりの項目も作れますし、新たに発行される切手を追加して、絶えず最新のカatalogとして使用できると思います。更に、使い方によっては子ども達に切手への興味を引き出すことにも役立つのではと考えます。

参考までに構成は図8のように日本切手というホルダーの中のFILEをマクロで操作する構成です。このホルダーをHARDDISCに準備し、マクロ動作を可能にするためEXCELセキュリティレベルを下げれば利用可能です。(EXCEL2007での動作はまだ確認できてません)

最後に、過去の「切手偏見」内容と一部重複していることをお詫びいたします。(編集子)

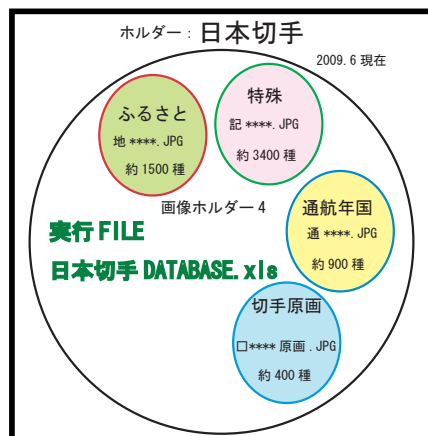


図8 作業File構成

2月の切手教室、「切手をPCに集めよう」のレジュメを大幅に追加訂正しました。

切手の個展あれこれ

長谷部 晃

妻が退職し水彩画を始めた。そこで地域の公民館やデパートで開かれる絵画展によく出かけるようになった。グループ展も個展もあった。前に養蚕の記録写真展をやった「里山ギャラリー」から「最近展示会を開く人が少なくなってきたのでなにかやってくれませんか」という誘いがきた。今度やるのだったら切手展がよいなと思いながら「切手の個展」の構想が生まれた。こないきさつで「切手趣味週間記念切手展 2009in 寄居」が始まることになりました。切手を集めて55年になります。もっともその間に力を入れたときと全く関心が薄れたときとありました。押し入れと書棚6段にアルバム、ファイル、カタログ、未整理の箱入り切手が雑然とありました。定年退職して1年目には主夫の仕事の他はいたって自由でしたからいくら切手の整理もできました。そんな中で「日本の文学切手」と「秩父関係の切手、はがき、消印」

はそれなりにそろっていました。これをアルバムに整理し展示すれば「切手の個展」にはなるだろうというふうに思いました。ただし「誰が見に来てくれるか」が問題です。職場時代の仲間はつきあいに来てくれるだろうが、地域に切手愛好家がいるかは未知数でした。こんな構想を持っているということを稲門フィラテリーの小川さんに話したら、是非やってくださいと言うことになり、押されるように決断しました。昔の仲間に来てもらえるのなら「同窓会」にもなるので、秩父の良い季節にということで2009年4月を決めました。「切手趣味週間記念切手展 in 寄居」という名称も決め「第一部日本の文学切手」、「第二部秩父の切手、はがき、消印」ということでアルバム作りを始めました。「奥の細道シリーズ」は初日カバーも持っていたのでまですきました。小型シートの使用済みは「キロボックス」から丁寧に探して完集していました。時間をかけていたもので、今回の目玉になると思います。

「切手は郵便料金の納入証拠」という思いから使用済みにこだわりました。もう一つは「秩父郡市内の黒活と風景印の完集」ですが、一昨年の「郵政民営化」の直前に郡市内の郵便局を廻って風景印と黒活を集めてありました。クラシックな消印やエンタアイはありませんが21世紀初頭の郵便印は見てもらえます。調べてみるとこの10年の間に3つの郵便局が廃止になっていました。三峯山（旧大滝村）、久那、浦山（旧秩父市）の三局です。はがきをひっくり返してみたら、三峯山と浦山はありました。秩父に赴任した年（1964）に高校生と三峯山や浦山分校に徒歩で行きましたが、そのときに郵便局があったのではがきを二枚買い黒活（三峯山は風景印も）を押してもらっていたのです。久那だけはありませんでした。浦山、久那の廃止後その地域を管轄したのはともに影森局ですが、その局



切手趣味週間記念切手展 2009in 寄居のポスター

長は最初の生徒がなっていました。「おれが廃止の書類を整えたのです」といっていました。もう少しはやく気がつけば久那も消印を手に入れることができたかも知れません。もっとも切手展を見学に来てくれた秩父郵趣会（秩父に赴任してすぐ入会を申し出ていたのですが、仕事の多忙から参加できませんでした）の方の話だと「最終日の消印をとったものがあるはず」ということでした。

正月過ぎから2月いっぱいかかってアルバムリーフができあがりました。展示には日本郵趣協会から販売されている「ビニールパネル」を用意しました。1パネルで9リーフ展示できます。文学切手で75枚、秩父関係で56枚のリーフができました。パネルの関係で最終的には69+56枚展示し、パネルの不足は模造紙に貼ることで解決しました。また秩父の地図があれば便利です。観光案内の地図を使って郵便局の位置を表示しました。

作品作りと平行してポスターを郵便局に頼んだり郵趣団体に案内を送ったりしました。早大切手研の方々にもはがきを送りました。小川君や青木さんからお便りをいただいたのには感激しました。「同窓会」が開けるのはおもしろいことです。

展示会場で「展示の概要」のパンフレットを配布するために資料を作りました。アルバムリーフには書き込みをしなかったのもので、全体の様子を知らせるものを作りました。日本の文学切手は全リストをつけました。このほかに「隣接分野」があるのですが、これは今後の課題にしました。演劇、歌謡、映画など文学作品と密接につながる作品に関する分野も整理しかけています。

4月20日（月）から切手趣味週間です。恒例の記念切手が発行されますが、寄居郵便局で初日カバーを作りました。来場者への記念品です。

○切手展

以上のような準備をして開会の日が来ました。展示は21日の朝行いました。アルバムリーフができているので簡単にでき、10時にはお客を待てる状態になりました。元同僚が駆けつけてくれ、賛助出品として「ネコの切手」も展示されました。南部さんは寄居高校の職員の先輩

で蜂の研究者としても知られているかたです。里山ギャラリーの2階の常設展示の「蜂の標本」「寄居の昆虫」の採集者です。

来館者のことが心配でしたが 昔の同僚、切手研の仲間、県内の郵趣会から見に来ていただきました。「埼玉新聞」に催し物案内に出してもらいました。これを見たという方もありました。4日目、5日目には地域の小学生の来場者もありました。ちょうど「家庭訪問週間」ということで午後授業がなかったので遊びに来たのでした。翌日には再度きた子が別の仲間を誘ってきましたとか、使用済み切手をかき回して楽しんでいました。彼らが収集家になるかは未知数ですが。参観者は6日間で60人ほどということでした。里山ギャラリーとしては並の入りということでした。

切手研からは初日に森孝之君と青木幹多さん、2日目には嶋村、小川、青柳の三君、4日目に磯野、府川、諸田先輩を乗せて五十野君が車で来てくれました。久しぶりの対面で昔の話に花が咲きました。嶋村君一行はその晩「かんぼの宿 よりい」に泊まり歓談しました。64年に卒業したメンバーは最近何度か毎年集まるようになっていますが その延長のようなものです。古い切手研の写真があったのでパソコンで再生ししばし思い出話になったのはまさに「同窓会」でした。

○切手の楽しみ

私の切手の楽しみは「使用済」を集めること。キロボックスなどで大量に集まったものの中から、これはというものを選んで湯につける。暫くして剥がれたら水ですすぐ。糊をきれいに落とさないと長い年月には汚れが目立つようになる。剥がしたものを新聞紙に裏返して並べ1日おく。ゆっくり乾燥させたものを点検する。目打ちが切れていたりシワがあったり、新聞紙に貼り付いたりいろいろ難点のあるものも出る。この過程がたのしみなのだ。「自分ではがし乾燥させたもの」には愛着がある。郵便局で買っただけのものとは違った味がある。これをアルバムに貼る。これも楽しい。日本切手の図入りアルバムを使っているが、ヒンジで貼る使用済みが一番愛着がある。消印が良くないものがあったとしても、こんどもっと良いものがあればと貼って

おく。消印の状態が良いものがでたら張り替えるが、最初に貼ったものにも愛着がある。ストックブックに移ってもそれなりの位置を占める。かくするうちに、多くの使用済みがたまる。そこでコピー機を使って、コピーアルバムを作ることになる。使用済み第2集ということ。アルバムの番号がC-〇となる。こんな初歩的なアルバム作りを今後も楽しんでゆきたいと思っています。それにつけても近年の新切手の多さにはあきれます。何でこんなに発行するのかと思います。表現が悪いが、アラブの土侯国並になったと嘆きたくになります。切手の良さを判断する一つに「通常切手のよさ」があると思います。普段に使われる切手を丁寧に作る郵政当局こそ「良い切手」を作っていると評価したいのです。ドイツの人物シリーズなど「いいなあ」とうらやましく思いました。

日本の文学切手

トピカル収集ということで「文学切手」文学者や小説、詩歌をテーマとしたものを集めてきました。文化人切手の夏目漱石、森鷗外、樋口大祐などがはしりでしょうが、「奥の細道シリーズ」で種類が増えました。最近では百人一首シリーズが「ふみの日」切手に登場し、今後も続きそ

うです。「赤毛のアン」の登場は翻訳をもふくめることで範囲が広がりました。日本切手の中から「文学切手」リストを作りました。隣接分野のリストも作りたいと思っています。先人の業績に「文学切手のすべて」(審美社)という本がでていますが、版元へ問い合わせたら「私家版なので在庫はありません」ということでした。念のためにインターネットの古書店で探したらありました。インターネットの偉力を感じました。これは世界の文学を扱っています。

秩父の切手、はがき、消印

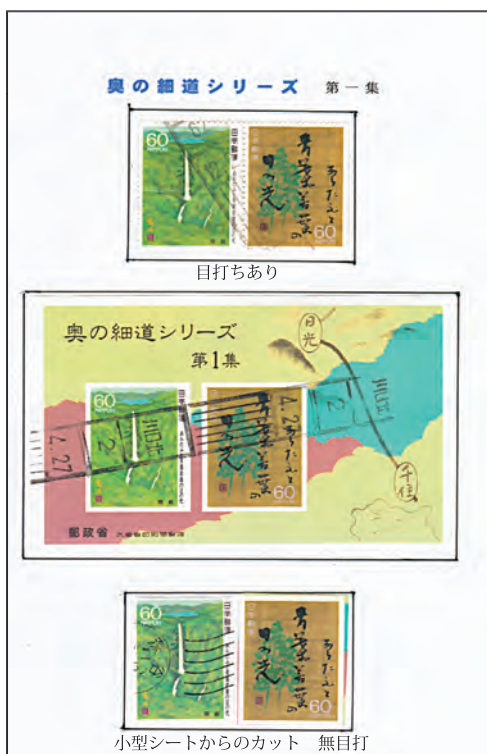
○ 消印

記念すべき自分史 風景印などをたどってみるといわくのあるものが多い。その幾つかを取り上げてみます。

- ① 1964年3月に卒業 埼玉県立高校教員採用試験に合格 秩父高校に赴任することになった。3月24日に挨拶にゆき下宿を決めた。その日の秩父局の消印。当時は秩父神社脇の線路際にあった。その後現在の上宮地町に移転した。
- ② 秩父に居を定めて1964年4月荒川村、大滝村を訪ねた。三峯神社まで行くつもりだったが ケーブルが休止していてゆけなかった。荒



王朝の歌人たち



奥の細道シリーズ



①就職挨拶の日
秩父局消印



②秩父に居を定めた時
の荒川郵便局風景印

川郵便局で風景印を押した。

③1964年4月29日(天皇誕生日)に生徒と共に三峯神社へ行った。この日は徒歩で三峯山に登った。神社の前に三峯山郵便局があった。これはその後廃止になった。住民が神社関係者だけになったためとか。



③生徒と三峯山への登山
三峯山郵便局風景印



④秩父赴任時生徒と訪れた
今はない浦山郵便局の
黒活印

④秩父市の浦山地区は浦山ダムができ住民の相当な方が移転し、郵便局は廃止された。秩父に赴任した年の夏休みに生徒と一緒に影森小学校浦山分校を訪ねた。その途中で浦山郵便局が見えたのではがき2枚を買い黒活を押してもらった。

⑤郵政民営化の初日印 元号の下にアンダーラインがあるのが「窓口会社の消印」ないのが郵便事業会社の消印、長瀬の集配は秩父局に統合され



⑤郵政民営化初日
長瀬局黒活印



⑥郵政民営化初日
長瀬局風景印

たのでアンダーラインの黒活しかない。

⑦2000年の3月31日に「国際子供図書館」の開館を記念する切手が発行された。ちょうど私の誕生日(58歳)でした。年度末のこんな日に切手が発行されることはありませんでした。そこで長瀬郵便局で「すべての消印」を押してもらおうとしました。黒活、風景印、ロール印、外信印を一枚に押したのですが、機械印だけは無理でした。



○切手展以後

切手展は無事終わりました。アルバムリーフはもとのアルバムに戻りました。アルバムは作ったものと愛好家が見るもの、この後、広く見てもらう機会はないと思います。1週間の間、展示され見てもらえたことは切手にも集めたものにも嬉しいことでした。それをもとに思い出が掘り起こされ懐旧の思いができれば十分役割を果たしているのです。切手とともに55年、長く続いたものですが今後も続けたいものです。趣味はそれぞれの「個性」ですから私流で良いのだと思います。見ていただいた皆さんありがとうございました。

製造面を中心に 破損とリタッチ、等

坂下 泰一

わが国の新式郵便制度は、前島密により明治4年3月1日(旧暦)に、東京、京都、大阪の3郵便役所と東海道路線上の62の取扱所で試行された。それに伴い雌雄の竜を描いた4種の切手(48文、100文、200文、500文)が発行された。明治政府から委託された京都の銅版師松田敦朝(緑山)が当時オランダより伝えられた腐食銅版法(etching)によって製作したものである。

腐食銅版法(etching)は、銅板に耐酸膜(ワックス)を引き、その上にシート1枚分40面の図柄が描いてある紙を載せ、画線に沿って錐状の刃物でワックスを引っ搔いて削り取り、銅面を露出させ、これを酸性液に浸し、画線を腐食させる。後で水洗いして耐酸膜を取り去り、手直しをすれば腐食銅版ができあがる。できあがった銅凹版(原版)をそのまま実用版として使用した。

1シート40面(横8枚x縦5枚)を直接手で彫るという原始的な製造法のため、切手1枚1

枚がそれぞれ微細な違いをもっており、その顕著なものは印面変種(エラー切手)として収集家の間で大いに珍重され、また版別したり位置を確定したりするのに重要な役割を果たしている。

(1) 竜切手に見られる主な印面変種(図1)

図の1列目は印面変種の中でも、特に目立つ忘刻の例である。左から、竜1銭1版5番の銭字タスキ落ち、同2版18番の腕落ち、同2版25番のあご無し竜。いずれもよく知られたエラー切手である。

図の2列目は過(加)刻の例。左から言うと、竜48文1版1番は双竜の背にトゲがある(1版はこの1番以外はトゲは無い)。同2版27番は、三日月型のひっかけ傷がある。半銭1版25番は、左下角に小円の過刻。竜1銭2版26番は頭髮加刻(竜銭は竜文の竜版を流用。100文2版26番は、初期に竜頭部に破損が見つかったため、すぐに加刻修正された。従って、修正前のもの(破損)はごく少ない)。



(2) 最初期印刷と中後期印刷(図2)

左側が竜200文の最初期印刷で、右側は破損が始まる少し前(中後期頃)の印刷である。左の最初期印刷(1版25番)は、写真から判るように、彫線が極めてシャープで、鮮明であり、恐らく明治の3年時に印刷したものと思われる。それに対して、右側の切手(1版26番)は、彫線は全体的に太く、鋭さに欠け、疲れた感を与える。中期以降の印刷と思われる。右竜の破損はまだ見られない。竜200文の初期の色は、明るい朱色であるが、この朱色は酸化されて黒味を帯びることが多い(図2の竜200文1版25番)。

図1 竜切手に見られる主な印面変種

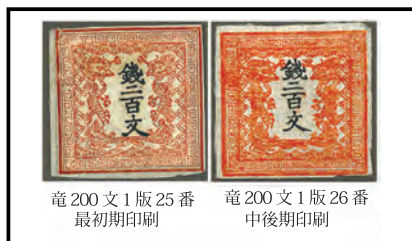


図 2 最初期印刷と中後期印刷



図 3 後期印刷 (破損とリタッチ)

(3) 後期印刷 (破損とリタッチ) (図 3)

図 3 の竜 200 文は、2 枚とも同じ 1 版の 26 番である。上の切手の右竜は大分破損が進んでいて全体が影絵のようにぼやけて見える。特に、竜の頭部や腕、脚を含む腹部の彫線は消滅したかのように識別が困難である。下の切手は破損した竜を、いわゆるリタッチ (再刻) した、と言われているものである。この破損は、200 文 1 版の 26 番の他に、22 番、30 番にも見られる。なぜシートの特定の位置にこのような大きな破損が生じたのか、今ひとつ原因がはっきりしない。200 文に使用した朱色のインキは腐食性が強く、その影響で破損の進行が早かったことがまず考えられるだろう。また、インキの粘性 (流動性) が少いと、インキの廻りが悪くなり、原版上にインキが付着しやすくなる。それが原因となって印面薄れや破損が生じた、と考えられないだろうか。

リタッチについて、故市田左右一博士は英文「竜切手」(1959 年刊行) の中で、次のように述べている。「ウッドワード氏は、第 1 版の第 22、26 と 30 番切手は、リタッチされた」と説明している。しかし専門家の中では、これらの切手が果たしてリタッチされたのか、原版の掃除 (クリーニング) が行われたのか判断がつきにくいとするものがある。すなわち、その理由は、リタッチは完全に行われておらず、他の部分に破損がリタッチされないままに残っている点をあげて

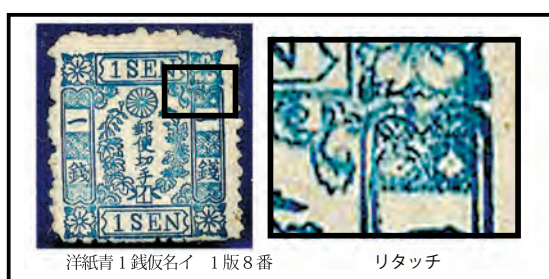


図 4 新発見のリタッチか？

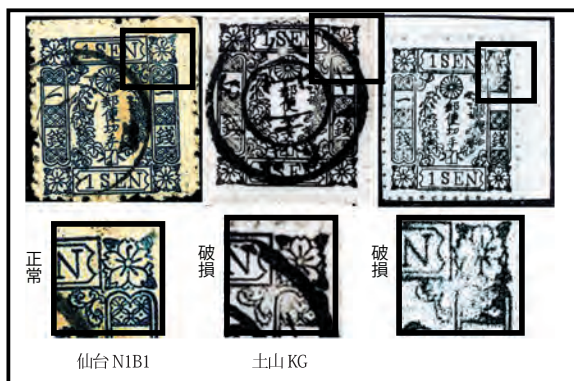


図 5 洋紙青 1 銭仮名イ 1 版 8 番

中では、上記の「クリーニング説」は姿を消している。

このリタッチがクリーニングによるものか、また再刻 (彫り直し) によるものか、どちらにせよその希少性は変わらないだろうし、印刷時期による分類は手彫切手製造を物語る上で非常に重要なものである。また手彫切手収集を楽しむ場を広げてくれるだろう。

(4) 新発見のリタッチか？ (図 4、図 5)

図 4 は洋紙青 1 銭仮名イ 1 版 8 番のコーナー切手である、刷色は後期の薄い青色 (空色) である。初期は黒ずんだ濃い青色であるので簡単に区別できる。この仮名イには 2 種類の原版があり 1 版はシートが残っており、2 版の方も沢まもる氏によってリコンストラクション (再構成) が完成している。図 5 に 2 枚の使用済 8 番コーナー切手とシート写真から切り取った未使用のコーナー切手を示す。左の切手 (仙台 N1B1 か?) は濃い青色で、初期に印刷されたと思われる。彫線は明瞭で、薄れや軽彫らしいものはどこにも見当たらない。ところが、他の 2 枚の 8 番切手は、右上の桜の左下の葉とその周辺の隅飾りや飾り点、さらに飾り枠の内側の彫線や七宝は薄れてしまい、輪郭がかすかに残されているだけである。この薄れは一見、軽彫のように見えるが、仙台 N1B1 で分かるように、初期の印刷では、問題の部分も明瞭に印刷されている。

軽彫は、図案の 1 部を軽く彫ったために、酸

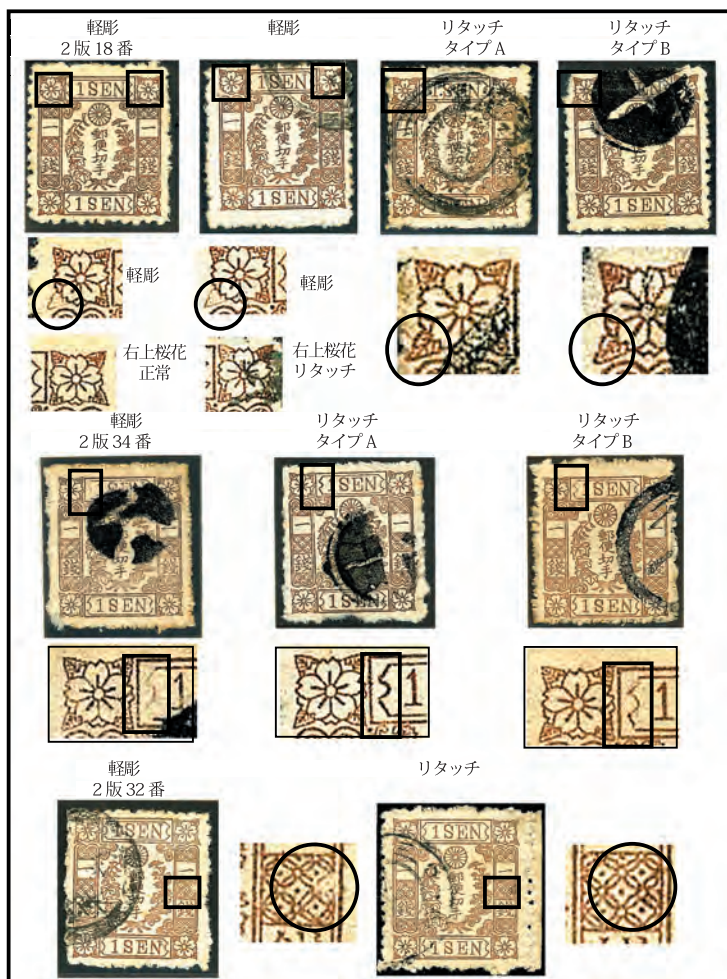


図6 房1銭の軽彫とリタッチ
性液に浸したとき腐食が浅く、そのため図案の一部が細くなったり、薄れたりしているものを言う。後期では、全く彫線が消えて見えなくなったものもある。従って、軽彫は単なるインキづまりによる印面薄れとは区別しなければならない。

さて、図4の拡大図により、問題の箇所をよく見てみると、印刷の薄くなったところに濃く太い線でリタッチしたと思われる跡がはっきりと認められる。また七宝を修正した濃い彫線が薄くなった元の彫線と少しずれているように見える。リタッチの色は印刷時の色とほぼ同色である。印刷後、時が経ってから何らかの意図を持って墨入れしたものとは考えられない。

以上の状況から判断して、この8番未使用がリタッチされたもの、と言えるが、今のところ1枚しかないのも、まだ断定することはできない。早く2枚目が出て

くることを望みたい。なお、1版のシート写真を見ると、ところどころインキがかすれたように白っぽく見えるものがある。特に顕著なのは8番の他に、薄れの場合は違うが15、16、や31、32番等にも見られる。従って、今後、8番以外のリタッチが見つかる可能性があるかもしれない。

(5) 房1銭の軽彫とリタッチ(図6)

房1銭は、切手の均一性が高く印面変種と言えるような物はほとんど無く、面白みのない切手(駄桜)と見なされ、従来からあまり人気がなかった。ただ原版が2面しかなく、また残存数も多く、安く手に入るため、リコンストラクション(再構成)の材料等に一定の需要がある。また目打にも9s(小穴9目打)や14.5(ルーレット目打)のような珍しい目打があったり、地方の小局の珍しい、変わった不統一印が出てきたり、集めてみるとなかなか興味深い切手であることが分かる。

図6の房1銭には軽彫とリタッチがあることが、以前よりよく知られていたが、故市田博士を中心とした手彫切手研究会のメンバーの研究によってこの軽彫とリタッチは一段



図7 竜切手の軽彫

と注目されるようになった。軽彫のある位置は、2版の18番の左上桜葉、34番の上枠左辺、そして32番の右中七宝である。この3位置の中で、18番と34番には、タイプA、タイプBと分類される2種類のリタッチが見つかった(図6の拡大図参照)。

なお、18番の右上の桜花にも複数のタイプのリタッチがあることが、白井二実氏の研究によって知られている。その研究成果を「郵趣研究(71号2006-4)」の誌上で発表している。上段2枚目の右上桜花の拡大図(リタッチ)を見てみると、葉や花卉の輪郭や、更に花芯に濃く彫られているところと、薄いところが見られ、これはリタッチではないか、と推測されている。

1つの原版に複数のリタッチがあることや、漢数字の1部と思われる彫線がいくつかの耳紙に見られたり、また800万枚と推定される多量の発行枚数等から電胎殖版法によって殖版した10数版の実用版がある、と言う説が故市田博士によって唱えられてきた。しかし腐食法で作っ

た1シート40面の銅版(原版)を殖版する技術がはたして当時あったかどうか、の疑問が高野氏によって投げかけられている(高野昇郎氏著『手彫切手』2005年刊行)。

(6) 手彫切手に見られる主な軽彫(図7-図9)

図7の48文田型ブロックの左下1版35番は上右端雷文が軽彫。雷文の外側の縦線がほとんど消えて見えない。1段目、左の半銭1版16番は右竜の胸軽彫(半銭1版は48文2版の竜版を流用、48文の同位置に同じ軽彫)。次の半銭1版26番は右竜の足軽彫。右の半銭2版24番は銭字一部軽彫。2段目1銭2版36番は雷文軽彫(100文2版にも同様の軽彫あり)。

図8の1段目桜半銭3版3番は右上桜全重弁軽彫。桜半銭3版37番は桐葉軽彫。和紙桜紅4銭5版33番は左枠軽彫。和紙桜黄2銭3版36番右上桜全軽彫。同6版(位置不明)は左額面上枠軽彫。2段目は和紙桜青1銭。左から、1版2番は菊紋章全軽彫。3版6番は左上桜花2葉軽彫。20版20番は左中七宝全中心点軽彫。23版19



図8 和紙桜切手軽彫



図 9 洋紙桜切手軽彫

番は下額面右枠軽彫。最後は和紙青緑 10 銭 17 番桜花芯全軽彫。淡黄緑 10 銭の政府印刷ではこの花芯は消えて見えなくなっている。

図 9 の 1 段目は全部洋紙桜青 1 銭仮名入。左から、仮名口 2 版 23 番郵字軽彫。仮名へ 2 版 (位置不明) 左下桜の左上葉軽彫。仮名へ 2 版 8 番右中七宝環軽彫。仮名ヌ左七宝飾枠下部軽彫。

2 段目は、改色赤 20 銭仮名チ 1 版 8 番右上桜花左下花卉軽彫。同 1 版 23 番左上桜花右下葉軽彫。

(7) いろいろなリタッチ (図 10)

図 10 の左の切手は緑 4 銭仮名イ 1 版 24 番で、左の飾枠上部が他の部分と比べて彫線が濃く、一見リタッチされたように見える。右の菊葉にも一部濃いところがある。また次の緑 5 銭 15 番も `5SEN` の右ハッチが他の部分より濃く彫られていることから、リタッチされたのでは、と言われてきた。が、同位置に軽彫や破損等、リタッチ前のものがまだ見つからないので、リタッチだとは言い切れない。3 枚目の和紙桜紫 20 銭

11 番は拡大写真を見てもらうと分かるように、左下桜花と、2 枚の桜葉の周辺をリタッチした跡が認められる。花の下重弁が無くなっている。切手の裏や表面には紙の薄れらしいものは無い。切手にはシート写真が残っており、それによると同位置には異常は見当たらない。手彫にはまだ未解明のところが多いところである。



図 10 いろいろなリタッチ

“Ameri Stamp Expo 2009” の参観記

和田 文明

はじめに

2月20日（金）から25日（水）までの四泊六日のスケジュールで、3年ぶりにアメリカへ行って来ました。20日（金）から22日（日）はアメリカの南部テキサス州ダラス近郊のアーリントンのコンベンションセンターで開催されたAPS（アメリカ郵趣協会）主催の“Ameri Stamp Expo 2009”というアメリカの国内切手展を参観し、22日（日）から仕事の関係でカリフォルニア州のメキシコ国境の軍港と観光の街として有名なサンディエゴへと飛び、同市のコンベンションセンターで開催された金融・銀行関連のカンファレンスを見学して来ました。

アメリカの切手展にはこれまでに“Stamp Show”などの全米展や国際展など10回程出品を経験していますが、出品と参観は2000年にカリフォルニア州アナハイム（ディズニーランドのある街）で開催された“World Stamp Expo 2000”と2006年に首都ワシントンD.C.で開催されたアメリカで10回目の開催となる国際切手展—“Washington 2006”に次いで3度目となります。

1. “Ameri Stamp Expo 2009”

“Ameri Stamp Expo”は、アメリカ最大の郵趣団体であるAPS（American Philatelic Society）主催の全米切手展で、同じくAPS主催で従来から毎年8月の夏季に期間4日間で開催されている全米切手展“Stamp Show”とは別に、2002年から毎年1月または2月の冬季に期間3日間程で開催されている国内切手展です。これまでに“Ameri Stamp Expo”は、バージニア州のノーフォークやカリフォルニア州のリバーサイド、ジョージア州アトランタなど全米各地の主要都市で開催されてきています。今回の““Ameri Stamp Expo 2009””は、テキサス郵趣協会やテキサス郵便史協会など地元テキサス州の多くの郵趣団体の協力を得て開催されています。また、““Ameri Stamp Expo 2009””は、ダラス、ヒューストンなどテキサス州の主要都市で順送りに毎

年開催しているテキサス州のローカル切手展である“TEXPEX”と同時開催されています。今回の開催地アーリントンは、ダラスとフォートワースの間に位置し、人口130万人のダラスを中核にフォートワースなど12の都市と共に都市圏を構成し、人口610万人のアメリカでは9番目に大きな都市圏となっています。

“Ameri Stamp Expo 2009”は、アーリントンのコンベンションセンターで2月20日（金）から22日（日）まで3日間開催され、オフィシャルホテルはアーリントンコンベンションセ



ンターに隣接する“アーリントンシェラトンホテル”が指定され、参観者やAPSの役員、スタッフ、ディラーの多くが宿泊しています。同ホテルでは、21日（土）に“アワードバ

アーリントンシェラトンホテル ナケットディナーパーティ”が開催された他、22日（日）にはAPSメンバーの朝食会なども行なわれています。小生は10年来“シェラトンホテル”チェーンである“スターウッドグループ”の「FSP」（フリークエント・ステイヤー・プログラム）の会員で、インターネットを介して会員特別料金で一泊120ドル（約12,000円）と格安にリザーブすることができました。

同ホテルの目の前には、地元大リーグのテキサスレンジャーズの本拠地のスタジアム“Ball Park”があり、その隣には今年オープンするドーム球場“カウボウイスタジアム”もほぼ完成していました。小生が住む福岡にも“福岡ドーム”という大きな球場がありますが、テキサス



テキサスレンジャーズの本拠地
スタジアム "Ball Park"



今年オープンするドーム球場
"カウボウイスタジアム"

の野球場には皆車で来場するようになっているようで、球場周辺にはとてつもない広さの駐車場があり、宿泊したシェラトンホテルの回りは駐車場だけでなく、シャトルバスが数十ある駐車場を巡回して来場者を送迎する仕組みのようです。ただ、切手展の開催中は幸いオープン戦

やキャンプなどは行なわれておらず、広大な駐車場には一台の車も止まっていませんでした。

シェラトンホテルに着いたのは切手展初日の20日の夕刻で、既に切手展会場はクローズされていて、初日は入場できず、仕方なく切手展関係者が多く食事をしているホテル内のレストランで分厚いテキサス・ステーキを賞味しましたが、まずまずの味でした。

"Ameri Stamp Expo2009" は、これまで上位の成績を収めた"コート・オブ・オーナクラス(チャンピオンクラス)"に14作品(内3作品は非競争)の他、"Ameri Stamp Expo"のメインイベントで、APSの"ワールドシリーズ"のローカル切手展で上位入賞したシングルフレーム(ワンフレーム)のみがエントリーできる"チャンピオンシップクラス"に22作品、シングルフレームのオープンクラス(一般参加)に70作品、ユースクラスに4作品、今回併設されている"TEXPEX"のメキシコ部門に6作品、ディスプレイ部門に8作品、イラストレイト部門に2作品、郵便はがき部門に4作品、この他一般競争部門に9作品がそれぞれ出品されていました。

小生はAPSの2002年の"Stamp Show"で初めて切手展に出品して大銀賞を獲得し、その後タイ・バンコックで2007年に開催されたF I A P国際切手展"バンコック2007"と2008年にルーマニアのブカレストで開催されたF

I P国際切手展"efiro 2008"で共に大金銀賞を受賞している「Post Office Forms, Including Envelopes Created for Conducting the Registered Mail Process, 1842-1929」(8フレーム)をコート



出品した展示をバックに

トオブオーナクラスにエントリーしましたが、残念ながらグランプリを逃してしまいました。

グランプリは、「The Art of the Cachet」という初日カバーのカシェをテーマにし

た5フレームの作品が受賞しました。今回のコート・オブ・オーナクラスには従来から手紙の遣り取りをして親交のあったアメリカの収集家も出品していて、最終日の午後に切手展会場に駆けつけて来た彼は、私の上着のタグを見つけて声を掛けてくれました。彼の作品は8フレームで、1990年代にアメリカのモダンでStamp Showにおいて金賞を獲得した作品を充実させてエントリーしていました。会場に展示されている自分の作品を互いに紹介しあい、彼からはアメリカの切手展における"評価ポイント"を教わるなど参考となることも多々ありました。

ディラーブースは、ワシントンD Cで2006年に開催されたアメリカの国際切手展と同様に広いスペースに全米からASDA(全米切手商組合)参加の100以上の業者が出店していた他、USPS



USPS (アメリカ郵政サービス) もコーナー

(アメリカ郵政サービス)もコーナーを設けていました。この他に、「APS」や「AAPE」(アメリカ切手展出品者協会)などの郵趣

団体ブースが 10 出展していました。また、会期中に Hatmer のオフィシャルオークションも行なわれていて、最終日の 22 日にはアメリカの切手オークションの競りを初めて見学することができました。電話入札も行われていましたが、ビッドもあまり盛り上がりを見せていないように見受けられました。下見会場では、コーヒー、ジュースなどの飲み物の他クッキー、サンドイッチなども振舞われていました。ブースには、従来から取引のある切手商も数店出店していて、その中の一社は国際切手展で大金銀賞獲得していた小生のアメリカ郵政の公用郵便史コレクションを一昨年一括してオークションで競り落としてくれた切手商で、「あのロットは儲かったよ」と声をかけてくれました。彼のブースには、その時の幾つかの売れ残りのカバー類も並べられていました。

2. 新しい記念切手発行セレモニー

USPS（米国郵政サービス）は、国際切手展や APS は、120 年以上前の 1886 年に設立された伝統あるアメリカの郵趣団体で、会員数はピーク時に 10 万を超えていたものの、現在でもアメリカを中心に 110 カ国に 44, 000 人以上がいます。APS の本部は、ペンシルバニア州のベルフォンテにあり、寄贈された 2 階建ての潇洒な建物で会が運営されています。小生は、1970 年代に数年間 APS の会員として在籍していましたが、一時退会し、その後 1987 年に再入会し、以来今日まで 22 年間 APS の会員となっています。今回来場者用の名札（タッグ）には、「Mr.Fumiaki Wada/Exhibitor/APS Member since 1987」と記されたものが予め用意されていました。

全米クラスの切手展に合わせて、新しく USPS から発行される切手のオフィシャルイベントであるファーストデイセレモニーを開催しています。今回の“Ameri Stamp Expo2009”では、2009 年 2 月 12 日発行された小型シート「Civil Rights Pioneers」（12 人の黒人人権擁護活動家を称えた 6 種類の切手）のオフィシャルファーストデイセレモニーが 2 月 21 日（土）の午前 11 時から開催されました。同小型シートは 9 日まへの 2 月 12 日に既に発行されていて、初日印はニューヨーク郵便局で押印されていて、ファーストデイのセレモニーのみが、遅れて“Ameri StampExpo2009”で開催されたものです。今回、初めてファーストデイセレモニーに参



ファーストデイセレモニー

加することができました。アーリントンコンベンションセンター内に設営されたセレモニー会場には、星条旗やテキサス州旗が飾られ、州兵の儀仗兵が国旗を掲げて入場し、参列者全員が起立して国歌斉唱を行い、雛壇の黒人指導者や USPS の責任者、APS の会長などがそれぞれユーモアを交えたスピーチを行ないました。

最後には壇上に用意されていた新しい小型シートのディスプレイが披露され、無事セレモニーは終了しました。切手展参加者は誰でもこのセレモニーに参加することができ、参加者に記念カバー、冊子などが進呈されていました。

3. アワードバンケットディナーパーティ

会期 2 日目の 21 日（土）の夜 7 時 15 分からオフィシャルホテルの“アーリントンシェラトンホテル”2 階の大宴会場“シェラトンチャンピオン”ルームで、恒例の“アワードバンケットディナーパーティ”が開催されました。参加費は 55 ドル（約 5, 500 円）で、料理はパン、スープ、サラダ、メインのチキン料理、コーヒー、ケーキというシンプルなメニューでした。パーティでは出席している小生を含む出品者全員に対し



アワードバンケットディナーパーティ

て、表彰と記念品の贈呈が行なわれました。

4. アメリカの切手展

アメリカの切手展は、(表 1) のように、全米

クラスの“Stamp Show”と“Ameri Stamp Expo”の二つの切手展があり、共に APS が主催し、USPS や ASDA などが後援しています。

“Stamp Show”は、毎年 8 月の夏季に期間 4 日間で開催されています。“Ameri Stamp Expo”は、2002 年からの開催とその歴史は浅く、開催

表1 全米切手展

切手展	主催団体	開催時期
Stamp Show	APS	毎年 8 月 (夏季)
Ameri Stamp Expo	APS	毎年 1-2 月 (冬季)

表2 ワールドシリーズ切手展

切手展	開催州・都市	主催団体
Amer Cover		アメリカ FDC ソサエティ
ARIPEX	アリゾナ州	地元の郵趣団体
BALPEX	メリーランド州ボルティモア	地元の郵趣団体
CHICAGOPEX	イリノイ州シカゴ	地元の郵趣団体
COLPEX	オハイオ州コロンバス	地元の郵趣団体
FLOPEX	カリフォルニア州サンゼ	地元の郵趣団体
Garfield-Perry March Party		Garfield-Perry Party
INDYPEX	インディアナ州	地元の郵趣団体
MILCOPEX	ウィスコンシン州ミルウォキー	地元の郵趣団体
Minesota Stamp Expo	ミネソタ州	地元の郵趣団体
NAPEX	ワシントン DC	地元の郵趣団体
National Topical Stamp Show		America Topical Association
NOJEX	ニュージャージー州	地元の郵趣団体
OKPEX	オクラホマ州	地元の郵趣団体
Omaha Stamp Show	ネブラスカ州オマハ	地元の郵趣団体
Philadelphia National Stamp Exhibition	ペンシルバニア州フィラデルフィア	地元の郵趣団体
Philatelic Show	北東部諸州	Northeastern Federation of Stamp Club
PIPEX	北西部諸州	Northwest Federation of Stamp Club
Plymouth Show		West Suburban Stamp Club
Postage Stamp Mega Event	ニューヨーク	ASDA
Rocky Mountain Stamp Show	コロラド州デンバー	地元の郵趣団体
ROPEX	ニューヨーク州 Rochester	地元の郵趣団体
St.LouisStampExpo	ミズーリー州、セントルイス	地元の郵趣団体
SANDICAL	カリフォルニア州サンディエゴ	地元の郵趣団体
SarasotaNationalStampExhibition	フロリダ州 Sarasota	地元の郵趣団体
SESCAL	カリフォルニア州サンセリノ	地元の郵趣団体
SoutheasternStampShow	南東部諸州	Southeastern Federation of Stamp Club
StampShow		APS
TEXPEX	テキサス州	地元の郵趣団体
VAPEX	バージニア州	地元の郵趣団体
WESTPEX	カリフォルニア州サンフランシスコ	地元の郵趣団体

は毎年 1 月または 2 月の冬季に期間 3 日間で開催されています。開催場所は、毎年異なり、全米の主要都市を巡って開催されています。ちなみに 2009 年の“Stamp Show”は、ペンシルバニア州のピッツバーグで開催されます。

ローカルの切手展は全米各地で多く開催されていますが、APS では一定の規模・レベルのローカル切手展を選定し、(表 2) のように“ワールドシリーズ”(World Series) と名付けられた 32 のローカル切手展が開催されています。“ワールドシリーズ”のローカル切手展の多くは地元の郵趣団体が主催するもので、開催地も“CHICAGOPEX”のシカゴ、“SECAL”のロサン

ゼルスなどのように地元の大都市で毎回開催している切手展とテキサス州の“TEXPEX”のようにダラスやヒューストンなど州内の主要都市を巡って開催されるものや North West Federation of Stamp Club 主催の“PIPEX”などのように複

数の州の主要都市を巡って開催される切手展などがあります。また、“ワールドシリーズ”にはアメリカ FDC ソサエティ主催の“Amercover”のような専門展もあり、こちらは全米展のように全米の主要都市を巡って開催されています。

“Stamp Show”ではワールドシリーズの切手展でチャンピオンとなった作品の中から“チャンピオン・オブ・チャンピオン”として年間の最優秀賞を選出しています。“Ameri Stamp Expo”でもシングルフレーム(ワンフレーム)部門でワールドシリーズのローカル切手展でチャンピオンとなった作品の中から“チャンピオン・オブ・チャンピオン”として最優秀賞を選出しています。尚、

全米クラスの“Stamp Show”や“Ameri Stamp Expo”にも、“ローカル切手展”として誰でもエントリーできるクラスが併設されています。

アメリカでこれまでに開催された国際切手展は（表3）の通りです。アメリカで最初に開催された国際切手展は1913年10月27日から11月1日までニューヨークで開催され、168人のコレクターが331の作品を出品しています。以降1956年開催の第5回目の国際切手展までがニューヨークで開催されています。1966年の6回目の国際切手展はワシントンDC、1976年の7回目の国際切手展はフィラデルフィア（ペンシルバニア州）、1986年の8回目の国際切手展はシカゴ（イリノイ州）、1997年の9回目の国際切手展はサンフランシスコ（カリフォルニア州）、2006年の10回目の国際切手展はワシントンDCでそれぞれ開催され、2016年の第11回国際切手展は再びニューヨークで開催されます。

5. New York 2016

次のアメリカの国際切手展は、1913年にアメリカで最初の国際切手展が開催されて一世紀を経て、2016年5月22日から29日までニューヨークのコンベンションセンター“Jacob Javits Center”でワールドスタンプショウ“New York2016”が開催されます。

New York Philatelic Exhibition Inc という組織が作られ、会長にはAPSの会長でもあるWade E. Saadi氏が就任しています。既に公式ウェブサイト（<http://www.ny2016.org/>）も開設済みです。7年後の2016年にはオールアメリカンで、すばらしい国際切手展を開催してくれるものと期待しております。

おわりに

テキサス州のダラスとフォートワースの間に位置するダラスフォートワース国際空港は1974年に開港し、現在アメリカのデンバー国際空港に次ぐ広大な空港で、滑走路は6本、ターミナルビルも5つあり、発着数は世界でも3番目、乗降客数は6番目の巨大空港であります。ダラスフォートワース国際空港は、JALも参加しているエアーアライアンスの“ワンワールド”のアメリカン航空の主要ハブ空港の一つでもあります。

今回のアメリカ旅行に際しては、国際線のJALもアメリカ国内便のアメリカン航空の何れの飛行機も満席で、特段に経済不況を感じることはありませんでしたが、JALやアメリカン航空の飛行機から眼下に広がるロサンゼルスやダラス、サンディエゴなどの都市近郊の一戸建ての広大な住宅エリアを見るにつれ、サブプライムローンなどのアメリカの住宅ローン問題から生じた未曾有の金融危機、経済危機の一端が偲ばれた次第です。



ダラスフォートワース国際空港

表3 アメリカの国際切手展

	開催年	切手展	開催年
第1回	1913年	第1回国際切手展	ニューヨーク市、ニューヨーク州
第2回	1926年	第2回国際切手展	ニューヨーク市、ニューヨーク州
第3回	1937年	第3回国際切手展	ニューヨーク市、ニューヨーク州
第4回	1947年	第4回国際切手展	ニューヨーク市、ニューヨーク州
第5回	1956年	FIPEX1956	ニューヨーク市、ニューヨーク州
第6回	1966年	SIPEX1966	ワシントンDC
第7回	1976年	Interphil1976	フィラデルフィア、ペンシルバニア州
第8回	1986年	Ameripex1986	シカゴ、イリノイ州
第9回	1997年	Pacific1997	サンフランシスコ、カリフォルニア州
—	2000年	WorldStampExpo	アナハイム、カリフォルニア州
第10回	2006年	Washington2006	ワシントンDC
第11回	2016年	NewYork2016	ニューヨーク市、ニューヨーク州

<参考文献・資料>

- ・APSのHP
- ・テキサス郵趣協会のHP
- ・テキサス郵便史協会のHP
- ・Washington2006 オフィシャルカタログ
- ・テキサス州観光局のガイドブック（日本語バージョン）

世界遺産とカジノ

西村 寿一郎

以前、本誌に書いた「ウラジオストクからハバロフスクまでシベリア鉄道に乗る」メンバーと同じグループの旅である。

ひょんなことから昨年の夏、中華人民共和国マカオ特別行政区・観光局日本地区マーケティングプレゼンタティブの肩書きを持つ人と知り合いになった。

マカオといえばカジノとセントポール天主堂址くらいの知識しか持っていなかったが、話を聞くと中国広東省と陸続きのマカオ半島と、南のタイパ島（現在は埋め立てられてつながっているコロアン島）を含めて世田谷区の半分ぐらいの場所に「世界遺産」が30もあると熱く語られた。早速、友人と旅行の計画をすることにした。すぐに、たくさんの資料を用意してくれて検討会を開催、マカオ3泊の旅の参加者を募ったところ総勢15名になった。毎年、一味違った旅をしている仲間達である。

気候的にも3月末から4月が良いのではないかと、3月25日出発と決めた。

今までのマカオ旅行は、香港からフェリーでの日帰りの話しか聞いていなかったが、3泊となるとどんな計画が良いのか思案した。

結局、ある程度のことは専門家にお願いしながら次の計画を実施することになった。

- 1:(足) 成田発午前便、香港国際空港から乗り継ぎ、高速フェリーでマカオへ直行
- 2:(宿泊) ロケーションの良い、静かなホテル
- 3:(観光) 世界遺産30を全て見て回る。マカオタワーからの眺望とバンジー・ジャンプならぬ、スカイウォーク
- 4:(体験) カジノとドッグレース

世界文化遺産とは、次の項目を判断基準としている。

- ①: 人類の創造的才能を表わす傑作である
- ②: ある時期もしくは世界の文化圏において、建築物、技術、記念碑、都市計画、景観デザインの発展における人類の価値の重要な交流を表わしている
- ③: 現存する、もしくは消滅してしまった伝統文

化や文明に関して独特で希少な証拠を示している

- ④: 人類の歴史において重要な段階を物語る建築物、建築的または技術的集合体や景観に関する優れた例である
- ⑤: 文化を特徴づけるような伝統的な集落や土地利用の優れた例である。特に元に戻すことのできない状況下において損傷を受けやすくなっている場合
- ⑥: 優越かつ普遍的価値を持つ出来事、生きた伝統、思想、信念、芸術的または文化的作品と直接または実質的関連がある

こうした項目を加味して2005年7月第29回世界遺産委員会において”The Historic Centre of Macau”「マカオ歴史市街地区」の世界遺産登録が決定したのである。

香港国際空港で乗り継ぎ、バスでフェリー乗場へ。高速ジェットフェリー約1時間でマカオ着、入国審査はマカオで行なわれ、まことに楽な手続きだった。

推薦された、ビクトリア時代がテーマの、インテリアも18世紀ヨーロッパ風な、女性好みのプチ・ホテル「ロックス・ホテル」へ、ものの5分もしないで到着。部屋からは、隣のタイパ島へ通じる友誼大橋(Friendship Bridge)が眺められる絶好の部屋である。

現地の通貨は100アボスが1パタカ、ほとんど1パタカが香港ドル1ドルと同じで、どちらも通用する。

世界遺産見物

30の世界遺産見物も傘を心配しながらの天候、ガイドいわく見物に順番があるとのこと。22の建造物と8つの広場を見ることになる。

初日は北の方から、カーサ庭園(東方基金会々址)門をくぐるとすぐ脇にポスト(写真1)

が立っていて日本と同じよう



写真1 ポスト

に、赤く塗られている。

前庭には池があり瀟灑な建物である。隣には、プロテスタント墓地、カモンセス広場は真ん前の場所にあり、カモンセス広場は町中のどこにでもありそうな公園である。

聖アントニオ教会(図1)は、公園の斜め下り坂の途中、入り口にはユネスコ世界遺産エンブレムが掲示されている。



図1 聖アントニオ教会



写真2 セントポール天主堂前の記念広場



図2 セントポール天主堂跡れる。

セントポール天主堂跡(図2)写真でしか見ていなかったの裏へ回ると鉄骨で補強されている。地下へ下りるところの資料館を回り、横隣りにナーチャ廟、旧城壁を回りマカオ博物館へ、山道をエスカレーターで上る。博物館の上がモンテの砦(大砲台)(図3)、遺跡の中に博物館を建てる事は出来ないのではないかと聞いたところ、世界遺産認定前



図3 モンテの砦(大砲台)



図4 セナド広場

の建築で問題ないといわれた。なにか、遺跡と博物館とはいえ新しい建物には違和感を感じる。高台の城壁に幾門もの大砲が海に向かって据えられている。



図5 三街会館



図6 盧家屋敷



図7 カテドラル(大堂)

仁慈堂、聖ドミニコ広場、聖ドミニコ教会、盧家屋敷(図6)1889年建築の伝統的な中国建築で、落ち着いた煉瓦造りの邸宅。

カテドラル(大堂)(図7)ステンドグラスの美しい荘厳な教会は名前の通りである。

カテドラル広場の8か所はほとんど周囲200mから300mの範囲にあり、世界遺産と日常生活のための商店などがこん然としている。



写真3 セナド広場の郵便局

これで午前中に9か所を回った事になる。

午後は、セナド広場(図4)議事堂前の噴水のある広場でお上りさんばかりではなく、若い人たちの憩いの場としてにぎわっていた。

三街会館(図5)「関帝廟・中国式寺院」は、西洋建築に囲まれた中で異色である。

隣の家で、パチパチと音がするのでのぞいてみると麻雀をやっていた。遺跡と麻雀の組み合わせにはなんともいいようが無い。

最後にセナド広場の角にある郵便局へ(写真3)折角のことだからとマカオの世界遺産切手を2シリーズ、小型シートを含めた4枚と、9枚セットを購入した。

2005年世界遺産登録後に小型シートを含めて4種類、9枚セットは2008年の発行である。



図8 ドン・ペドロ5世劇場



図9 セントローレンス教会

滝のように流れる雨水の中、坂道の昇り下りには閉口した。

セントオーガスティン教会、ロバート・ホートン図書館、ドン・ペドロ5世劇場(図8)、セントオーガスティン広場、セントヨセフ修道院と聖堂、セントローレンス教会(図9)と回っているときが最悪の天候だった。

ポルトガル時代の建物で、教会の多いのには飽きがきていた。ただ、どここの教会もステンドグラスの美しさには目を見張らせるものがある。



図10 マアコッ廟

てマアコッ廟(図10)へ、駐車場は満杯で空くまで車中で待たされる。

海の守護神「アマア」を祀るマカオ最古のお寺。狭い廟の入り口から信仰者と見物客でゴッタガエシ、傘も役にたたない有様、狭い廟の中は身



図11 リラウ広場

切手に興味の無い人たち、郵便局で20～30分も時間を取ってしまいあきれ顔であった。

二日目、夜中からの雨。

前日のセナド広場の反対側の民政総局、1784年に建設され、今も使用されている地方自治局の建物を皮切りに南を見ることにした。

外国人が京都・奈良でお寺ばかりを見て回ったら同じ感じがするのではないかと。

昼食前にもう一か所、雨はますます強くなり狭い道を上ってマアコッ廟(図10)へ、駐車場は満杯で空くまで車中で待たされる。

動き出来なく、ハウ・ハウノ体で廟の前のバラ広場を通り車中の人となった。

これで8か所、今までに合計26か所を制覇したのである。あまりの雨足に、



図12 鄭家屋敷



図13 法務局

マカオはまだ駆け足観光の場所と感じられた。

2001年12月にオープンしたマカオタワー(地上233m60階)の回転レストランでの食事。天気が良ければ、中国大陆からマカオ全体が見渡せる絶好の場所と案内されたが、降りしきる雨で視界はゼロ、期持はまったく外れてしまった。展望台の外側を命綱を付けてのスカイウォークも無し。

ドッグレース

毎週月曜日、木曜日と週末に開催されている「ドッグレース」見物、場所は半島北のはずれである。カニドルーム(競狗場)ではグレイハウンド犬のレースで、午後7時30分から始まり一晩12レースほど行なわれる。入場したら、すでに4レースが終了していた。

1周400mほどのコースを観客席からナイター気分を味わいながら眺めることになった。競馬場並みに、場内のはずれにパドック(犬の場合パドックというのかどうか分からないが)で下見をする場所があるが、説明を聞いて第5レースを分からないままにHK\$10とマークシート式の投票券に、私の名字の語呂合わせで2-4に印を付けて窓口に提出、そのカードの裏に番号が印字されて、このカードが俗にいう勝犬投票券を買った証拠になる。1周400mのコースで競われるが、レースによって距離が違っていった。

第5レースははるか右端の遠いところからの発走で、ファンファーレとともに出走、アットという間に目の前を駆け抜けていった。結果

残る4か所は断念せざるをえない状況になった。次の図によって想像していただきたい。

ギア灯台(図無し)、リラウ広場(図11)、鄭家屋敷(図12)、法務局(図13)。

結局、二日間で徹底的に見た場所でにぎわっていたのは「セントポール天主堂趾」「セナド広場」「マアコッ廟」の3か所だけ、あとは訪れる人もなく



写真4 ドッグレース

軽い気持ちで第5レースと同じ2-4を買うため馬券売り場へ向かったらテレビで第6レースの人気順が写し出されていた。これも2-4をHK\$10を購入。

このレースは、目の前からの発走である。下見の場所から係員につれられて6匹の犬が目の前を通って発走のための犬箱に到着(写真4)。発走のファンファーレとともにどこからともなくザーツという音とともに、コースの内側のレールにそってヌイグルミのウサギが走って来て、ゲートを30~40m過ぎたところから開箱、6匹の犬が走っている音は言葉に表せられない異様な音で目の前を駆け抜けていった。

ゴールまじかで見ていたが、あっという間の出来事で判らずじまい。結果は残念でした。

次のレースも同じで、結局HK\$30の損失。同行の仲間で、当たった人もいたようである。

マカオならではの体験である。

カジノ

ラスベガスを抜いて世界一のカジノ王国といわれている。幾つもあるカジノの中で最大のタイパ島にあるベネチアンへ行くことになった。

ホテルに併設して名店街、飲食街が所狭しと並んでいる中を案内されてお目当てのカジノへ、東京ドームほどの広さの中に数え切れないほどのゲームが並んでいる。中央にカジノ全貌が見渡せる所があり、十文字の通路をはさんで4か所のゲームコーナーは同じような形で並んでいる。

あまりの広さに迷子になる可能性もあるので、場所を決めてからおもいおもいに見て回ることにした。手近な所に「大小」というのがあり、仲間数人が楽しんでいた。サイコロ3個を振って合計の数が1~9までが「小」、10~18までが「大」、どちらかにチップを置いて競うものである、

は、残念ながらはずれた。分からないままに第6レースが始まる。下見の場所に行き出走の犬を見るがまったく分からない。

脇の電光掲示板に毎回の出た数字が示されて、それを見ながら思案している。

チップは、ディーラーに現金を渡し交換してもらう仕組みである。偽札予防のためか、必ず札に光線を当てて確認する用心深さ。

われわれの仲間を除いて、大半が中国人、香港から、大陸からと、よくもこんなに大勢の人が集まってきたものだと感心させられる。

隣では、ルーレットが行なわれていた。ルールが判らずただ遠目に眺めるだけ。

ゲームをする人は椅子に座って興じているが、見ているだけではくたびれてしまい、椅子を探したところ大量のスロットマシンが並んでいる一角があった。

ただ座っているだけではとゲームをしようにもルールが分からない。場内の係に聞いたところHK\$20以上の札を投入すると、ゲームが出来るとのこと、あいにく手持ちの札が\$100しかなく、もったいないなと思いながら投入して始めた。

100の数字が点灯され、機械が動く度に減額される、1回\$1のゲームである。\$3にすると横3列に適応する。

わずかに数分で\$30が消えてしまい、アッけにとられていたところ突然音楽が鳴りはじめ、機械が動かなくなってしまった。係の人に聞いたところ、ゲーム機の上の部分にマークが20ほどあり、その中から適当にさわると数字が出てくる、その数字がサービス点数でその数だけスロットが動く仕組みになっていた。その数50回、勝手に機械が動いている。時々、点数が増え、次第に持点が220に増えてきた。

しばらく一進一退で推移していたが、180に減額したところで、精算のボタンを押して印字されたチケットを手に両替所へ。HK\$180を現金で受け取って仲間のもとへ、さきほどの「大小」からルーレットに集まっていた。

ルールが判らず、ただ眺めるだけ。

しばらく眺めていると、数字と数字の間にチップを置いて、上下の横の数字のどこかにルーレットの玉が入ると当たりになる。数字そのもののズバリもある。全て勘とはいえ難しく、どうも私の性分にはあわない。

仲間もお遊びで、そこそこに切り上げカジノ体験は終わった。

第10回稲門フィラテリー総会

第10回総会が例年の通り、大学のホームカミングデー*にあわせて下記の通り開催されます。

記

日時：2009年10月18日(日)

午後1時より

場所：早稲田大学7号館205教室

議事：21年度活動報告・会計報告

22年度活動・予算

講演会：総会終了後、午後2時から中島・水原賞を受賞された稲葉良一会員による講演があります。

懇親会：午後4時から高田牧舎において懇親会が行われます。

*ホームカミングデー：毎年開校記念日に近い日曜日に行われる記念式典、イベント、展示。卒業後、25,35,45,50年目の方に招待状が届く。本年は昭和35,40,50,60年卒業生が招待される。

第29回中島・水原賞受賞記念稲葉良一展

前32号会報でお知らせしましたように中島・水原賞受賞記念稲葉良一展は6月27,28日切手博物館で開かれました。主な展示：「旧小判切手」、「関東州及び満鉄付属地の機械印」など。また、同時に開かれました登録審査員による切手展'09に池澤会員の「都の西北 ～早稲田大学125年の歩み」が展示されました。

切手教室

第62回 6月6日

切手展作品鑑賞の壺 長野 行洋氏

第63回 7月4日

手彫切手の楽しみ 創業期の郵便料金の
変遷について 坂下 泰一氏

第64回 8月1日

郵便料金の変遷と切手 宮鍋 益治氏

編集後記

本誌の校正をして頂いている吉沢編集幹事が元気になる、編集作業に復帰されました。稲門フィラテリーの品格を保つため、胸を撫で下ろしております。

手彫切手の原稿、かなり、専門的、高度な内容になるにつれて、編集の任を痛感します。

1年9ヶ月ぶりに発行された通常(普通)切手(300円)、仏像に「JAPANPOST DEFINITIVE STAMP 300YEN」の横文字の囲み。線に代わり文字をデザインしたのとこと、文字は意味を持つていいます。今後、同じデザインの継続は決定してないとのこと。貴重な凹版通常切手がこんなキンキラ、横文字日本切手になるかとさびしい思い、ますます、切手収集から気持ちが離れていきます。

第6回稲門フィラ常設展

6月10日より7月31日まで「日本開港150周年と緑の季節」を展示。



第7回稲門フィラ常設展

8月1日より9月30日まで「南極・北極の極地保護切手」「米国終戦記念の切手」を展示。

府川会員版画展に出展

今年も府川会員が6月12日から22日まで東



京都美術館で開かれた第59回板院展に木版画2作品「頂花蕾・側花蕾、緑」「紫紺盛夏」(左)を出展。多くの会員が圧倒される量の版画作品と共に、例年の曲線の美しい氏の作品を楽しませていただきました。

甲斐会員「郵趣」に執筆

甲斐会員が昨年6月の切手教室で話題提供された「外国切手の中の日本」が同じ表題で切手の数は制限されていますが、内容は充実されて「郵趣」6月号に掲載されました。

訃報

近藤 武史会員が逝去されました。
ご冥福をお祈りいたします。

発行日：2009年9月1日

発行：稲門フィラテリー

発行人：小西 邦彦

〒150-0002

渋谷区渋谷1-11-3 正栄ビル4F

(株)英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：吉沢 忠一 五十野 和男

池澤 克就 小川 義博

稲門フィラテリー

第 34 号

2009 年 12 月 1 日発行

総 会 報 告

青柳 次男

まだ黄葉には間のあるイチョウ並木の下で、ホームカミングデイの袋を提げたOBが、毒づいている。「ナンダ！昨日の斉藤は。だらしがない」、前日（10月7日）に法政と引き分けた野球のことを言っているのだろう。「ホントですね」運動部関係のビラを配る女子学生が、迷惑そうな顔をして相槌を打つ。その横をすり抜け、大隈侯の銅像の前に出る。写真撮影の順番待ちの列ができています。学生時代には、多分、見向きもしなかっただろうに。ふと、40数年前のことを思い出した。「カノジョを早稲田祭に誘いたいから、手紙の文面を考えてくれ」先輩からの命令である。自分のラブレターを書いた経験もなかったものの、「イチョウの舞い散る秋の一日を……」などと、歯の浮くような言葉を並べた。（当時、早稲田祭は11月に開催されていて、イチョウもしっかりと黄葉していた）「貴方って、とてもロマンティックなのね」と言われた、と後で先輩から聞かされたが、

その後のことは分らない。秋の一日で散ってしまったのだろうか。

「高齢化社会の諸問題という看板があったので、そちらに行こうかと思った」小西会長のユーモアある且つ、「的を射た」？ 挨拶で第10回稲門フィラテリー総会が始まった。

今総会の議事は、次の3件で、滞りなく進められ、出席者全員の拍手で全て承認された。

① 平成21年度活動報告および平成22年度活動計画：小西会長より報告説明。

② 平成21年度会計報告および平成22年度予算：石井幹事より報告説明。

当報告説明の後、会費滞納者の取り扱いについて質問が出され、総務担当幹事より、滞納者には連絡を取り、応答のない場合には、幹事会で対応を検討している旨、説明された。

③ 平成21年度会計監査報告：住吉幹事より報告。

議事終了後には、出席会員から質問、報告などがあり、活発な意見交換が行われた。

・大杉先生、金井会員について（小西会長）

・応援部への支援（小林会員）

応援部は、創部70周年を迎え、来年5月記念行事を予定している。その際、応援部に関係のある資料の展示を企画しているので、古い物をお持ちの方は協力して欲しい。

・各会員の消息について（小熊会員）

会員の消息を知るため、総会への出欠連絡に書かれた「近況報告」の会報への掲載が提案された。



「高齢化社会の諸問題と趣味の会の役割」？を講演する小西会長

しかし、個人情報保護の観点から、適当でないとの見解もあり、今後、幹事会で検討することになった。

なお、総務担当幹事から、総会時には、出欠連絡の葉書を持参しているの、その時点では閲覧可能な旨、紹介された。

- ・新宿北郵便局の展示作品について (磯野会員)
新宿北郵便局での常設展示作品を、都立戸山高校の希望で、同校で展示することになった。

- ・編集幹事より (小川会員)

稲門フィラテリー会報を 10 周年記念号兼ねて発行する。10 年間の会報目次、切手教室内容、新宿北局常設展等を収める予定。いろいろなご意見を編集幹事までお寄せ頂きたい。

議事が終了し、意見交換が進むうちに、出席者も徐々に増え、総会は午後 2 時少し前、無事閉会した。

小休憩ののち、稲葉会員の講演会が始まる。最近では稲門フィラテリーの講演会も「機械化」され、IT 機器の使用が普通になって来た。今回は、ビデオカメラとプロジェクターを使用した謂わば「実況生中継」。裏の空き地で拾った 2 円切手 (犬) から切手に興味を持ち始め、小判切手の作品で賞を獲得するに至るまでの経緯を、早大切手研の先輩、同輩、後輩の思い出を差し挟みながら、面白おかしく、そして時にアカデミックに語り、出席者の多くも、しばし、当時に思いを馳せているかのように感じられた。

高田牧舎も慣れてきたのかもしれない。懇親会開始の 30 分以上も前に、もう会場の準備が整っていた。前回までは、「もう少しお待ちくださいっ！」との一言で、外で待たされたのに、今回は、「どうぞ。おかけになって結構ですヨ」。でも、どうしたことか、若主人の顔が見えない。暫くすると、松葉杖姿で出てきた。足に包帯を巻いている。「サッカーでやっちゃったんです」

午後 4 時。集まり散じてではなく、講演会後に散じて集まった会員で恒例の懇親会が、これも恒例の会長音頭の乾杯で始まる。出席会員全員が、1 年前より確実に 1 歳年齢を上積みしているはずなの

に、「若い」。驚くほど顔が輝いている。殆どの会員が私より年長のはず。私は自分の年齢が分からなくなった。そんな時、小さな子が一人、とことこと入って来た。後ろに母親らしき女性。声をかけようとした時、「おばーちゃん」とその子が小さな声で呼んだ。女性会員の一人が飛んできた。お孫さんだ。私の目に映っていた「若い」会員諸兄姉の顔が、その子の一言で、急にそれ相応の年齢に戻ってしまった。

数日後にリトアニア訪問を控えていた渡辺会員の中締めで、一人またひとり、会員が帰途につき始める。秋の日はとっぷり暮れ、さすがにキャンパスに昼間の喧騒は無い。

<ここからは番外>

懇親会の後、一時期、切手研メンバーのたまり場だった「西北」に寄った。既に店主は亡く、奥さんと息子が店を切り盛りしている。「憶えてないのごめんなさいネ」。言われてみれば寂しいけれど当然のこと。もう、雀荘はやっていない。

息子が言った。「さっきまで、切手研のオフジさんが来ていましたヨ」「オフジさん?」「エエ。そういう名前だと思いましたが」オフジさん! 今度は懇親会にも顔を出して下さい。

.....
青柳氏がふれられていますように、応援部に関係のある資料、応援用品 (傘、提灯など) お持ちの方はぜひ小林 彰氏までご連絡ください。

(編集子)



リーフを VIDEO CAMERA でとらえ、PROJECTOR に流すという
想定外のプレゼンを行う稲葉会員

京の都への旅

上田 克己

目の前に、左右に大きく広がって壮麗な姿を見せたのは「平等院 鳳凰堂」。この前、見学したのは、もう30年程も以前のことだったと思われる。それでも、鳳凰堂の姿は、頻繁にあちこちで目にすることが多い為か、そんなに久し振りだとの感がしない。因みに10円銅貨の裏面にも描かれており、1万円札のデザインにも屋根上の鳳凰が使われている。しかし、それでも美しい建築物であることには変わりがないが、訪れたのが午後の時間帯で東を向いている鳳凰堂は逆光になって、くすんで見えたことは残念であった。朝の光の中だったら堂内に安置される



阿弥陀 3種類の通常切手になった平等院鳳凰堂
如来のお顔もはっきりと見られたのと思ったものだ。



平等院は、関白藤原道長が「源氏物語・宇治十帖」の舞台として知られ平安時代初期から貴族の別荘地でもあった宇治の地に別業（別荘）「宇治殿」を設けていたものを、その子、関白藤原頼道が永承7年（1052年）に寺院に改めたのが始まりと伝えられる。この年は釈迦入滅2000年目に当たる「末法元年」であったことから、当時の貴族を中心に「末法思想」が広く信じられており、頼道は極楽往生を願って阿弥陀如来を祀る寺院、「平等院」を建立した。そして翌天喜元年（1053年）、西方極楽浄土を具現した阿弥陀堂を造営したが、東を向いて立てられたのは極楽浄土を模しているためである。鳳凰が両翼を広げた姿に似ている

ことや、鳳凰形の飾りが中堂の棟に置かれていることから「鳳凰堂」と呼ばれるが、これは江戸時代からとのことだそうである。

稲フィラ御一行様は9月27日、先ず「鳳凰堂」にご到着。

稲門フィラテリーの平成21年度の見学旅行は、平等院の見学からスタートした。前年は「志賀の都」を旅して、今年は「京の都」となった。滋賀県を訪れるのは初体験と仰せの方も多かったが、「京都」は国内一、二を争う観光地であり、修学旅行のメッカでもある。京都は初めてだとは方は極めて珍しい。京都には観光スポットが数え切れない位あるが、その中から2日間で見学するポイントを選ぶのは難しい。諸田幹事の気苦労が忍ばれる。本当にご苦労様でした。



切手になっている平等院鳳凰と鐘楼



何だか申し訳ないような気分で、その代償ではないが当該紀行文をお引き受けした。今年の参加会員は13名と少な目だが、元気で集まることが出来た幸せを喜ぶ。

一行が京都駅に集合したのは9月27日（日）の午前11時前。新潟在住の高橋会員は空路伊丹空港経由で到着。一人、楽に自宅から1時間も要せず到着したのは、この私。



2001 年発行 世界遺産シリーズ 平等院
鳳凰堂



京都駅からは JR 奈良線にて宇治駅まで 20 分ばかり。宇治橋の袂から宇治川の左岸を南へ歩いて、夏季には鵜飼も催される川のほとりにある料理旅館「鮎宗（あいそ）」で名物の「鰻飯蒸し」も付いた結構な昼食を頂き、おもむろに平等院見学に赴いた次第である。

後の時間が迫っているため鳳凰堂の内

部見学は叶わなかったが、2001 年 3 月に完成したミュージアム「鳳翔館」をゆっくり見学、間近に棟飾りの鳳凰や雲中供養菩薩像などの宝物を鑑賞することが出来、満足して宇治駅に戻り、次の目的地「泉涌寺」に向かう。再び奈良線で東福寺駅へ。そこから歩くこと約 20 分の緩い上り道を辿る。

「泉涌寺」は東山三十六峰の一つ月輪山のふもとにある大寺院である。皇室の菩提所でもあったことから「御寺（みでら）」と称され親しまれて来た。山門を潜ってすぐ左側に「楊貴妃観音堂」がある。当然「何んで楊貴妃が日本に？」と素直な疑問が湧く。観音像は伏し目がちの少しふっくらとした顔立ちで気品が窺える美人である。この像は唐の玄宗皇帝が楊貴妃を偲んで等身坐像の聖観音菩薩像を作らせたものを、建長 7 年 (1255 年)、唐に渡っていた湛海律師がわが国に持ち帰り泉涌寺に安置したものと伝えられるとある。永く秘仏とされて来たが昭和 31 年から公開されている。美人の誉れ高い楊貴妃にあやかって「美人祈願」や「良縁祈願」のお守りが並んでいたのが面白かった。それぞれに脚力や研究心に合わせて寺院内を見学して第一日目の行程を終え、疲れた足を休めるべくタクシーに分乗して今宵の宿「東山閣」に入った。（ところで東山閣は国立博物館、三十三間堂、智積院などに隣接する観光には便利な場所にあるが、同時に京都女子学園や華頂女子短大にも近い。それを聞いて某会員はヨダレを垂らさんばかりに喜んだが、残念ながら制服姿にお目に掛かれる時間は無かった。）



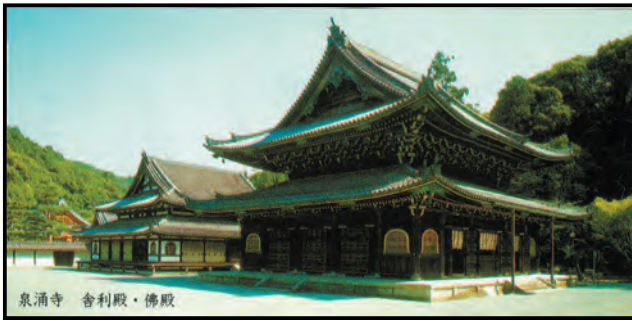
1977 年発行 国宝シリーズ
平等院 雲中供養菩薩像



宇治茶壺のポストと会員 下鳳凰堂をバックに前期？ 齢者の勇姿



湯を浴びて夕食を済ませると、恒例の「お宝拝見」となる。今回も先ず坂下会員から「古都・京都への旅」と題して郵便制度初期の京都に因んだ様々な消印を集め、カラーコピーで作成の資料を配布、お話を伺った。また、小林会員からは「切手研究」誌に掲載、発表して来た「在横浜ペイル兄弟洋菓子店」に関して、そこに至る経緯と苦労話や喜びなどを持参されたコレクションを拝見しながら伺い、誰もが出来るようなことではないとその努力に感嘆し、当初は在横浜フランス郵



泉涌寺 拝観券

便局に興味を持ったことだそうであるが、よくぞ、ここまでと驚きもしたものである。更に驚かされたのは同氏のもう一つのコレクションである。前回も拝見したものの続編だが、早稲田大学応援団の「チアガール」への思い入れである。この執念あってこそ先の研究、探求だと思ひ知らされた。更に、新潟から参加の高橋会員からは「トキ」の追っかけ、観察の楽しみ、苦労話を同氏が撮影の写真などを見せて貰いながら聞いた。また、久保田さんからは京都・聖護院にある須賀神社で節分に売られる「懸想文」など珍しいものを見せて頂いた。あれやこれやで話は盛り上がり、楽しいひと時を過ごし、明日のために力を蓄えるべく眠りに就いた。



二日目の朝は8時ごろに全員朝食を済ませ8時半頃には宿を出発、第二日目、最初の見学先「西本願寺」に向かった。三十三間堂の前からバスに乗り、京都駅で大きな荷物をコインロッカーへ。身軽



2002年発行世界遺産シリーズ切手
上 本願寺唐門 左 本願寺飛雲閣 右 本願寺書

になって再びバスで目的地に到着した。

「西本願寺」は浄土真宗本願寺派の総本山で正式名称は「龍谷山本願寺」。通称は「お西さん」と呼ばれ親しまれている。(これに対し「東本願寺」は「お東さん」と呼ばれる。) 文永9年(1272年)に宗祖親鸞聖人の遺骨を安置した廟堂を営んだのが始まりで、様々な紆余転変を経た後、秀吉に寺地の寄進を受けて現在の地に移ったのが天正19年(1591年)のことである。その後、家康によって本願寺は東西に分けられ新しい本願寺を「東本願寺」と呼んだため、従来の本願寺は通称・西本願寺と称されることとなった。

西本願寺は今年(2009年)3月、10年に亘る平成大修復を終えたばかりで、現在は東本願寺が修復作業を行っている。平成23年4月には親鸞聖人750回大遠忌法要が執り行われる事に合わせての改修である。因みに、この法要を西本願寺では「大遠忌＝ダイオンキ」、東本願寺では「御遠忌＝ゴエンキ」と言うそうである。

兎に角、改修なった御影堂、阿弥陀堂などを見学したが、見たかった飛雲閣が公開されていなかったのは残念だった。面白かったのは御影堂の正面にある「逆さ銀杏」で、背が低く一般的なイメージにあるイチョウとは全く形が違う。一見、根を上にしたような形であることから、この名が付いたと言う。樹齢は約400年で天然記念物に指定されている。

西本願寺から再びバスに乗り、今度は「元離宮・二条城」へ。今





左 二条城二の丸御殿



右 二条城松鷹図

下 二条城二の丸ふすま絵



日は先程からポツポツと細かい雨が落ちていた。気温は24.3℃だったが湿度が72%と結構蒸し暑かった。傘を差したり畳んだり忙しい。昨日は晴れていたが、気温が30.7℃、湿度は69%と高く、かなり汗をかかされた。「京都は、こんなに蒸し暑いのか？」と聞かれたが、小学生も京都に引っ越してきたのが昨年10月のことで、なんと答えようがない。

二条城は家康が慶長7年（1602年）5月に着工、翌年完成したものである。大阪夏の陣、冬の陣の前で、家康はここから出陣したという。その後、寛永3年（1626年）に三代将軍家光が後水尾天皇を迎えるため大改修が行われ

ている。本丸、二の丸、天守閣を建てたが、現在残っているのは国宝に指定されている二の丸御殿のみである。しかし、殆ど実際には使われず、最後に慶喜が大政奉還を行って朝廷の管理下に移った。二の丸御殿や庭園を見物、散策したが、御殿では狩野探幽の障壁画を始め彫刻など華やかな桃山文化の一端を目にすることが出来た。それにしても広く、駆け足で端折って見学したがくたびれた。

これで午前中の予定は無事終了、四条通りへバスで移動。昼食はそれぞれのお好みということで、イタリアンで疲れた体にビールやワインと言うグループ、京都のコーヒーの名店「イノダ本店」でゆっくりとランチ休憩するグループ、後は安直に適当な蕎麦屋で昼食を取るグループに別れ、三条通りの「中京郵便局」に集合することになる。

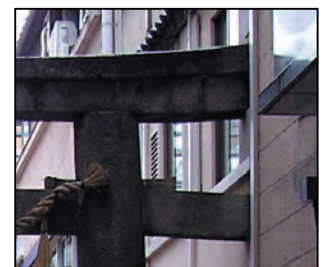
昼食を終えて錦市場をブラブラしたり、蕎麦屋組はイノダ珈琲店で食後の珈琲を味わうなどした後、小雨が降る中、中京郵便局に集合した。中京郵便局は元をたただせば明治4年（1871年）東京、大阪と並んで設置された郵便役所がその前身で、昭和24年（1949年）京都駅前の京都七条郵便局が京都中央郵便局となるまで京都郵便局として中央局の役割を果たしてきた。明治35年（1902年）に建設されたルネッサンス様式で赤レンガ造りの雄姿は、往時を偲ぶ建造物が多く「歴史的界隈景観地区」に指定されている三条通りの中でも重要文化財の旧日本銀



何人かの会員が散策、休息した錦小路にたつ錦天満宮鳥居
じっくり観ると左右の建物が鳥居の両端を抱き込んで建てられている。
さぞ、ごりやくが



関西ならではの ことであろうか



行京都支店（現京都文化博物館）と並んで、一際目を引く存在である。三条通は江戸時代、東海道五十三次の起点であり、江戸から明治に掛けて京都経済の中心部であったことから歴史的建造物が多く、加えて戦災にも遭わなかったためその姿を留めている。中京郵便局は機械化が進む今の業務に適さないことから、昭和49年（1974年）に取り壊しが決まったが反対運動が起こり、外装だけを残して改裝する「ファサード（正面玄関側の立面）保存」の手法によって改修された。この工法は、その後多くの建造物修復に採り入れられその先駆けとなった。

中京郵便局に集合した一行は早速、風景印の押捺のため窓口に集結。ひとしきり、窓口業務の女子職員に何やかやと注文をつけていたが、一段落すると満足げな表情で今度は局の中やレンガ造りの外観を眺め、訪問の目的は達成したとばかり疲れてベンチを独占して座り込んだものである。

これで今年の見学旅行の行程は全て無事に終わった。時々小雨に見舞われながらの二日目だったが、全員元気に中京局を後にした。三条通からブラブラと、錦市場、四条通を見物しながら四条烏丸に達し、そこからバスで京都駅にたどり着いた。今日は朝から「市バス一日乗車券」を使って、ゆっくりとした観光を楽しんだ。昨日、今日と二日間に亘る旅だったが無事に歩き通して、まだまだ皆、若く健康であることを確認した。これでまた来年も、この見学旅行は間違いなく続けることが出来そうだ。

ところで「京都」と名前だが、改めて考える

と「京＝みやこ」と「都＝みやこ」の重ね言葉であることに思い至る。ちょっと気になったので調べたところ、それまで「京（みやこ）」は遷都を重ね同時に幾つも存在したが、桓武天皇の長岡京遷都以降、「京」は一つという考え方が定着、天皇が住まわれる「都」との重ね言葉である「京都」が首都の意味を持つに至ったとのこと。「日本後紀」などにも「京都」の記載が見られ、さらに既に天平時代にも使われていたそうである。

と言う訳で、さて今度は来年の計画が気に掛かる。鬼に笑われようが、稲フィラ会員の平均年齢は間違いなく毎年上昇することから、会員各位がお元気なうちに“あっちも、こっちも”と気が急ぐ次第である。「ひがしのみやこ＝東京」から遥か離れていると、どなたが幹事を務められるのか知る由もないが、また素晴らしい計画が出来上がりお誘いの声が掛かるのを、今から楽しみにしている。



中京郵便局で記念の押印に忙しい会員と局員



現中京郵便局（西京郵便役所）の赤レンガの建物



中京局 現 風景印

卓球を描いた新中国切手

渡辺 浩章

トピカル切手を眺めていると、絵画、彫刻、風景、牛、蝶、魚、花等、切手に登場する素材は、千差万別、山ほど有りますが切手上にうまく生かされている場合と活用し切れていない場合があるようです。

自分の国にあった材料を切手という小さな限られたスペース内に表現しているところでは、画面の構図や記念の題名にも迫力が感じられますし、最近の印刷技術の進歩とマッチして見事な切手に出来あがっているように思われます。

通常の切手が描くのは、静物が主体となりますので、ここでは、動的メディアを考慮して作られた切手には、どの様なものがあるか考察してみようと思いました。まず頭に浮かんだのは、中国切手の奔馬（新中国切手カタログのT28）とその小型シート（T28m）でした。私の好きな切手のグループの一つです。

それ以外の色々なアイテムの中から、スポーツ切手に的を絞って、球技を取り上げてみました。ここでは特殊であるのにポピュラーな球技である卓球に焦点を合わせてみたいと思います。卓球は、最初に相手が返球しにくいようによくひねりを入れたサーブを繰り出して、やっと、レシーブで返したところにスマッシュで決めたり、狭いフロアーをいそがしく走り回り、相手のミスを狙うなど手のこんだゲームであると思います。

日本では第9回国民体育大会、第23回世界卓球選手権大会の切手が日本を代表する卓球切手です。どちらもペンホルダーをうまく表現して、まとめられていると感じます。



近隣諸国を覗いて見ますと、やはり、我らの後輩、福原愛ちゃんを育てた中国では、これでもかこれでもかと、多彩な卓球切手を発行しており、それらの切手に描かれた選手達の動きは、実によくできて居ります。最近発行された卓球切手の種類は、小型シートを含めると別表の通り 37 種類にも及びます。種類の多いのばかりがよいとは言いきれませんが、中国がこれほど多種類の卓球関連切手を発行している理由には国際大会における好成績が反映されています。



1978 年発行 奔馬シリーズ (10 種中の 7 種表示)

人により、それぞれの好みがあり意見の分かれるところですが、中国の最近の卓球切手には、選手の敏速な動きがよく描かれ、試合の醍醐味を感じさせられると思われます。また、他国との卓球の試合による交流と友情を描いた切手が幾つかあるのも好ましいところです。発行件数から察せられる通り、中

中国発行卓球切手 一覧 (品番は「外国切手カタログ 新中国切手」の表示番号)

年月日	品番	内容	額面
1959.08.30	紀 66	第 25 回世界卓球選手権大会	4 分, 8 分
1959.12.28	紀 72	第 1 回全国体育大会 16 種中の 1 種	8 分
1961.04.05	紀 86	第 26 回世界卓球選手権大会 4 種	8,10,20,22 分



1963.09.10 紀 99 第 27 回世界卓球選手権大会 2 種 8 分



1965.04.25 紀 112 第 28 回世界卓球選手権大会 4 種 8 分

1966.02.25 特 72 子供のスポーツ 8 種中の 1 種 52 分



1971.07.01 革 5 アジア・アフリカ卓球友好試合 4 種中の 1 種 8 分

1972.09.02 革 11 第 1 回アジア卓球選手権大会 4 種 8 分



1973.08.25 第20回アジア・アフリカ・ラテンアメリカ卓球選手権大会 4種 8,22分



1979.09.15 第4回全国体育大会小型シート ラケット表示

1981.06.30 J71 第36回世界卓球選手権大会 7種目制覇

7種 8分

1995.05.01 J95 第43回世界卓球選手権大会

2種 20,50分



国切手の市場の相場は、過去に何度か激しい乱高下がありましたし、文革期切手や小型シート類が異常に値上がりしているようで、びっくりさせられます。最近では、切手の発行件種が減った一方で発行枚数が大幅に増えた関係か、新しい切手は出来がととてもよくなっているのに、それら



国の卓球ブームは大変なものであり、その選手達のプレーのレベルには実に頭が下がりますし、選手の層の厚さも感じさせます。日本では以前のような切手ブームは、二度と訪れることのない感がありますが、現在の中国では、まるで卓球の実力が向上するのに比例しているかのように切手収集熱も盛んになっているところが面白い現象となっています。それにしても、中

の切手の相場は、殆ど値上がりしてないようです。今後は、どうなっていくのでしょうか。戦後の日本切手と、同じような方向をたどるのでしょうか。先日、JAPEXの会場で、業者の言葉を小耳にはさんだのですが、中国に於ける切手収集は、中高年の間では今も根強く盛んだが、若者の間では減り始めているとのこと。今後、どうなることでしょうか。

日本切手 2009 年の発行状況

ワケのわからなくなるほどたくさんの切手を発行してくださる郵便会社。今年 1 年の発行状況がどうなってるか、整理してみた。

発行件数・種類

45 件 (普通切手 1 を含む)

353 種 (小型シート 2 を含む)

種類別発行数 (日本切手カタログ分類)

特殊切手 24 件 196 種 ふるさと切手 19 件

152 種 年賀切手 1 件 4 種 (お年玉小型除く)

普通切手 1 件 1 種

発行内容を見るとシリーズ切手が圧倒的に多く全体で 153 種を占め、全体の 43% に達し、ふるさと切手では 81% がシリーズ切手であった。また、特殊切手では手紙、郵便利用促進を図る意味のふみの日、グリーティング切手が 46 種、23% 発行されていた。また、変形切手が 2 種、シール切手が 25 種発行されていた。

切手額面別発行種類

金 額	50	80	90	110	130	160	300	53	55	83	総計
ふるさと切手	37	115				小型シート		寄付金付			152
普通切手							1				1
特殊切手	15	166	1	1	1	2			10		196
年賀切手	1	1						1		1	4
全 体	53	282	1	1	1	2	1	1	10	1	353

印刷方式・印刷機関 (銘版)

残念ながら凹版の切手は発行されず、オフセット、グラビアのみであった。ふるさと、特殊切手で印刷方式割合に差が見られ、特殊切手は 85% がオフセットであった。

種 類	オフ セット	オフセッ ト・エン ボス加工	オフセッ ト・ホロ グラム	グラ ビア	グラ ビア・ 凸版	総計
ふるさと切手	77			75		152
普通切手				1		1
特殊切手	151	10	4	31		196
年賀切手				2	2	4
全 体	228	10	4	109	2	353

印刷機関	オフ セット	オフセッ ト・エン ボス加工	オフセッ ト・ホロ グラム	グラ ビア	グラ ビア・ 凸版	総計
Cartor Security Printing	199	10				209
国立印刷局				109	2	111
凸版印刷	29		4			33
全 体	228	10	4	109	2	353

これを印刷機関で見ると 65% がフランス Cartor Security Printing で印刷され、しかも、シール、ホログラム、祭り切手を除くすべてのオフセット印刷切手がフランスで印刷されているという、昔を思うと信じられない現状であった。

購入必要金額

総額 26846 円

特殊切手 15230 円 ふるさと切手 11050 円

普通切手 300 円 年賀切手 266 円

1 枚ずつ集めても、かなり負担が増している。

更に、シート余白デザイン等を気にして、国体切手、開港 150 年、切手趣味週間、皇室関連等で重複する切手の存在を無視してシートで購入したとすると、更に 3110 円余分に強いられ 29956 円が必要になる。

発行枚数 (万枚)

種 類	合計	平均	Max	Min
ふるさと切手	31000	203	400	100
特殊切手	40750	208	1200	100
年賀切手	4105	1026	2200	185
全 体	75855	216	2200	100

最多枚数：ふるさと切手の 400 万枚は花シリーズ切手の 10 枚、特殊切手は皇室関係を除くと赤

十字 150 年切手の 750 万枚であり、ふるさと切手発行枚数が特殊切手と差がなくなっていく傾向がみられた。

ふるさと切手のふるさと

ふるさと切手の発行が整理されて 2 年目、ふるさとを偲ばせてくれる切手がどのように発行されたかをみると、非常に偏ったものであった。5 つの都県でふるさと切手の半数以上の 79 種類が発行されているのに、14 府県が 1 種類、9 県 (青森、秋田、福島、埼玉、富山、三重、徳島、香川、福岡) にいたっては発行が無いという状況であった。更に、50 円と 80 円切手が両方発行された県は 15 都府県のみということではふるさと切手を使用しての便りを出したくとも、出せない現状である。これだけ多く発行されるふるさと切手、47 都道府県、年間に新しい 50、80 円切手をせめて各 1 種類は手紙に貼れる気配りぐらいいは欲しいものである。

(編集子)



Cartor Security Printing
オフセット印刷
国土緑化 キタコブシ



左 凸版印刷株式会社
オフセットホログラム
南極・北極の極地保護
ホッキョクグツネ

手彫切手に観る二重丸型日付印

坂下 泰一

明治6年4月1日より郵便料金が改正になり、一般書状が2匁毎に、市外2銭、市内1銭の均一料金制が実施されることになった。

それまで郵便役所や取扱所が思いのままに作製した消印、いわゆる不統一印が抹消印や、証示印として使用されていた。この自局製の消印にはそれぞれの好みや個性が感じられ、切手収集家にとっては非常に興味深い、また面白みのあるものであった(図1)が、何となくまとま



りがなく、不体裁な感は免れなかった。また必要なデータを表示するためには複数の印を押捺する必要があり、手間もかかった。そこで料金改正に際し、わが国初の統一された消印である二重丸型日付印が、まず3府(東京、大阪、京都)と5港(横浜、神戸、長崎、箱館、新潟)の郵

図2 東京の字体の変化



便役所に支給され(図2、図3)、その後仙台、名古屋等の地方の主要局にも次々に下げ渡されて行った。

この二重丸型日付印は円の中心部に局名、外円部には年月日と便号の活字を挿入したもので、1つの消印で差立地や到着地また年月日等の必要なデータを表示することができる便利で、非常に斬新な印類であった。この消印は単独で抹消印として用いたり、また証示印として他の印(不統一印、記番印、白抜記番印、白抜十字印や小型・大型ボタ印、等)と併用された。

この二重丸型日付印は内部の因子によっていくつかのタイプに分類される。長年この印の研究に取り組み続けてきた故中川長一氏のローマ字と数字による分類法が最もよく知られている。その後の天野安治氏や沢まもる氏等による徹底的な研究により、さらに発展して、今日見られる形態が確立したと言える。ローマ字や数字の組み合わせや外円の大小によって多くの種類の二重丸型印が生まれた。

(1) 最初期の二重丸型印 :N1B1 型印 (図2、図3)

[明治]の入る年号(N1)と漢字の便号(B1)からなるタイプ。このN1B1型印は二重丸型日付印としては最初期のもので、料金が改正になった初日の明治6年4月1日の使用例(東京)が知られている。図3の1列目と2列目が3府5港の消印。ここでは2列2番目の神戸の紫色の消印が目につく。紫印を抹消印として使用したのは神戸だけで、6年の9月頃まで使用

* 円内の因子による分類

年号：N(Nengou の頭文字)
便号：B(Bingou の頭文字)
国名：K(Kokumei の頭文字)
郡名：G(Gunmei の頭文字)

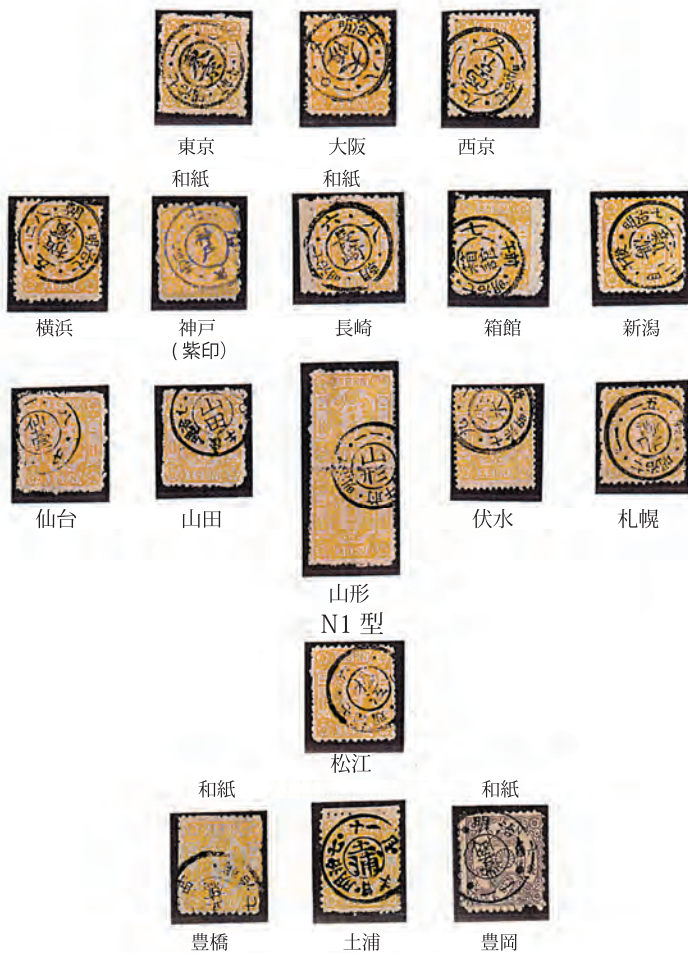
* 円の大きさに大小がある場合

大型：D(Daisy の頭文字)
小型：d(小文字のdで示す)

N N1：[明治七]のように[明治]の入った年号
N2：[八年]のように[年]の入った年号
N3：[十三]のように数字のみのもの

B B1：[朝][午前]のように漢字のもの
B2：[い][ろ][は]のように平仮名のもの
B3：[イ][ロ][ハ]のように片仮名のもの

図3 二重丸型印のいろいろ
N1B1 型



した。3列目の仙台以下の5局は3府5港以外でNIB1印を使用した局である。

次に、前頁図2の3枚のNIB1東京を見てみると、東京の活字の大きさや、字体が少しずつ違うのが分るだろう。初期の字体は中期、後期のものと比べると細く、しかも小さい。東京以外についても同様のことが言える。図2左側の和紙紅4銭1版の明治6.4.12.は切手と消印両方の初期使用例である(和紙4銭の発行日とNIB1印の初日は同じ明治6.4.1)。図2の中央は和紙黄2銭4版29番で、明治6.6.25は4版の最初期使用例(和紙黄2銭の発行日は6.6.5)。その右隣、和紙紫褐色6銭仮名ホの明治7.2.24は仮名ホの最初期使用例である(発行日は7.1.1)。このNIB1型印は6年の中頃から、記番印の登場する7年の末頃まで、主として抹消印や証示印として大いに活躍した。手

彫の使用時期を調べるのにこのNIB1型印ほどありがたい消印はない。

(2) 初期の二重丸型印 :N1 型印 (図3)

N1型印はNIB1型印から便号(B1)を取り除いたタイプで、松江と若松の2局が知られている。松江の「江」の5画目が途中からくびれた珍しい字体で、すぐに分かる。これらの局は1日1便しか取り扱いがなかったため便号は必要なかったと思われる。この印も7年に集中的に使用された。松江の下段の3枚豊橋、土浦、豊岡は官給印ではなく、自局製の不統一印に属する。豊橋は「明治七」の活字が外向きであり、また日を表す「二十四」が内向きで、「廿四」と書かれている。この豊橋の抹消例はわずか数例しかない。N1土浦は活字が普通より太めで、日付が筆書きされている。N1豊岡は和紙紫褐色6銭仮名口上にきれいに押されている。このN1印は外円の大きさが24ミリと普通(22ミリ)より少し大きい。また活字を区切る点が、際立って大きいことから自局製の不統一印の1種と見なされている。記番印セ1の差立証示印(朱

色)として専ら使用され、抹消印としてはこれ1点しか無いように思われる。

(3) 初期の二重丸型印 :NIB1/K 型印、N1/K 型印 (図4)

図4の1段目はNIB1/K型印の抹消印使用が知られている6局の内の4局である。NIB1型印の内円内の局名に国名(K)を加えたもの。めざましい郵便の普及によって郵便局数も急激に増えたため、同一の局名を区別する必要から国名が入れられた。

2段目と3段目(左2枚)の福井、高田、千葉、金沢、等の地方の2、3等局にはN1/K型印が配給になっている。これらの局の集配は1日1回だったため、便号を更植しなくてもよいN1/K型印が交付された、と考えられる。しかしNIB1/K型印が配給になった多くの局も1日1便であり、便号を更植する必要など無かつ

図4 二重丸型印のいろいろ



たはず。NIB1/K 型印と N1/K 型印を区別した基準は何であるかはっきりしない。この両タイプの印は専ら 7 年に使用された。

上段右端の敦賀は、一般に印影が薄く、字体が細く読みにくい(この印の特徴のようだが)、9 年 9 月と読める。敦賀は 7 年末以降 NIB1/K 型印の使用は無かったが、9 年の 7 月頃から 4 年間ほど再び抹消印として使用し出した。そのため、後期使用の手彫切手はもちろんのこと小判切手にもこの N1B1/K 型印が見られる。

(4) 中期の二重丸型印 :N2B1 型印 (図 4)

「九年」のように年のつく年号 (N2) と漢字の便号 (B1) からなるタイプ。京都と神戸で主に 9 年前半に白抜記番印の差立証示印として使用した。京都では 9 年の 5 月頃抹消印として使

用している。3 段目中央の京都 N2B1 型印は九年の何月か判読しにくい、明瞭に押された消印や字形から 9 年の 5 月の使用だろう。1、2 月頃使用の N2B1 型印は、たいてい活字が不鮮明である。それは古い NIB1 印を流用し、N1 を N2 に、西京を京都に差し替えた印類だから、と思われる。

(5) 後期の二重丸型印 :

KB1 型印、KB2 型印

N3B3 型印 (図 4)

KB1 型印は国名 (K) と漢字の便号 (B1) からなり、KB2 型印は国名 (K) と片仮名の便号 (B2) からなるタイプである。この KB1 印は、最初に関西、横浜、京都や神戸の官立の大局 (東京は除く) に支給になり、後に名古屋、新潟、等の地方の主要局に下げ渡されて行った。明治 8、9 年に使用し出したときは記番印や白抜十字印の差立専用印であったが、明治 13 年頃になって一部の局で抹消印として使用した。郵便量の増大につれて、官立の大局では KB1 型印の漢字による

便号では対処できなくなり、漢字表記から平仮名表記に替わった。つまり KB2 型印が生まれることになった。

N3B3 型印は、数字のみの年号 (N3) と片仮名の便号 (B3) からなるタイプ。外円の直径が約 20 ミリと従来のものより 2 ミリほど小さい。小型のため円の全影が切手面に収まるので、なかなか人気がある消印である。大型ボタ印の差立証示印として、明治 15 年頃から 21 年 9 月に丸一印を使用し出すまで約 7 年間使用した息の長い消印である。明治 16、17 年に N3B3 型印が抹消印として単独使用されている。従って、この印が手彫切手上に現れるのは、決まって後期まで売れ残った改色の 1 銭、玉 6 銭、高額の 20 銭や和紙 4 銭、また 5 厘はがきの加貼用に使用された 3 種の半銭切手である。

図5 いろいろな手彫切手とKG型印



期の消印であるKG型印は希少である。その他は高額が難しい。3段目中央の2枚の鳥切手はKG印がきれいに押されており、このリーフを引き立ててくれる。

図6はKG型印による洋紙黄2銭仮名揃いのリーフである。このリーフで注目したいのは3枚の色変わりKG型印である。故田辺卓躬編「明治郵便局名録」によると、仮名力の竹ヶ鼻は、7、8年に証示印として朱色のKG型印を使用した記録があるが、抹消印には黒印を使用している。従って、この朱色KG型印は不足印の代用として使用されたのか、それとも間違えて朱印を末梢に使ってしまったのか、はっきりしない。仮名ナの小野路朱色KG型印も、不足印として使用された可能性がある。仮名ツの西城は、10年に青緑KG型印を抹消印として使用した記録がある。手彫切手に押されたKG青緑印は極めて少なく、数枚が知られているだけである。ともかく、黄色の地に、朱や緑(青)は、色彩的に目立ち、華やかな感じを与えてくれて、好ましい。

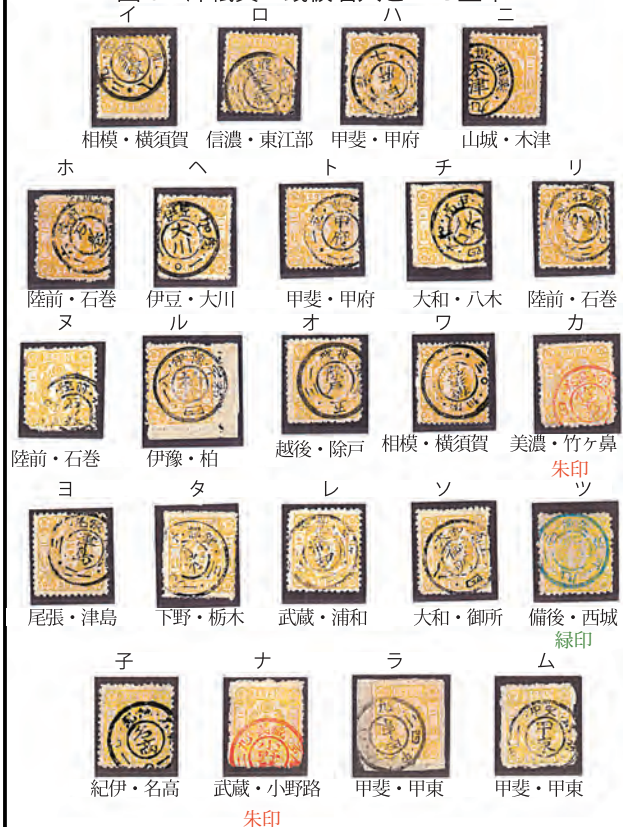
(6) 中後期の二重丸型日付印:KG型印(図5)

NIB1型印の支給局以外、地方の局では郵便の取り扱いがまだ1日1便のところが多く、便号の更植は必要がなかった。だが、郵便局の数が増え、同名の局も出てきたので、NIB1の年号(N1)と便号(B1)に替わって国名(K)と郡名(G)が入る印額が求められていた。そんな時、KG型印が明治7年5月頃より、まず東海道路線上や関東の一部の郵便局に支給され始め、7年末にはその数は100を越え、8年半ばには全国で3200を越すまでになった。

KG型印は初め不統一印や記番印の差立証示印や到着印として使用されたが、明治9年3月頃からKG印を抹消印として単独使用してもよいこと(前島密の達による)になり、9年の末には85の局でKG印の単独使用が見られた。後期に発行された改色切手や房切手、売れ残った3種の半銭、和紙4銭等にこのKG印が見られる。

図5の上段5枚は和紙桜切手に押されたKG型印。和紙のなかで青1銭や赤2銭が無いが、この2枚は早くから市内料金や基本料金用として使われ、売り切れたので後

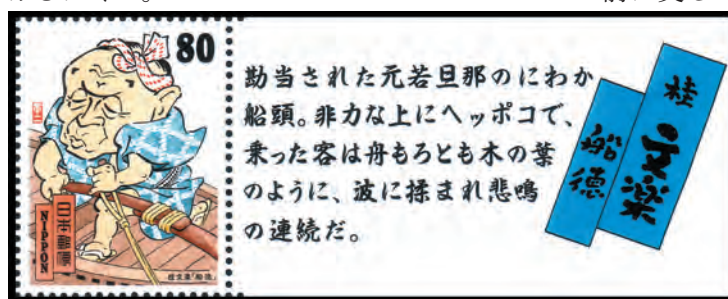
図6 洋紙黄2銭仮名入とKG型印



江戸を偲ぶ 舟遊び

池山 眞彦
小川 義博

落語と時代小説に親しむ者にとって江戸の町の様子を思い浮かべることは楽しいときである。時に古地図を開き、志ん生の「黄金餅」の金兵衛が坊主西念を下谷山崎町から麻布まで担いだ道を辿ったり、鬼平はこのあたりを散歩したのかと思ひ巡らす岡の道は頭に浮かべ易い。しかし、勘当された若旦那船頭の徳さんが櫓を漕ぐ川面、剣豪坂崎磐音が佐々木道場から船に乗りこむ昌平橋あたりの川面のながめは頭に浮かびにくい。



1999年発行笑門来福落語切手5種のうちの桂文楽機会があれば神田川を巡ってみたいと考えていた。この10月にやっとその機会に恵まれた。30年前から活動している「神田川船の会」が開く神田川巡りに参加する機会を落語に魅せられた稲フィラ会員2人は持つことが出来た。

両国の東京水辺ライン発着場から遊漁船5隻、屋形船1隻の船団で出港、綺麗どころは見えないが柳並木が兩岸に見える柳橋をくぐると、いよいよ神田川である。



広重 名所江戸百景
昌平橋 聖堂 神田川
坂の上が現在の医科歯科大学が

この神田川が1620年頃より掘削、造成された川であることは意外と知られていない。元の姿は後楽園近くから南へ流れ日比谷入江に注ぎ込む平川であったが、平川の氾濫を防ぐため本郷台地(神田台)を掘り割って通し、人工の谷である御茶ノ水の流れる神田川が作られた。

柳橋を抜けるとビル

の谷を遡り、室町時代に太田道灌が江戸城の鬼門除けとしてこの辺りに柳の木をたくさん植えた柳森神社を左手に、万世橋をすぎると右手に石丸電気、左手に上を中央線電車が走り、一部は交通博物館になっていたレンガ造りの外壁の旧万世橋駅が見えてくる。昌平橋にかかり、この辺りが坂崎磐音の生活の場で舟で両国、深川に出かけていたかと思っていると、ニコライ堂と湯島聖堂を結ぶから名前がついた聖橋が目

の前に美しく見えてくる。この美しい橋をくぐると、世界の大都市でこれだけの緑の溪谷は見られないという緑の中に入っていく。もしか、エディンバラの駅の谷が似ているか。日常は地下鉄で瞬間目にする風景をゆっくり堪能、この緑を育てているという行政サービスに感謝である。一方、左岸の崖が石垣であるのが残念、せめて常緑の蔦を植えて美しい溪谷にしてくれることをJR東日本にお願いしたいところである。美しい緑を眺めているうちに神田上水の万年



御茶ノ水橋下よりの風景



2007年発行
江戸名所と粋の浮世絵切手
水道橋駿河臺

樋(懸樋)の跡を過ぎ、昔、尿尿を汚い船に積み替えていた跡が不燃物ごみを今も舁に積み替えているのに感動し、同時に防災船舶着場の存在とも考え、現在も重要な川の役割を考えながら水道橋を潜る。(災害時、ビルが崩壊し川を遮断し、緊急輸送路としての役割を果たせるか不安を感じる神田



早稲田大学開校 20 周年当時の大学近くの神田川風景
新撰東京名所図會 睦書房より

川であるが。) 井之頭池を源に母校近くを経て椿山荘下を流れてきた神田川を、右に後樂園の小石川橋手前を、左に日本橋川へと巡る。

この日本橋川、神田三崎町辺りでお茶の水の掘削土で埋められていたものが明治 36 年に再び堀戻されて川になったという。貨車の操車場跡を中心とした飯田橋周辺の再開発高層ビル群を左に、高速道路下を船団は低い橋の下を進み、火付盗賊改めの役所のあったという平河門近くの宝田橋を鬼平を思いながら潜りつつ、



2008 年発行
八つ見のはし
鬼平の火付盗賊改方役所があり、何かと騒々しい所だったろう現在の一石橋付近

共立女子大に切手研があったのを思い出していると、高速道路とのわずかな空間に日銀、三越本店が見え、すぐ、日本橋が迫ってくる。東京オリンピックのためとはいえ、この美しい橋の上に道路を作ってしまった素晴らしい決断に改めて脱帽である。そして、株屋街の茅場橋、右手に霊岸島をみると最後の橋、豊海橋を潜り、永代橋



1964 年発行
首都高速道路開通記念
右 川面より見る日本橋の美しい姿。今にしては評価が分かれるが当時は切手を発行するまでの評価



下 1984 年発行
近代洋風建築日本銀行本店

のすぐ下手の大川(隅田川)に戻る。(この間、満潮時で水面と橋げた 2m 弱の橋が最も低い橋であった。)



次に、我ら船団が目指すは深川方面への小名木川、大川を少し下り清洲橋を過ぎ右手に見えてくる。この小名木川、下総の国、行徳から塩を江戸に安全に運ぶために掘られた運河である。この運河、運河というときすぐ思い出すパナマ運河と規模こそ違いますが同じ方式で船が通行できるロックゲート方式の運河であるというより、工業用水汲み上げが原因の地盤沈下によって、この方式を強いられた運河である。

入口の万年橋をすぎ、新小名木水門が見えてくる。「広重江戸百景 小奈木川五本まつ」に因んでか墨田区の木である黒松が綺麗に植えられている。この岸のカミソリ堤防といわれるコンクリートの堤防に驚く。大川のカミソリより、はるかに低いのである。ゼロメートル地帯



2008 年発行
江戸深川万年橋
欄干から見た大川を描く

に入ったのである。水門で水位を操作できなければ、大川の増水時には浸水被害が生じるという。更に進むと大きな水門が見えてくる。これがロックゲート、扇橋閘門である。わが 6 隻の船団は縦 120m、横 15 m のロック内に 2 列に待機、前扉が閉じられると徐々に水位が下がりだし、2.5m 近



今も黒松並木に偲ばれる
小奈(名)木川五本松

3年前荒川ロックゲートが完成し、大川(隅田川)と荒川が航行できるようになり、水辺の利便性が高まったという。

大川に出るとモダンな新大橋と江戸時代は両国広小路があり非常に賑やかであったという両国橋をくぐり2時間半のクルージングは無事終了、夢に見る落語での猪牙舟で山谷堀から日本堤に上がり見返り柳を背に大門.....のコースは浮世絵の世界でイメージを膨らますしかないと自己に言い聞かす。緑のある河岸と高速道路の屋根のない区間が増えれば江戸のイメージも



両国広小路の賑わいを思わせる
広重の両国橋大川ばた

く下がったところで後扉が開き、船団は水路を前進し小名木川橋手前でUターン。今度は、ロックに入ると渦を巻いて水が湧き出て2.5m上がって前門が開き、大川へむかう。ゼロメートル地帯の水位は大川よりこれだけ低いということを強く印象付けられた。この運河の荒川と接するところに3



上 ロック内に待機した船団

右 ロック内の水位表示

下 ロック式運河を描く1920年発行パナマ切手



もっと膨らませられたかを感じると同時に、新たな切り口で都市を考えるきっかけとなったクルージングであった。



ぐっとこらえてきた欲求を満たすべく、早々にコンクリート厠へと向かった。

このクルージング、年2回「神田川船の会」で行っています。また、JTBでも行っているとも聞きます。ぜひ、川面からの都心を散策されてはいかがでしょうか。





前号で述べた日本切手データベースを作成していて、いくつかの気になることが頭に残った。

それは

- 文化財を描いた切手はどのくらい発行されているのか。特に絵画がどのように切手に描かれているのか。国宝がどのくらい切手になっているのか
- スポーツ切手の競技の内訳は？
- 花、鳥が描かれた切手はどのくらい？
- 国際会議関係の切手が目立ち、どうして医学関係の切手が多いのか？
- 地図、地球を描く切手が意外に多い。
- 橋、城を描いた切手が多いが。
- なんでこんなに多く、同じ対象が切手に描かれているのか？

この残影を少し整理し、影を少しでも薄くしてみたく、前号で紹介したデータベースを少しクリックしてみたら、新たな事柄が目に見えてきた。

思いつくまま、切手に描かれている内容、発行内容を区別せず、キーワードに任せての検索結果からの数値を得て比較した。勿論、ダブルカウントであり、各切手の持つキーワードの妥当性も検討の余地がある上に、検索にのせた単語にも偏りがあることは承知である。このように正確さに自信はなく、疑問は存在するが、日本切手への考察の試みと受けとけとめていただき御笑覧いただければ幸いである。

整理してみると表1に示すような内訳で切手が発行され、そこに多くのものが描かれている。

最も多く切手に描かれているのは花である。アニメ切手等を詳しく調べればもっと増えるであろうことを考えると20%弱の切手に花が咲いていると考える。本誌28号にもふれたがふるさと切手では約40%の切手に花が咲きみだれているが、民営化後、地方郵政局での発行が無くなったので、少しは落ち着いた花の咲き方が期待できるかと考える。花の中ではやはりサクラが一番多く描かれている。花に関連して多

表1. 切手発行内容と描画対象

描画物・発行内容	枚数	内訳
花	883	描画対象
1,5,0,00,000年, 周年記念	527	発行内容
美術文化財絵画	516	描画対象
鳥	307	描画, 発行内容混在
スポーツ	299	描画, 発行内容混在
国宝	252	描画, 発行内容混在
特定個人	244	描画, 発行内容混在
寺院	191	描画, 発行内容混在
浮世絵	152	描画対象
船・舟	150	描画対象
郵便・通信・電波・放送	140	発行内容
富士山	137	描画対象
文通	135	発行内容
サクラ	130	描画対象
橋	124	描画対象
動物	122	描画対象
重要文化財	113	描画対象
城	109	描画対象
国際文通週間	99	発行内容
外交関連	99	発行内容
国際会議	96	発行内容
切手趣味週間	95	発行内容
太陽・月・星・宇宙	87	描画, 発行内容混在
機関車・電車・鉄道	78	描画対象
神社	72	描画対象
地図	72	描画対象
竣工・開通・開設・完成	72	発行内容
夜景	71	描画対象
祭り	69	描画, 発行内容混在
仏像	68	描画対象
昆虫	63	描画対象
三、五重塔、宝塔	62	描画対象
さかな	58	描画対象
地球	55	描画対象
博覧会、展覧会	51	発行内容
地球	51	描画, 発行内容混在
飛行機	50	描画対象
切手展	43	発行内容
生誕・歿後	41	発行内容
鳩	38	描画対象
切手に切手	35	描画対象
医学	34	発行内容
自動車	33	描画対象
国会・選挙・議事堂	27	描画, 発行内容混在
花火	14	描画対象
変形切手	89	
寄付金	67	
シール切手	196	

(2009.9月末現在切手発行5010種を対象)

(美術文化財絵画は美術絵画、若しくはそれらをトリミングして用いたと判断する切手)



く描かれているものに小鳥があり、ふみの日などのデザインに多くが描かれているが、種類のわかるかたちで描かれているものは少ない。その象徴からハトを描くものは存在感を持っている。

更に、表を整理してみると、絵画、仏像、寺院、神社、工芸品等文化財が1000種を数え、20%の切手に文化財が描かれている。中でも多いのが屏風、絵巻、壁画等も含めた絵画類が520種（10%）を越える切手に描かれている。

また、意外に多いのがスポーツ関係事項を発行内容とする切手である。描画と発行内容混在となっているがスポーツと全く関係ないものに描かれているのは日本ブラジル修好100年、正岡子規の野球バット、慶應義塾150年、相撲絵だけであり、分類方法を黙認いただき、発行内容に限定すなら、特定内容のために最も多く発行されている切手である。（この他に少年漫画50周年関係の中に見られるが除外）

この美術文化財絵画関係切手（絵画切手と略記）とスポーツ関係切手について、詳しく整理してみたいと考えた。

★美術文化財絵画関係切手を偏見

515種の絵画切手をその種類別にみると表2のように、ふるさと切手は過去のそのの猥雑なことを裏付けるように、絵画切手の使用は少なく、加えて、国宝が使用されたのは発行方針変更後の1種のみの状況である。普通切手に国宝使用数が少ないが、国宝でも仏像、工芸品を使用したものが絵画に比べ数倍多い。因みに普通切手の国宝絵画は宗達の風神と狩野探幽の二条城襖絵の松の2種類のみであろう。

表2 分類別に見た絵画切手と国宝使用切手

分類	枚数	割合	国宝
特殊切手	461	9%	57
ふるさと切手	46	1%	1
普通切手	11	0%	5
年賀切手	2	0%	0
総計	520	10%	63



次に、切手の種類別に絵画切手、国宝使用切手を見ると表3に示すとおりであり、絵画切手が特定種類の切手に半数以上使用されていることがわかる。切手趣味週間切手は全て、国際文通週間切手は人形の1982-86年、国連加盟50年記念を兼ねた2002年の9種を除いて全て絵画切手であることが人気のある理由であろう。特に、国際文通週間切手の半数以上（53種）が浮世絵であることは浮世絵が切手発行に寄与しているかを如実に示すものであろう。

表3 種類別に見た絵画切手と国宝使用切手

種類	数	国宝	国宝割合
切手趣味週間	95	7	7%
国際文通週間	90	10	11%
シリーズ切手全体	122	20	18%



大和絵、錦絵等と浮世絵を区別することは難しい。ここでは作者を判断材料とした。

絵画切手にどのような種類の絵画が多く使用されているか。浮世絵の他に 絵巻・図巻、屏風を取り上げて整理すると表4に示すとおりである。

上の切手の例などを見ると、浮世絵はその作品の描写内容からあまりトリミングされないが、絵巻・図巻、屏風は描写内容からトリミングのみならず、デザインを組み替えて切手に使用されている絵画が存在することを知った。

表4 分類別に見た絵画切手と国宝使用切手

絵画分類	特殊切手	ふるさと切手	通常切手	合計
浮世絵	120	31	4	155
絵巻・図巻	53	3	1	57
屏風	68	2	3	73



とうのみねえんげえまき
絹本多武峯縁起絵巻 上巻之二



上 旅の風景シリーズ 第6集
奈良 飛鳥

左 2005 年国際文通週間
広重 東海道五十三次 品川



りんろくくさききょうけちのびょうぶ
正倉院宝物 麟鹿草木夾纈屏風と
奈良遷都 1250 年記念切手

表 5 切手になった絵画の
作者と枚数

作者	切手数	備考
酒井抱一	27	琳派
尾形光琳	10	琳派
俵屋宗達	5	琳派
鈴木其一	5	琳派
円山応挙	4	円山派
広重	57	浮世絵
北斎	28	浮世絵
写楽	18	浮世絵
歌麿	15	浮世絵
3代目広重	8	浮世絵
菱川師宣	6	浮世絵
鳥居清長	5	浮世絵
歌川豊国	4	浮世絵
鈴木春信	3	浮世絵
歌川国政	3	浮世絵
狩野秀頼	4	狩野派
狩野探幽	3	狩野派
狩野山楽、山雪	2	狩野派
狩野永徳	1	狩野派
狩野芳崖	1	狩野派
狩野長信	1	狩野派
狩野晴川院	1	狩野派
伊藤若冲	7	
長谷川等伯	5	
棟方志功	4	
横山大観	4	
小林古徑	3	
上村松園	3	
竹久夢二	3	
前田青邨	3	

次に、切手になった
絵画の作者で整理
すると表 5 に示す
とおりであり、浮世
絵に次いで豪華さを
買われ、屏風に多
くの作品を残して
いる琳派の画家が多
い。浮世絵では東海
道五十三次、富嶽
三十六景の作品シ
リーズを描いた、広



広重生誕 200 年、北斎歿後 150 年に発行された文化人切手
重、北斎のトップ 2 人で全切手の約 2% の切手



を描いている。その功であろうか、
それぞれ生誕 200 年、歿後 150 年
で切手に扱われてる。3 番目に多い
酒井抱一は一連の郵政民営化関連切
手 30 種のうち、18 種に使用されて
いるという特異な切手への使用が見
られている。

★スポーツ関係切手を偏見

スポーツシーン、スポーツ関連事
項の切手を整理すると、1947 年第
2 回国民体育大会（以下、国体と略
記）を最初にふるさと切手に 34 種、
特殊切手 265 種の計 299 種の切手
がスポーツ関係切手として整理され
る。これを発行内容別に見ると表 1
に示すとおりであり、毎年発行され
てきた国体切手が多い。

歴史的事項とは 20 世紀デザイン切
手シリーズのスポーツ関連切手であ



郵政民営関連、酒井抱一作品の切手 18 枚
白枠内と余白の楓図は鈴木其一作品

り、全シリーズ170種の20%近くを占めていた。スポーツ関連なしと整理したものは、相撲絵シリーズ15種、慶應150年2種、ブラジル修好100年、歴史と文化の松山（正岡子規、野球姿）がある。この他、表1.発行内容別切手枚数

発行内容	合計
国民体育大会	102
世界選手権大会	50
オリンピック関連	44
歴史的事項	29
05、00年記念	23
アジア国際スポーツ	10
国際スポーツ大会	12
ユニバシアード	6
パラリンピック	2
国内スポーツ大会	2
スポーツ関連なし	19
総計	299

表2.描画内容別切手枚数

関連種目	合計
球技	80
陸上競技	42
格闘技	38
ポスターマスコット	19
氷上スポーツ	19
体操	17
水泳	16
雪上スポーツ	8
障害者スポーツ	8
スポーツ関連施設	8
自転車競技	6
競馬	6
一般体操	4
重量挙げ	4
ヨット	3
弓	3
射撃	3
カヌー	3
馬術	3
パラグライダー	2
ボート	2
熱気球	2
マスゲーム	1
山岳競技	1
聖火ランナー	1
入場行進	1
総計	299

表3.競技種目別切手枚数

競技種目	数
野球	28
サッカー	14
バレーボール	7
卓球	5
バスケット	4
ラグビー	4
バドミントン	3
ハンドボール	3
ホッケー	3
ソフトボール	2
テニス	2
ゴルフ	1
セバタクロ	1
フライングディスク	1
ボーリング	1
ボール	1
m走	11
mハードル	6
走り幅跳	3
ハンマー投	3
三段跳	2
槍投げ	2
走り高跳	2
砲丸投	2
棒高跳	2
マスゲーム	1
マラソン	1
リレー	1
ロードレース	1
駅伝	1
円盤投	1
競歩	1
近代5種	1
障害レース	1
走高飛	1
相撲(相撲絵15)	18
柔道	4
フェンシング	3
ボクシング	3
レスリング	3
プロレス	2
剣道	2
テコンドー	1
空手	1
薙刀	1
フィギュアスケート	11
アイスホッケー	2
スピードスケート	2
ショートトラック	2
ボブスレー	1
カーリング	1



ふるさと切手 歴史と文化の息吹く街 松山



ブラジル修好100年記念切手
雲仙公園(ゴルフ場)、はねつき2種などは考慮したが除外した。

次に、切手に描かれている内容別に整理すると表2の通りである。やはり、ポピュラーなスポーツを描いたものが多い。更に、細かく見ると国体とオリンピック募金切手にのみ描かれたものが散見され、国体切手のスポーツ切手に占める位置を感じる。

種類の多い球技、陸上、格闘技の3競技についてその種目別に示したのが表3である。これら数が競技人口、ファン人口に見合っているかは判断できない。野球を描く切手が非常に多く発行されているがプロ野球関係の切手が20種を占めており、高校野球が3種、社会人(成人)野球が3種、大学野球にいたっては描かれた内容から判断するのが1種(慶應150年)と偏ったものである。陸上競技はトラック競技、フィールド競技に差は無いようである。全競技種目を通じ、その艶やかさからか、フィギュアスケート11種の多いが目立つ。



甲子園開場 中等野球



33回国体 社会人野球



慶應150周年 大学野球

次に、63年間継続して102種発行されている最長寿の国体切手を整理した。国体切手に描かれた競技種目は多く、全て描き終わっているであろうと考えたが、今年の新潟国体正式種目37の中にまだ描かれていない種目が

表4. 国体切手に描かれた競技

競技種目	数
球技	28
陸上競技	21
体操	12
格闘技	11
水泳	5
和洋弓	3
自転車競技	3
カヌー	2
スポーツ施設	2
マスコットキャラクター	2
ヨット	2
射撃競技	2
重量挙げ	2
馬術競技	2
ボート	1
山岳競技	1
聖火ランナー	1
雪上競技	1
氷上競技	1
総計	102

2 種目存在した。ボーリングと驚いたことに銃剣道なる競技種目があり、幸いにも切手に描かれていない。銃剣道とは、大日本帝国陸軍の銃剣術を元に、武道としてスポーツ競技化したとあるが、切手にしてほしくない。

63 年間の国体発行を表5にした。大きく4つの時期に分けられるか。①初期の単色4種グラビアの時期、②2色2種グラビアの時期、③2色2種の凹版の時期、④一番長く続いた選手、県花、風景デザインの多色グラビアの時期、そして⑤ふるさと切手での発行が始まりデザインも統一性

としてではあるが開催地のスタジアムと3種の競技を描く切手が発行されている。今後は、統一された継続性のある発行を期待したい。

④ 22年間続いた選手、県花、風景デザインの多色グラビアの時期



⑤ ふるさと切手で発行統一性を欠き、混乱した時期
右2種はその典型例



表5. 国体切手 63年間の発行状況

年	期間 Y	種類	発行種類			描画内容					印刷 形状 サイズ
			秋 季	夏 季	冬 季	競 技 選 手	県 花	風 景	マ ス コ ット	競 技 場	
1947	1	記念切手	4			○					準正方形
1948	1	記念切手	4		1	○					グレイア
1949	1	記念切手	4	1	2	○					22.5*27mm
1950	1	記念切手	4			○					27*22.5mm
1951-53	3	記念切手	2			○					凹版
1954-58	5	記念切手	2			○					ツル凹版
1959-66	8	記念切手	2			○					縦長方形
1967-71	5	記念切手	1			○	○	○			28*38.5mm
1972-88	17	記念切手	1			○		○			準正方形
1989	1	ふるさと	1			○	○				25*33.5mm
1990	1	ふるさと	1			○		○			準正方形
1991	1	ふるさと	1						○		22.5*27mm
1992	1	記念切手	1			○	○				グレイア
1993	1	記念切手	2			○	○				
1994-96	3	記念切手	1			○	○				
1997	1	記念切手	1			○			○		
1998	1	記念切手	1			○	○				
1999	1	記念切手	1			○	○	○			
2000	1	ふるさと	1			○		○			
2001	1	ふるさと	1			○	○			○	
2002	1	ふるさと	1			○		○		○	
2003	1	ふるさと	1			○	○	○			
2004	1	ふるさと	1			○				○	オフセット
2005	1	ふるさと	1			○	果実			○	
2006	1	ふるさと	1				○		○		
2007	1	ふるさと	1			○	杉				
2008-09	2	ふるさと	4			○			○	○	

を欠き、混乱した時期。この時期、全くスポーツ切手とはとらえられない国体切手が発行されてしまっている。昨年より、ふるさと切手
①初期の単色4種の時期



② 2色2種グラビアの時期



③ 2色2種の凹版の時期



稲葉会員、鎌倉会員 国際切手展で入賞

7月30日から8月4日までソウルで開かれた第24回アジア国際切手展(PHILAKOREA2009)で下記のように、稲葉、鎌倉会員が入賞しました。

大金銀賞

稲葉 良一 満州郵便史 1876-1910 郵便史

部門金銀賞

鎌倉 達敏 震災切手 1923-24 伝統郵趣部門

切手教室

第65回 9月5日

韓国の有形・無形文化財

孫 敬子氏

第66回 10月3日

ちょっと変わった外国のカバー

甲斐 正三氏

第67回 11月7日

切手に描かれた建物

占野 靖長氏

渡辺 勝正会員、早稲田祭で熱弁

11月8日(日)早稲田祭において、大学に出来た、「杉原千畝ブリッジングプロジェクト」という会が主催した、テーマ【「国際人とは何か」杉原千畝から考える】のパネルディスカッションでパネラーとして、日頃から研究している学識に基いた話に熱弁をふるいました。



ユダヤ人のシベリア鉄道利用の経過を説明する渡辺氏

編集後記

かねてより、ご要望の強かった文字の拡大、今号より0.5ポイント大きく14ポイントで作成いたしました。いかがでしょう。

今年も残す日々もわずか、今年も何と多くの切手が目の前を過ぎていったか。1日1枚といってもいい数の切手が発行されました。最初から切手のためにデザインされたものが少なくなっているのを感じざる得ません。写真、絵画等からのデザインの切手が多くなってきたのではないのでしょうか。

この1年、編集にご協力、ご指導ありがとうございました。どうぞ良いお年をお迎えください。

稲門フィラテリー常設展が戸山高校の教材に

磯野 昭彦

平成21年8月1日～11月6日新宿北郵便局で開催した第7回稲門フィラ常設切手展「米国切手にみる第2次世界大戦」は大変な反響がありました。新宿北郵便局の前にある戸山高校の先生方からも高い評価をいただきました。特に社会科(世界史)の村松先生は生徒に「新宿北郵便局で開催中の第2次世界大戦切手は現代史教材としてすばらしいので、この展示を必ず見るように」と指示されたそうです。われわれ稲門フィラテリーとしてはとても嬉しいニュースになりました。

展示終了後、これら展示パネルと以前展示した「米歴代大統領切手」パネルとを戸山高校に寄贈いたしました。



4枚構成のパネルのうちの1枚(全紙大)

発行日: 2009年12月1日

発行: 稲門フィラテリー

発行人: 小西 邦彦

〒150-0002

渋谷区渋谷1-11-3 正栄ビル4F

(株)英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当: 吉沢 忠一 五十野 和男

池澤 克就 小川 義博

稲門フィラテリー

第 35 号

2010 年 3 月 1 日発行

ゴルフ切手（蒐集事始め）

杉山 光雄

勤務先の岡山で初めてゴルフクラブ（アイアンの 7 番）を握って今年で 40 年余り、かつては日曜休日には必ず練習所に通い、月に数回はゴルフコースに出てプレーを楽しんだものだが、時と共に回数も減り、今や月 1 回のプレーがやっとというペースになってしまった。2005 年、丁度 70 歳を迎えたのを契機に、永年、共にプレーを楽しんだ友人仲間と「古希記念」と称してホームコースで、ささやかなコンペを開くことを思いついた。

さて、コンペ開催は決めたものの、何か記念になる品を参加者全員に配りたいと思い、アレヤコレヤと考えたが、中々妙案に思いつかない。そんな折、稲門フィラテリーの小西会長の英国海外郵趣に立ち寄った際、茶飲み話のついでに

「実はゴルフ記念品でいろいろ悩んでいるのだ」と話をすると、彼から「うちに全英オープン記念カバーにグレッグ・ノーマンのサインをしたものがあるよ」とヒントをもらった。現物を見せてもらおうと、まさに、1994 年発行のエジンバラゴルフ 250 年記念の英国切手が貼付され、開催地ターンベリーの消印とノーマンのサイン入り初日カバーだった。私が昔から切手蒐集をやっていることは、仲間も先刻承知のことだし、まして、ゴルフ好きの連中にとっては、ゴルフ発祥の地スコットランドのゴルフ場は憧れの地であり、更に、グレッグ・ノーマンのサイン入りとなれば、最高の記念品になること間違いなしと、その場で決め必要数を確保した。

さて、このような事が有ってから、一体ゴル

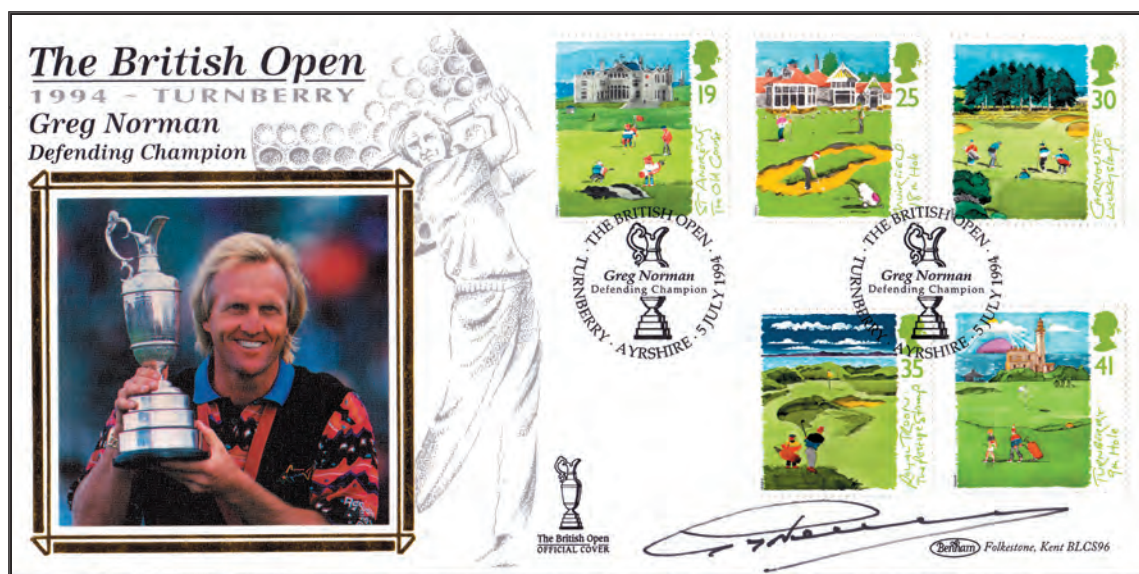


図 1 エジンバラゴルフ 250 周年記念初日カバー グレッグ・ノーマンのサイン入り

フに關した切手はどの位有るのかと思うようになり、ひとつ集めてみようかと思い立った。ゴルフ切手蒐集の始まりだ。爾來4年余、丁度、中学生で切手を集めだした頃のように、手探りでスタートだった。ところが、これが難事



図2 第54回国民体育大会切手のゴルフ

で、手始めは日本切手からと、久しくご無沙汰だったJSPAの日本切手カタログに当たってみたが、中々該当する切手が見つからなかった。しかし、やっと1999年9月発行の第54

回国体記念に「スイングする選手とリンドウの花」図案の50円切手が見つかった。更に、ページを繰るも最後まで終に見あらず、捜し疲れて好い加減にパラパラとページを繰った丁度その時、赤い切手の下に小さく”ゴルフ場(400万枚)”というのが、目に止まった。なんと、1953年11月発行の雲仙国立公園5円切手にゴルフ場が描かれているではないか。小型シートのタトウの中にも「五円ゴルフ場よりみた雲仙主峰」と記されていた。

結局、このときわかったのは、日本で発行されたゴルフ切手はこの2種だけだったという事だった。

◎雲仙は1934年日本で最初に指定された3つの国立公園(瀬戸内海、霧島、雲仙)の1つで、雲仙ゴルフ場は1913年(大正2年)にオープンされた長崎県営ゴルフ場で、日本最古のパブリックコースであった。

◎第54回国体はくくまもと未来国体>として熊本県で夏・秋と開催され、この年に初めてゴルフが国体の正式競技となった。

さて、日本切手は何とかなったが、いざ世界となると雲を掴む思いだ。一時は、あの膨大なSCOTTを虱つぶしにしなければ等と悩んだが、有り難い事に、そこは切手仲間、稲門フィラテリーの皆さんから情報をもらい、小熊先輩からは米国ATAのGOLF PHILATELIC LIST Oct.08を入手していただき、その後スペインのDOMFILのTHEMATIS STAMPS CATALOGUE等も入手でき、段々と蒐集の体勢が整ってきた。

はじめてみて、分った事だが、ゴルフ関連の切手が案外少なかった。また、最初にゴルフ切手を発行したのは、あのゴルフ発祥の地イギリスでなく、また、ゴルフ大国アメリカでもなかった。なんと、それ



図2 最初のゴルフ関連切手 雲仙国立公園切手と小型シート



図3 仏領西アフリカダカール 100 年記念航空切手とゴルフクラブ部分拡大図

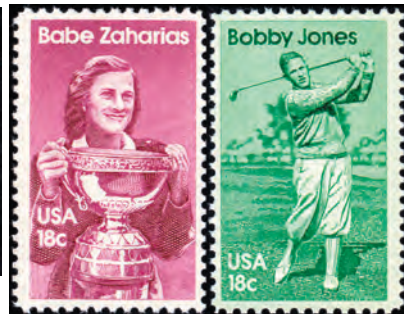


図6 名ゴルファー 2 名を描いた米国切手

は前述の国立公園雲仙

で日本だった。ちなみに第 2 号は 1958 年仏領西アフリカで発行されたダカール 100 年記念航空切手 6 枚中の 1 枚 100F であり、この切手もゴルフが主役とは言えず、主役は BAIE

DE N'GOR の

風景で、その左脇にテニスのラケット、馬の鞍、イカリ等に混じって、2 本のゴルフクラブがゴチャゴチャと小さく描かれたものだ。最初のゴルフ切手らしきものが現れるのは、4 年後

とゴルフ切手が発行されるのだが、どうしてか肝心の英国、米国からはなかなか発行されず、米国の第 1 号は 1981 年スポーツ切手 18c の 2 種、Babe Zaharias と Babby Jones が描かれたものだし、英国第 1 号は前述の 1994 年エディンバラゴルフ 250 周年切手 5 種である。こちらにはイギリスを代表する 5 つのコース、St.Andrews(19P)、Muirfield(25P)、Carnoustie(30P)、Royal Troon(35P)、Turnberry(41P) が描かれており、ゴルファーなら一生に一度はプレーできたらと夢見るコースです。

◎ Babe Zaharias(1914-1956)

本名はミルドレッド・ディドリクソン・ザハリアスで、ベーブとは少女時代に野球で男まさりのホームランを引っ飛ばしたことから、ベブルースにちなんでつけた渾名。陸上のオリンピック選手で 1935 年ゴルフに転向、1946 年全米アマ、1947 年全英女子アマに優勝しプロに転じ、48,50,54 と全米



St.Andrews コース



図4 ゴルフプレイを初めて描いた CAPE VERDE の切手(カーポベルデ諸島・アフリカセネガル西の大西洋上の島)

の 1962 年 CAPE VERDE のスポーツ切手 12.50e で、ショットするプレイヤーとキャディーが描かれている。その後、各国から次々



図5 Muirfield コース

Carnoustie コース

Royal Troon コース

Turnberry コース

女子オープンに優勝、48 - 51 年の間、賞金王となったが、45 歳で早死にした史上最強の女子プロゴルファー。

◎ Bobby Jones(1902-1971)

ゴルフ界の球聖といわれる男子ゴルファー。14 歳で全米アマ、18 歳で全米オープンに出場、21 歳で全米オープン、22 歳で全米アマ優勝、1930 年 28 歳時、1 年間に全英全米両オープン、全英全米両アマに優勝し、アマチュアとして空前絶後の大記録を樹立、また、マスターズトーナメントの舞台であるオーガスタナショナルクラブを作り上げた。

さて、かつては日本でも特別に限られた人たちのスポーツと思われてきたゴルフも、今では、国内 2500 余のゴルフ場があり、年間の利用者も 9000 万人にもなる国民的スポーツとなっているが、このルーツについては過去から種々取りざたされ、専門に研究もされている。

それらによるとゴルフに似たゲームは古代のエジプト、ギリシャ、ローマ時代からインド、アメリカ大陸、そして、中国、日本等にも見られたようだが、どれもゴルフの起源としては決め手がない。

『われわれの見るところ、ゴルフのルーツは、はるか 13 世紀のフランスで流行したクロスというゲームにある。このクロスというゲームが、その後の歴史的展開の中で 14 世紀中葉には今日のベルギーに伝播



図7 「捶丸」というゲームを描く中国切手

し、そして同じく 14 世紀末にはオランダに伝来し、15 世紀前後にスコットランド東海岸に伝播し、その地で今日のゴルフへと

成長した』とされる村山登志夫氏の説を採りたい。(ゴルフのルーツを探る 井山登志夫 中央公論事業出版)

これらに関する切手は 1986 年中国が「古代中国のスポーツ」として発行した 10 分の切手がある。これは「捶丸」というゲームで、元の時代には既にあった様である。

時代は下り、現在のゴルフとしてはオルダニー から "ALDERNEY PAST TIMES GOLF EQUIPMENT THROUGH THE AGES" として 5 種類の切手が 2001 年に発行されている。これは 1901 年当時の初期の羽毛をつめて作った Feathery というゴルフボールや、1920 年代の女性ゴルファーのファッション等、興味深いものが描かれている。

ゴルフ切手を集めているとゴルファーとしても、更に沢山の楽しみがある。例えば、いまだ行ったことのない世界の超名門コースの情景、クラブハウスのたたずまい、周辺の景観等を切手を通して目のあたりにすることができる

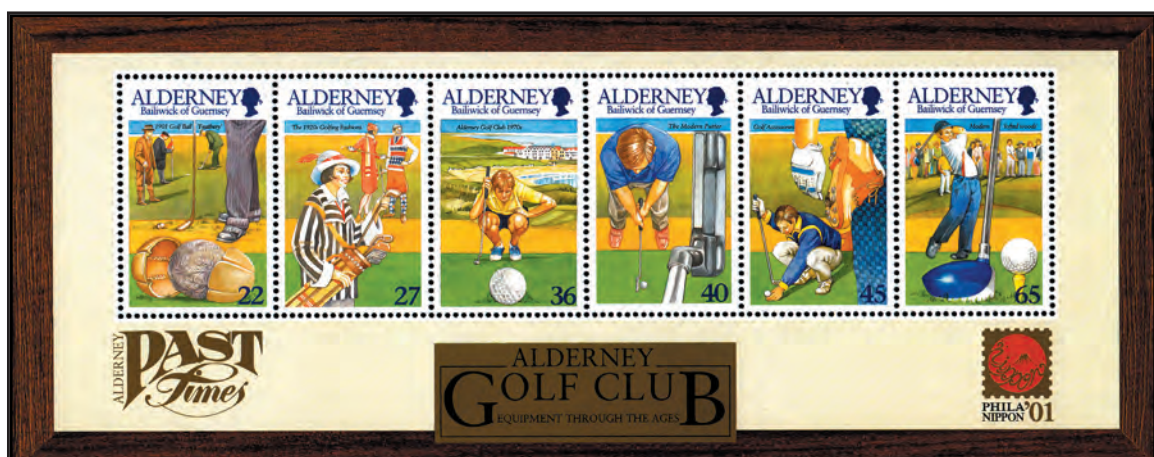


図8 オルダニー発行、オルダニー（フランス・シェルブール沖西、大西洋の英領チャンネル諸島の1つの島）におけるゴルフの歴史を描いた切手



図9 ネイビス（プエルトリコの東、カリブ海の島）発行のオーガスタ等、9ヶ所の有名ゴルフコースを描いた切手



図10 セントビンセント（ベネゼラ・オリノコ川河口沖の一連の島）発行の有名ゴルファーを描いた切手



左
図11 AOKI と NAKAJIMA を間違えて描いたタンザニアの切手

し、なかなかお目に掛れない外国の有名ゴルファーの姿等にも、接することができる。NEVIS 発行の”世界の有名コース”シリーズには米国のオーガスタナショナル、プライベートコースのサイプレスポイント、ロシアのモスクワ、カントリークラブ等、9ヶ所の有名コースが描かれているし、St.Vincent からは1991年ゲーリープレーヤ、ジャックニクラス等の名プレーヤー8名の描かれた切手が発行されている。

1989年にはタンザニアから日本の中島常幸、青木功が登場するが、残念なことに中島と青木の名前が入れ違っている。これらは日本人のプレーヤーとしては再度発行しなおしてもらいたいと思うのだが、まだまだ、いろいろ興味は尽きない。

さて、昨年、6年後に開催されるブラジルオリンピックではゴルフが正式競技として採用されることが決まり、日本でも石川遼という若々しいホープが出現するという嬉しいニュースが飛び出している。従って、内外ともにゴルフ切手もますます増えてくるのではないかと大いに期待している今日この頃です。

長崎の初期郵便印：不統一印と N1B1 印

坂下 泰一

長崎の不統一印 (図 1)

明治 4 年 3 月 1 日にわが国に新しい郵便制度が東京・大阪間で創設されて、まだ 1 年も経たない明治 4 年 12 月 5 日には、長崎まで郵便路線は拡張され、長崎に郵便取扱所が開設された。また、この日、郵便料金が改正になり、宛先別料金制から、距離による 5 段階料金制に、また基本重量も 5 匁から 2 匁に変更になった。図 1 は長崎郵便取扱所 (6 年に一等郵便役所に昇格) で使用された初期郵便印 (不統一印) である。開設まもない明治 4 年 12 月の使用例は、さすがに未発見であるが、「長崎郵便役所」(A) で抹消した 5 年 2 月 3 日のカバーが 1 通知られている (鳴美の「不統一印Ⅲ」による)。このカバーが今のところ一番早い使用例だろう。竜文切手をこの (A) で抹消した単片

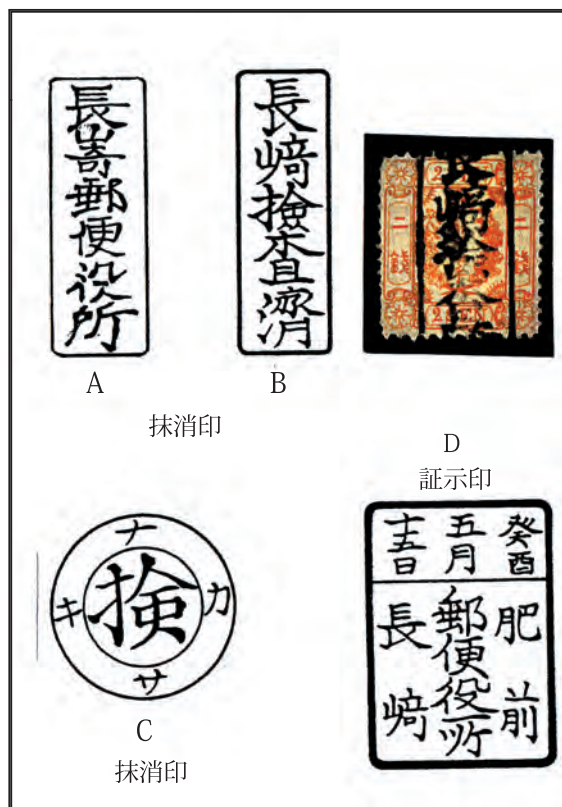


図 1 長崎の不統一印

が何枚か存在する。(B) の「長崎検査済」の最初期使用例は 5 年 5 月 6 日 (鳴美・同上)。(C) の最初期使用例は 6 年 9 月 7 日 (鳴美・同上) で、記番印イウー六号が登場する 7 年の末頃まで抹消印として使用された。角型の「干支入日付印」である (D) は (A) や (B) の差立証示印として、N1B1 印に取って代わられるまで使用された。

長崎の N1B1 印 (図 2)

25 里以内 100 文 (最低料金)、50 里以内 200 文、200 里以上 500 文 (最高料金) 等、距離により料金を 5 段階に分けて徴収する従来の複雑な料金制を、全国一律同一料金にするという大改正が明治 6 年 4 月 1 日から実施された。それに伴って局名、年月日、便号が 1 度の押印で表示できる便利な二重丸型日付印 (N1B1 印) が 3 府 5 港の郵便役所に支給された。5 港の 1 つである長崎にもこの N1B1 印が 4 月の始めには届けられた (「手彫切手の楽しみ NO.5」 「手彫切手に見る二重丸型日付印の分類」を参照)。



図 2 長崎の N1B1 印

N1B1 長崎の「崎」の字体 (図 3)

長崎の字体は、東京、大阪や神戸等の字体と同様に、初期のものは小さくて、弱々しいが、後から支給されたものは大きく、のびのびした感じを与える。

1)「崎」の字体によって次の2つに分類できる。
(大型)「タイプA」:「崎」の隣の1画から3

画が「大」の字を作る。

「可」の字の口が横にやや長い(長方形)。

(立型)「タイプB」:隣の1画から5画が「立」^{つくり}の字を作る。

「可」の字の口がやや小さく、四角に見える。

この(大型)、(立型)は、更にそれぞれ2つに分類することが可能である。

(大型)「タイプA1」:「長崎」の字体が全体的に小さく、弱々しい感じを与える。

偏の「山」の2画の横棒が「可」の1画と同じ高さで接している。

「口」が「山」の横棒より下にある。

「タイプA2」:「長崎」の字体が「タイプA1」に比べ大きく堂々としている感じ。

「山」の3画の先に「可」の字の1画が接している。

(立型)「タイプB1」:「立」の4画が「可」の5画とが横にすこしずれている。

「タイプB2」:「立」の4画と「可」の5画の先端が接している。

「タイプB2」は、「タイプB1」より後から使用されたと思われる。

長崎の抹消印データの分析 (表 1)

1)N1B1の抹消印の初期使用例として、和紙赤2銭2版のN1B1長崎(大型)6.8.7朝(朱印)があるが、これは極めて早い使用例である。6年使用は、この8月の1例を除けば、後は11月、12月の使用例があるだけである。N1B1印の最初期使用例は明治6年4月22日(朱印)の証示印で、「長崎検査済」で抹消されたカバーである(中川氏編「続初期消印集成」)。証示印も6年使用は、6例だけで、非常に少ない。



図3 長崎の「崎」の字体

6年にはまだ(B)、(C)や(D)等の不統一印が使用されていたので、6年使用のN1B1長崎には注目したい。

2)6年使用の便号はすべて朝便で、タイプは(大型)「タイプA」である(図3)。

3)7年に入ると8月まで(6月の夕便1例を除いて)便号はすべて朝便で、タイプは(立型)「タイプB」である。このことから長崎に最初に支給されたN1B1印は(大型)であったが、7年に入ると、長崎の不統一印の「崎」の字体が(A)の「大」から(B)の「立」へ替わったように(図1)、「崎」のタイプが(大型)から(立型)に変更になっている。

4)7年9月～12月の朝便は、郵便量増大のため

表1 長崎抹消印データ

便	年		明治6年			明治7年												月	不明
	月		8	11	12	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12				
午後便	タイプ																		
	大型												1	2	0		(1)		
	立型												3	2	1				
	型不明													(1)					
	計												4	5	1			11	
朝便	タイプ																		
	大型	1	4	2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	0				
	立型	0	0	0	1	1	1	6	6	3	6	4	3	2					
	型不明							(2)				(1)							
	計	1	4	2	1	1	1	8	6	3	8	6	7	2				50	
夕便	タイプ																		
	大型								1										
	立型								0										
	計								1									1	

めか、(大型)と(立型)との混用が認められる。

5)7年10月～11月の午後便も(大型)と(立型)との混用である。

6)N1B1長崎(立型)7年12月8日朝便がN1B1の抹消印の最後期使用例である。その後は記番印イウー六号が抹消印として使用された。8年以降はすべて(立型)が証示印として使用されている。証示印としての最後期使用例は7年12月15日(「二重丸型日付印精集」)。

長崎の午後便について(表2)

6、7年代の長崎の郵便取扱量は、東京、大

表2 長崎の午後便(抹消印)のデータ

和紙黄色2銭7版 単片	N1B1長崎(立型)7. 10. 15午後	(全日展手彫切手研究会展示)
和紙黄2銭単貼カバー	N1B1長崎(立型)7. 10. 23午後(抹消印)	
和紙黄色2銭Ⅱ 単片	N1B1長崎(大型)7. 10. 24朝(証示印)	(辻氏蔵)
	N1B1長崎(大型)7. 10. 23午後	(タカハシ369)
和紙黄色2銭Ⅲ 単片	N1B1長崎(大型)7. 10. 29午後	(辻氏蔵)
和紙黄色2銭 単片	N1B1長崎(立型)7. 10. 30午後	(辻氏蔵)
和紙黄色2銭Ⅱ 単片	N1B1長崎(大型)7. 11. 5午後	()
和紙黄2銭単+洋紙紫6銭レ単貼書留便カバー	N1B1長崎(立型)7. 11. 10午後(抹消印)	
	N1B1長崎(大型)7. 11. 11朝(証示印), N1B1大阪7. 11. 16朝(到着印)	
	(二重丸型日付印精集[沢氏本], フィラ関西4号)	
和紙黄2銭1版23番単片	N1B1長崎(立型)7. 11. 10午後	[上記のカバーと同じ日付](坂下蔵)
和紙青色1銭 単片	N1B1長崎(大型)7. 11. 22午後	(辻氏蔵)
洋紙赤4銭ブッチ14版23番[枠の一部落ち]	N1B1長崎()7. 11. 25午後	(MSA 187)
和紙黄色2銭Ⅲ 単片	N1B1長崎(立型)7. 12. 1午後	(タカハシカラー即売2008. 6. 30)

阪、京都、横浜や神戸と比べるとはるかに少なかった。これらの大局は1日6便(京都は5便)であったが、長崎は、午後便と朝便の2便(夕便は、抹消印と証示印に各1例ずつ、午前便は証示印に数例あるだけ)であったことから推測できる。また、N1B1長崎の抹消印は朝便ばかりで、午後便は極めて少ない。それに関して、沢まもる氏はその著書「二重丸型日付印精集」の中で次のように述べている。

「これは、長崎の差立便は常に午前中の1回限りで、午後になってからの発信はなかったことを意味している。ただ、たまたま受け付ける書留便に関してのみ、午後と表示したN1B1印で抹消しておき、差し立ては翌朝に回した。従って、午後便は4銭か6銭の書留便使用のものが多はずだ。」

当時の郵便規則により、書留便を差し出す時は、必ず役所へ持参して、請取証を請取り、決して郵便箱へ差入れてはならなかった。わざわざ午後に持参した書留便に朝の印を押すわけにも行かず、郵便物と請取証の両方に、午後と表示したN1B1印を押した、と思われる。従って、

4銭や6銭の書留便に午後便が多いであろうことは理解できる。が、実際に午後便の抹消印11例(表2)を調べてみると次のような結果だった。

和紙青1銭1例、和紙黄色2銭8例、洋紙赤4銭ブッチ4銭1例、洋紙紫6銭レ1例。

わずか11例のデータではあるが、書留便使用の4銭と6銭はたった2例に過ぎず、大部分は普通便使用と思われる和紙黄色2銭で

あった。これは、午後便の抹消が必ずしも書留便に限らない事を表している。図4(中、左)は午後便で抹消した書留便(N1B1 長崎 7.11.10 午後便)と普通便(N1B1 長崎 7.10.23 午後便)の使用例である。このことから、書留便でなくても郵便局に持ち込めば午後であれば午後の便号で抹消してくれたと思われる。郵便物を差し立てる前であれば、書留便でも朝の便号で抹消したであろう。図4(右)に和紙4銭ペア貼書留便カバーの朝便(N1B1 長崎 7.10.10)の使用例がある。

また、表1のデータで注目したいのは、午後便は7年の10月と11月の2カ月に集中しており、それより以前は出てこない事である。もちろん、データの不足もあるだろうが、当時はまだ書留を利用することが一般的でなかったのかもしれない。

なお、データの集積に当たって、次のものを参考にさせてもらった。多くの収集家のコレクション、各種のオークション誌、郵趣雑誌、郵趣文献、切手研究書等。

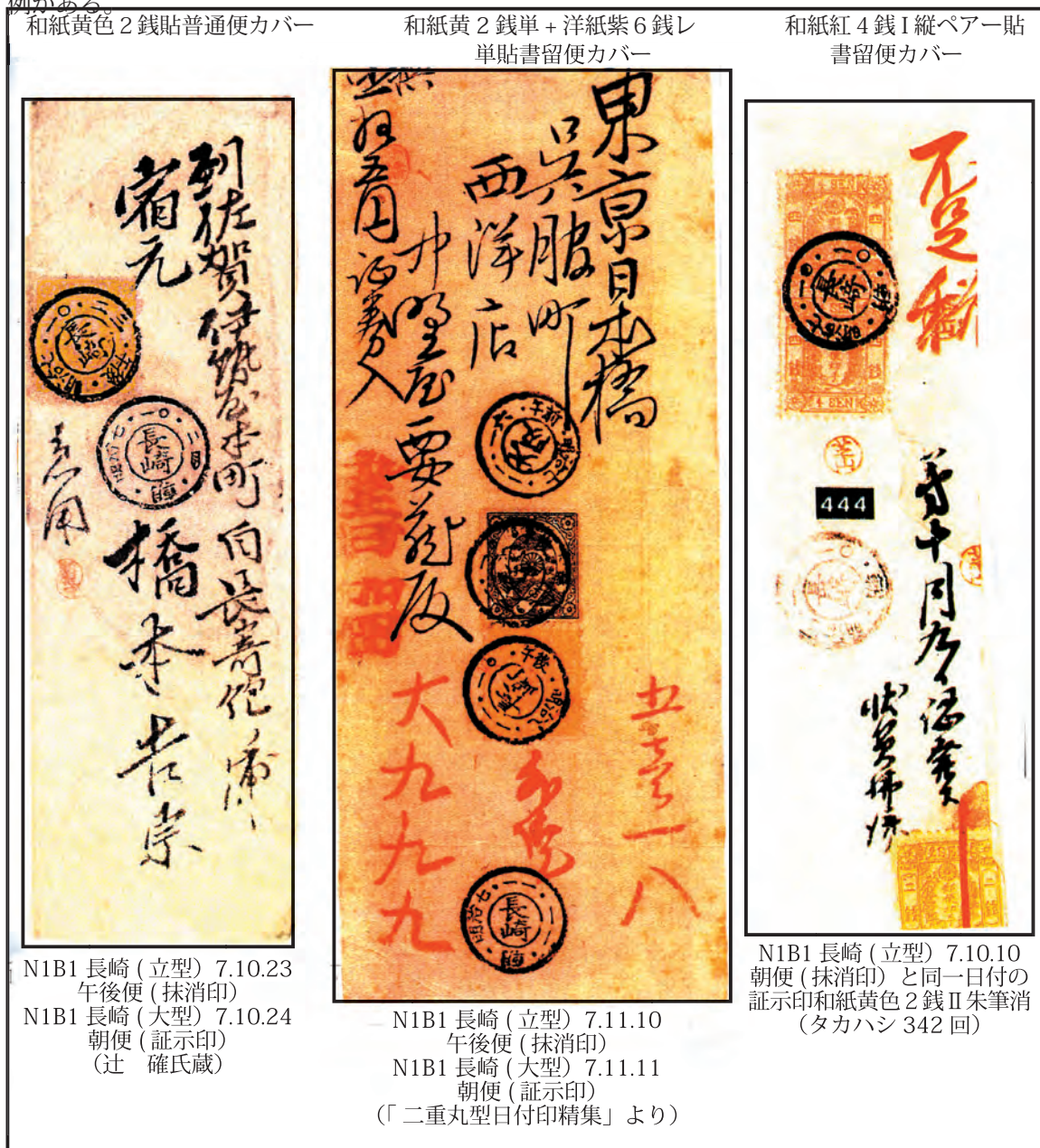


図4 午後便で抹消した書留便と普通便、朝便で抹消した書留便

三宅島の記

池山 眞彦

昭和35年、早大切手研究会は60年安保闘争の挫折感、虚脱感を抱えたまま、伊豆三宅島への夏季合宿を敢行した。



合宿集合写真と坪田郵便局風景印



郵便はがき

それから星霜50年、すっかり近代的なデートスポットに変身した竹芝の栈橋には、秩父の歴史研究家、長谷部下駄吉。小日向の怪人、小川編集幹事。真実一路、

池山の嘘月。何れも生々流転、移ろい流れゆく白髪三人男。薄曇りの栈橋には怪しく島送りのくさるび丸が停泊している。

「三宅島で十三夜の月を愛でる」という、多感な感性を持ちつつも、ひたすら50年後の島の姿を知りたくて、先ずは奮発して特二等船室の簡易ベッドにもぐり込む。

早朝5時、ぼんやりと照る街灯がなにやら寂しい三宅島錆が浜港には、南国特有の生温かい潮風が漂う。下船客の流れに身をまかせながら、車溜まりに目を凝らすが何故か出迎えの車が見当たらない。行く末の不安が現実の形となって重くのしかかる。

坪田港を見下ろす船宿民宿「天狗屋」に旅装を解き、ひと時の仮り寝の後、心づくしの朝飯で生気を取り戻す。これからの行動は、編集長統率のもと、切手研OBとして品位、品格を失うことのないよう厳しく戒めねばならない。まずは全島周辺探索と全郵便局踏破を目指して反時計廻り一周を試みる。

この郵便局は全部で5局、三宅島、三宅島伊豆、三宅島伊ヶ谷、三宅島阿古、坪田、しかも全てに風景印が置かれているという。

お供のレンタカーは走行11万キロ、吐くエンジン音にかなりの不安をかかえる軽自動車。三宅島空港の脇を通り過ぎると、いきなり坪田高濃度地区にはいる。現在でも風向きによって二酸化硫黄が流れる島唯一



三宅島5つの郵便局風景印

の危険地区である。車両での通行には支障を来さないものの、未だに居住が許されないゴーストタウン。道路の左右には打ち捨てられた廃屋が並び、人の姿は全く見られない。山の斜面には立ち枯れた木々が一面に突き刺さっている。島には不釣り合いな近代的旧役場が往時の姿そのままに周囲を威圧している。

昭和37年噴火によってできた三七山の駐車場からは、ひょうたん山、更には名勝赤場暁が海に落ち込んでおり、周囲は噴火跡の溶岩と褐色の大砂漠がつらなる。



鳥居が溶岩流に埋まる椎取神社

色の大砂漠がつらなる。

椎取神社の周辺は無数の白い木立が異様な雰囲気醸している。以前は鬱蒼と繁る大樹の原生林だと思われるが、2000年の噴火の際、境内も溶岩流に埋もれてしまい、地上に姿をみせる鳥居の上部と拝殿の屋根が静かに存在感を誇示している。



くさや作り

神着地区に入ると辺りの景観は一変し、昔日の面影そのままに、「花は紅、柳は緑」二度に亘る大噴火の姿は全く見当たらない。しばらく行くと突然「くさや」の看板。こじんまりした工場では地元産の丸々としたむろあじの腹を裂いているところであった。地下のつぼに保管してあったくさや液、乾燥室など噴火の際の苦労話を聞いていると島の伝統を守り抜く決意がひ



三宅島旧島役所



浅沼稻次郎銅像

しひしと伝わってくる。島節「わたしや三宅のくさやの干物、主に焼かれて身を焦がす。」伊豆諸島最古の木造建築であり、東京都の文化財に指定されている三宅島旧島役所は50年前と全く違わぬ佇まいを見せてくれ、植生されている蘇鉄さえも懐かしい。傍らには篤姫ゆかりと称する蘇鉄もあったが、何となく気に入らない。往時と同じポジションで写真を撮る。そこから5分程石垣の急坂を上ると、ヌマさんこと校友の大先輩、浅沼稻次郎の生家がある。周囲は公園になっており、清楚な佇まいながら手入れも行き届いた家屋には未だ整理されていない遺産がさりげなく飾られていた。片手を高く上げた等身大の銅像は在りし日の「人間機関車」そのままであった。来島2ヶ月後の昭和35年10月12日、日比谷公会堂で右翼の少年山口二也に刺殺された瞬間が生々しく目に焼き付いている。

あの夏の日、坪田から額アジサイの大群落を縫って雄山の頂上を目指した30数名の彷徨、頂上付近の広々と横たう緑の絨毯、尾根筋から望む火口、足もとに広がる海原、ドラム缶から掬った僅かな飲み水、大縦走の果て残ったわずかな記憶を辿れば、下山した場所はどれもこの



天水槽

地、神着だったと思われるが、よく覚えていない。疲労困憊は記憶に留める余力を残さなかったのかもしれない。大久保浜は翌日遊んだ癒しの

浜であった。

三宅島伊豆郵便局は周遊道路から一歩中に入った小学校の跡地にあった。その入口に「小金井小次郎の井戸」の案内。江戸の侠客新門辰五郎と義兄弟の契りを結ぶ小金井小次郎は3000人の子分を抱える多摩の大親分。賭博、喧嘩の罪で12年間に及ぶ島流しの刑に処せられたが、島人達が水に苦しむ姿を目にして貯水池をつくり、現在でも敬愛されている人物である。水の乏しかったこの島には今でも随所に雨水を樋を使って集める貯水槽（天水）がのこっている。

伊ヶ谷港への急坂を下って行くと、海からの強風を避けるため、石垣を施した家々が急斜面にへばりついている。碧い海原を見渡す墓地の一角に、木挽町山村座の人気役者と大奥御年寄の風紀肅清事件、「絵島生島事件」の生島新五郎の墓がある。位牌型の墓の彼方は信州高遠か・・・在島20数年、「花の絵島が唐糸ならば たぐりよせたい膝もとへ」麓から雄山を見上げると、頂上付近から溶岩流の跡が黒々と枝分かれしなごら目前に迫ってくる。昭和58年の噴火に伴う阿古の溶岩流である。かつての



溶岩流に埋まる阿古中学校

遊歩道の下に

あった島人達の生活空間に思いを馳せると、一步一步の足運びが自然と重くなるようだ。

錆が浜港を右に見て、さらに溶岩流を縫って走ると坪田である。50年前、宿泊した木造の三宅高校は周囲をフェンスで囲んだ立派な3階



50年前、舁で下船した坪田港



集合写真に写る 50 年前の三宅高校



現在の三宅高校

建ての鉄筋校舎に変身していた。往時の佇まいを確認するため、職員室に立ち寄り、若い先生たちと写真をひろげながら談笑する。

全島探索を終え、しばし休憩する。太平洋に落ちる釣瓶落としの夕日を見んものと、阿古の「ふるさとの湯」へ急ぐ。やや黄身がかったナトリウム温泉、塩味を確認しながら昨日来の疲れを解きほぐす。露天風呂から眺める雄大な落日から目を転ずると、すでに十三夜の月が明るく山の端を照らしていた。

かんぱち、しまあじ、かつお、さざえなど新鮮な海の食事をしながら、テレビに見入っていると、画面と同じ顔をした青年が隣のテーブルに座っていた。釣り番組でお馴染みの高橋哲也氏であった。ここは彼の実家であり、屋号の天狗屋は釣り天狗の天狗であったのだ。同宿の女性の一団、明日雄山で植林をすると云う。

翌日は快晴、強風。沖合では幾重にも白波が立っていた。伊豆諸島とトカラ列島にしか住んでいない鳥アカコッコ（天然記念物）を冠して作られた自然ふれあいセンター「アカコッコ館」には島の成り立ちや自然に関する写真や展示物が数多く設置されており、学芸員から説明を聞きながら、早速バードウォッチングを兼ねた大路池散策へと出発した。大路池は約 2000 年前の噴火跡に水が溜まって



アカコッコ



大路池

できたといわれ、周囲の椎の原生林では 200 種以上の野鳥が見られるという。狭い急な山

道を下って行くと、樹齢 600 年以上といわれる巨樹に出合った。その昔、噴火は神のなせるわざと考え、御神火と呼び神を祀った。この木は神の宿る神木とされ大切に守られてきたという。又この木を目標にすれば助かるということから「迷子椎」と呼ばれるそうだ。原生林に囲まれた大路池は静寂そのもの、水面には多数の水鳥が群れをなして泳いでいる。確かに野鳥好きの人には堪えられない聖域のよう



「迷子椎」と呼ばれる椎の巨木 感。

途中、昭和 58 年の溶岩流に伴う水蒸気爆発ですっかり姿を変え単なる窪地となった新濤池跡、更には海岸に噴出した新鼻新山を眺めながら、伊豆七島総鎮守の、富賀神社へむかう。総鎮守といえば、古色蒼然、鬱蒼たる神社の杜、を描きつつ参道を行くのだが……。意外や何と明るく広々とした境内には真新しい拝殿や社務所、参道、鳥居まで艶やかな肌を見せていた。度重なる火山や台風に耐えきれず、2 年前につくりかえられ唯一本殿に向かう石段にのみ往時の荘厳さが残る。かすかに硫黄のにおいが混ざる阿古の高濃度地区にあるだけに人の姿はなく、神社の杜も巨木はなく、白骨化した枝や幹が青空に輝いている。祭神は大国主命の



白骨化した木々に囲まれた富賀神社

息子、事代主命。出雲から紀州を経て三宅島へ渡り、島々に漁業や農業を伝えたえびすさん、静岡の三島神社発祥の地と言われている。今年 8 月に行われた大祭は島 5 地区を一週間をかけて巡回する勇壮な祭りです。十数年振りに念願の復活をはたしたそうだ。

溶岩流が海に落ち込む富賀浜自然公園海岸か

らは三本嶽をはるかに望む太平洋、そして山側にはすすきの原の彼方に雄山、大溶岩流等雄大な360度の展望を見せてくれる。

どこまで行けるか、期待と不安を胸に「雄山9キロ」の標識を山側の道に入る。当初は快適なハイウェイだがそれも僅か、急な狭い砂利道に突入、車に実力以上の能力発揮を期待して慎重に運転する。徐々に高度を上げると溶岩流の彼方に家々の屋根や海が鈍く光っている。

天候がやや怪しげになってきたが、臆することなく周囲の景観に目をフル回転しながら驚愕し続ける。林立する無数の枯木とすすきの草原、覆いかぶさる溶岩流の裂け目、崩れ落ちたガードレール、苦しいエンジン音だけが無常に響く。男たちは黙って唾を飲み込む……。突然目の前が開けるとかつての牧場公園の跡だった。緑鮮やかな高原牧場、草を食む牧牛達、光り輝く日の光、飛び交う子供達の歓声、すべてが黒と灰色と茶褐色に覆われている。広い駐車場に立つ鉄骨むき出しのレストハウスや切れた電線、「立ち入り禁止」の看板が異様に目立つ。



林立する無数の枯木とすすきの草原、崩れ落ちたガードレール

頂上直下の駐車場までの道路が灰色に煙っている。坪田への林道が蛇行をしながら枯れ木の間を縫っている。先ほど出合った二人連れはガスマスクをつけていたなあ。雲が垂れこみ、風がでてきた。空気の流れが気になり早々に戻ることとした。

最終日、出港までの時間を坪田地区の散策にでかける。港へ向かうだら道を下って行くと、庭に椿の実が干してあった。しばらく眺めていると、「以前はこの島にも椿油の工場があった。今はちょっとしたお小使いさ!」、と笑顔のおばあさん。庭先を覗くと確かに椿畑であった。

坪田港には数席の遊漁船が係留されているだけで目の前の大防潮堤のため海は全く見えない。連絡船から船に移った緊張感は既に記憶の枠外へと去りつつある。今、この港には連絡船は着かない。栈橋から大きな荷物を担いでだら坂を上った記憶はあるものの、長かったのか、苦しかったのか、三宅高校までの道程は定かでない。石垣の続く狭い道に入ると赤い腹をしたアカコッコがあたりを睥睨していた。樹々の間からは野鳥のなき声が仲間を呼んでいる。

周遊道路を越え更に上ると、椿や椎の照葉樹が繁茂し、足もとには明日葉が所狭しと群生している。椿の実を拾いながらのんびりと歩を進めると、立ち上がる草焼きの向こうに遠く、御蔵島が煙っていた。

帰りの船は風の関係で高濃度地区にある三池港である。雄山直下、見通しのいい広々とした風景の中に、むなしく建つ近代的な堂々とした旅客ターミナルや大栈橋は島発展の象徴だったのだろうか。雄山頂上に向かっての白く輝く木立の波を見る限り、この地は古来より神の通りみち、侵すべからざる神域だったような気がする。

黒々と横たわる大島を左舷に見ながら、甲板で寛ぐ。遠く房総の山並みや点滅する灯台を眺めながら感慨に耽る三人男の心には、島の安寧と人々の早期帰島を願う気持ちで充溢していた。6時間の船旅の終焉は雨の竹芝栈橋であった。



2001年 東京ふるさと切手



お年玉くじ付年賀はがき等のあたり目について

佐藤 隆之

初めに

私が日本郵趣協会の会員になった頃、「海外の日本切手収集家のためにお年玉小型シートを高価で買入れます。」という広告を目にしたことがある。海外の日本切手収集家にも、これだけの関心を持たれているのだから、日本の切手収集家なら収集分野、収集レベルを問わず、お年玉くじ付き年賀はがき、年賀切手の抽選結果には関心があることだろう。

ところで、週末の夕刊紙をみると、多くの競馬評論家がさまざまな視点から予想を立てている。血統を重視する評論家あり、馬と騎手との相性に重きを置く評論家ありという具合である。その中に出目すなわち、ここ数年来の重賞レースの結果で何番が出ているかに重きをおいた予想をする者もいる。そこで、年賀はがき、年賀切手のくじのあたり目はどのようになっているかを、お年玉小型シートの当選番号から探ろうとした。

調査方法・結果

早稲田大学中央図書館に蔵書されている朝日新聞縮刷版及び官報マイクロフィルムから年賀はがき等の当選番号を調べる。(表 1)

考察

上記の結果を踏まえ、気が付いたことは以下のとおりである。

1. 当たりの出ていない数は 13 個と思ったより少なかった。ただし一方で 50、60、70 と区切りのよい番号が未だに未当選となっている。

2. 10 の位が同じ数での当りは最近みられなくなった。これは、最近の末等が 100 枚につき 2 枚に減少しているためだと思われる。

3. 10 の位の 9 の当りは、昭和、平成を問わず頻繁にでている。

4. 長期にわたり当選にならない例が存在する。具体的には昭和 29 年用から昭和 40 年用までの 60 番代 及び昭和 43 年用から昭和 61 年用の 50 番代がある。

5. 2 年連続で同じ番号 (10 の位 = 1 の位) となる例は比較的多い。

私流抽選予測

これの結果、考察から私流に平成 22 年用はがきのあたり目を 3 点 (年賀はがき、年賀切手の末等は 2 点だが) を挙げてみた。

予測番号

22

今年は平成 22 年であり、他のぞろ目が既に当選しているため。また 20 番代のあたりも平成 13 年を最後に当選していないため。

50

考察 1. でも指摘したように区切りのある番号の未当選番号であるため。

93

90 番代最後の未当選番号であるため。

以上は、すべて、外れであった。

最後に この当選番号の表は、更に拡大して、毎年の自分、家族、職場、その年のニュースなどを書いていくと 自分の歩みを記す資料になるであろう。ぜひ継続をお勧めしたい。

マイクロフィルムの資料を参照した際、初めての使用だったので、使い方がわからなかったが、図書館職員の方が丁寧に操作方法を教えて下さった。特にマイクロフィルムでしか調べられなかったのが、お年玉つき年賀はがきの最初の発行である 昭和 25 年用だったので、充実した蔵書を持つ母校に 感謝したい。

表 1 の結果からまとめると

順位	数字	当選回
1	80	5
2	10	4
2	36	4
2	43	4
2	49	4
2	74	4
2	77	4
2	90	4
2	94	4
2	98	4
2	99	4

番号	当選率
00 ~ 9	7%
10 ~ 19	11%
20 ~ 29	7%
30 ~ 39	13%
40 ~ 49	10%
50 ~ 59	8%
60 ~ 69	8%
70 ~ 79	10%
80 ~ 89	11%
90 ~ 99	15%

表1 各年における年賀はがき、くじ付年賀切手の末等当選番号

年		00～09	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～99	当選数
平成 22 年	2010 年	00					52					2
平成 21 年	2009 年					46					94	2
平成 20 年	2008 年				37			64				2
平成 19 年	2007 年							64	79			2
平成 18 年	2006 年	07					51					2
平成 17 年	2005 年		16		34			64				3
平成 16 年	2004 年		10			43				83		3
平成 15 年	2003 年		18				51		74			3
平成 14 年	2002 年					43	54、58					3
平成 13 年	2001 年			27					75、77			3
平成 12 年	2000 年				33		57			88		3
平成 11 年	1999 年								74、77		97	3
平成 10 年	1998 年			23						89	95	3
平成 9 年	1997 年		10				59				96	3
平成 8 年	1996 年		15		31			69				3
平成 7 年	1995 年					44、49				80		3
平成 6 年	1994 年	00					55				90	3
平成 5 年	1993 年		19		36			65				3
平成 4 年	1992 年		19	20					75	86		4
平成 3 年	1991 年		14	20、21						80		4
平成 2 年	1990 年				35		52		73			3
昭和 64 年	1989 年					49				87	99	3
昭和 63 年	1988 年		12				53	63				3
昭和 62 年	1987 年				33		56			87		3
昭和 61 年	1986 年	03			39			63				3
昭和 60 年	1985 年		11	23					72			3
昭和 59 年	1984 年			27				67			92	3
昭和 58 年	1983 年				32			67			94	3
昭和 57 年	1982 年		23			43					96	3
昭和 56 年	1981 年				36	44			76			3
昭和 55 年	1980 年					41		61		81		3
昭和 54 年	1979 年		13			44				81		3
昭和 53 年	1978 年							61	71		99	3
昭和 52 年	1977 年	02,08	10									3
昭和 51 年	1976 年					40			77	84		3
昭和 50 年	1975 年				39	48				80		3
昭和 49 年	1974 年		13							80	97	3
昭和 48 年	1973 年				34			66			99	3
昭和 47 年	1972 年			24						86	98	3
昭和 46 年	1971 年		15,17,19									3
昭和 45 年	1970 年		16		33,35							3
昭和 44 年	1969 年	08				49			74			3
昭和 43 年	1968 年				38				75		91	3
昭和 42 年	1967 年				36		57				91	3
昭和 41 年	1966 年		12、16					67				3
昭和 40 年	1965 年				36	47			73			3
昭和 39 年	1964 年	07		29		43						3
昭和 38 年	1963 年			27	31		58					3
昭和 37 年	1962 年	02								80	91	3
昭和 36 年	1961 年					49			77		94	3
昭和 35 年	1960 年									86	90,98	3
昭和 34 年	1959 年			25							90,98	3
昭和 33 年	1958 年									82,85	98	3
昭和 32 年	1957 年				35				74	88		3
昭和 31 年	1956 年	03			39	45						3
昭和 30 年	1955 年	05	10				57					3
昭和 29 年	1954 年						51			87	90	3
昭和 28 年	1953 年	03,09						68				3
昭和 27 年	1952 年				32	48					99	3
昭和 26 年	1951 年				31,38		59					3
昭和 25 年	1950 年										94,96	2
当たりの出た回数		13	20	12	23	18	16	14	17	20	26	179
当たりの出していない 番号	01 04 06	なし	22 26 28		30	42	50	60 62	70 78	なし	93	

切手偏見



年間 41 件 350 種以上も発行されるようになってしまった日本切手。これだけ発行されていれば、過去に遡って調べれば年間を通じて切手の発行されていない日はないのではないかと。どなたの誕生日も切手が発行されており、楽しめるのではないかとこの思いから切手発行日という切り口で整理を意図し、日本切手 DB を操作してみた。このようなくだらん試みで紙面を汚すことをお許し願いたい。

ここで留意すべきは過去と現在の切手の発行の内容の相違である。発行件数と切手種類数（以後枚数）を別に整理する必要がある。2009 年末現在、5733 件が DB に登録されている。小型シート、ペーン等を除き、普通切手は同一発行日は 1 件、特殊切手は同一日で発行目的が同一であれば 1 件として整理すると発行総件数 2079 件、枚数総数 5072 枚となった。発行日という点からは発行月不明が 13 件 45 枚、月日不明が 45 件 85 枚あった。

まず、発行年で整理してみると表 1、図 1 のようになる。表 1 に見られるように 1910 年代の普通切手の集約的な発行時期を除くと、発行件数と種類数は 1:1.5 ~ 2.0 の割合で推移してきたのが 1990 年代に入り、徐々に種類数の増加が見られ、20 世紀デザイン切手を契機に 2000 年からは図 1 に示すように種類数が発行数の 3 倍を超えるようになり最近では 8 倍という数値が見られ、過去の発行の姿が見られるのはわずかに国際文通週間切手等に偲ばれるという状態である。

表 1 発行件数、種類の年別推移

年	件数	種類	年	件数	種類
1871	1	4	1954	9	12
1872	1	4	1955	8	11
1874	3	14	1956	15	17
1875	3	12	1957	9	10
1876	3	6	1958	13	18
1877	4	7	1959	17	23
1879	2	4	1960	22	26
1883	1	3	1961	30	33
1888	2	8	1962	26	38
1889	1	1	1963	28	38
1892	1	1	1964	22	30
1896	2	6	1965	25	30
1899	3	13	1966	30	41
1900	2	2	1967	28	36
1901	1	1	1968	30	48
1905	1	1	1969	25	40
1906	2	4	1970	18	29
1907	1	1	1971	24	36
1908	1	2	1972	25	37
1913	2	11	1973	16	27
1914	1	13	1974	25	40
1915	1	4	1975	24	39
1916	1	3	1976	25	33
1919	3	10	1977	25	37
1920	2	4	1978	23	32
1921	2	8	1979	25	39
1922	1	3	1980	25	39
1923	2	11	1981	30	47
1924	1	2	1982	26	43
1925	2	5	1983	24	35
1926	2	4	1984	25	42
1927	1	4	1985	33	56
1928	2	5	1986	22	39
1929	5	12	1987	27	53
1930	5	10	1988	25	56
1931	2	2	1989	52	75
1932	1	1	1990	50	120
1933	1	2	1991	46	70
1934	2	5	1992	34	51
1935	2	5	1993	36	58
1936	4	12	1994	41	83
1937	14	27	1995	48	86
1938	7	11	1996	45	69
1939	15	24	1997	47	91
1940	5	15	1998	52	103
1941	3	9	1999	89	228
1942	7	14	2000	64	260
1943	2	2	2001	61	195
1944	7	10	2002	49	146
1945	9	14	2003	36	169
1946	13	18	2004	32	130
1947	16	22	2005	33	148
1948	17	22	2006	30	195
1949	33	48	2007	37	293
1950	12	22	2008	35	315
1951	35	55	2009	41	352
1952	25	48	1872-73	1	8
1953	15	23	1875-76	1	3
総計				2079	5072

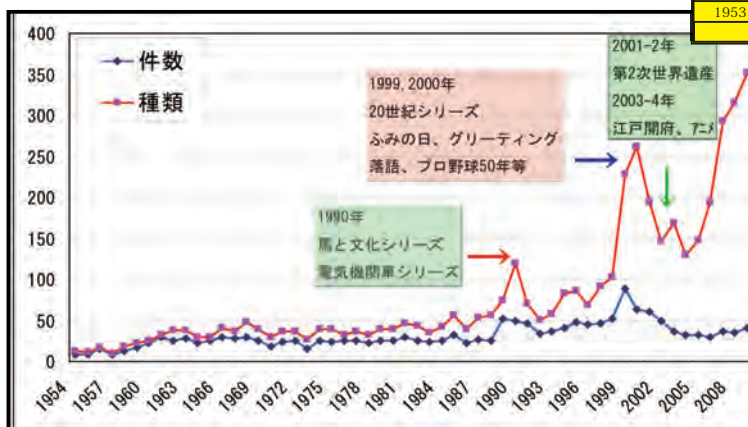


図 1 発行件数、種類数の推移 (1954 ~ 2009 年)

次に、月で整理すると表 2 のように年末、年始に発行が少なく、文化、スポーツ行事が多い秋に発行が多いことが見られる。7 月に種類が多いのは「ふみの日」の発行によると考えられる。日別では 1、10、15、20 日と区切りのよい日に発行が多くなっているが、ここでも 23 日に「ふみの日」効果がはっきりと見られる。一番の目的の誕生日として月日で整理したのが表 4 (次頁) である。一件しか発行されてい

表2 月別発行数

月	件数	種類
1月	82	201
2月	107	302
3月	158	368
4月	211	472
5月	197	385
6月	180	495
7月	204	628
8月	169	442
9月	175	346
10月	272	604
11月	192	469
12月	119	315
不明	13	45
総計	2079	5072

表3 日別発行数

日	件数	種類
1	347	867
2	82	231
3	56	138
4	27	55
5	46	121
6	67	138
7	41	81
8	34	109
9	41	75
10	112	227
11	44	72
12	36	86
13	33	69
14	32	51
15	120	210
16	61	184
17	30	70
18	42	73
19	42	74
20	136	280
21	56	199
22	59	238
23	123	605
24	44	85
25	91	159
26	58	122
27	42	114
28	52	100
29	28	42
30	36	63
31	21	49
不明	40	85
総計	2079	5072

表6 10年ごとに見る曜日別発行件数(1800年代は曜日不明扱い。手抜きです)

	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	不明	総計
1800年代								29	29
1900～10年	1	1	3	1	1	0	1	0	8
1911～20年	1	1	1	2	0	3	2	0	10
1921～30年	5	4	1	2	2	0	3	6	23
1931～40年	5	8	7	6	8	6	3	10	53
1941～50年	15	13	16	16	17	17	17	8	119
1951～60年	18	28	27	21	18	23	26	7	168
1961～70年	20	57	37	41	34	39	34	0	262
1971～80年	7	54	32	32	31	29	52	0	237
1981～90年	0	55	43	43	46	83	44	0	314
1991～00年	0	104	70	77	72	179	0	0	502
2001～09年	0	78	53	46	48	129	0	0	354
総計	72	403	290	287	277	508	182	60	2079

ない日もあれば4月20日、8月1日のように44件も発行されている日もあり、紙面の点から全てを表に記載出来ないのが各日で最初に発行された切手を表にした。

皆様の誕生日に切手が全て発行されていると考えたかったのですが、意外に発行されていない月日が表5(次頁)のように存在した。年末年始の1月、12月を中心に31の日が存在した。出来れば切手を並べたカレンダーが出来るのではという思いがあったが無理な相談であった。

最後に、くだらなさついでに、発行曜日を整理してみたのが表6である。年とともに変化がはっきり見られるのが土曜、日曜日の発行件数である。切手ブームの終焉と週休2日制の実施とともに、まず日曜発行がなくなり、ついで土曜日発行がなくなって、代わって繰り上げ、繰り下げ発行の金曜、月曜発行が多くなっている。内容的には日曜発行が通例だった国民体育大会切手が74年29回茨城大会を最後に土曜日発行となり、87年42回までが土曜に発行されていた。ちなみに特殊切手では前述の29回国体切手が、普通切手では2年後の50円緑弥勒菩薩切手が最後の日曜発行切手となっている。土曜日発行は次の5種の切手が、89年4月1日に発行されたのが最後になってしまった。消費税導入に絡んで、新料金に対応するため改色2円秋田犬、62、41円コイル切手。普通切手以外では最初の62円切手の2種のふるさと切手が発行された。これを最後に、土曜日切手発行は見られなくなってしまった。

このようなことを考えると 特定の記念日に発行された切手が再度発行される場合、その日の曜日によっては繰り上げ発行されてきていることに思いが浮かんた。切手発行日が必ずしも、記念日ではなくなったことを再確認しておくことも必要かと感じた。

最近では、慶應大学の切手であろう。創立100年の1958年11月8日は土曜日のはずであるが美しい凹版の切手が発行されている。しかし、



最後の土曜日発行普通切手3種

最後の日曜日発行切手2種

表 4 月日別切手発行状況と最初に発行された切手件名

月日	件数	種類	最初の切手	月日	件数	種類	最初の切手	月日	件数	種類	最初の切手	月日	件数	種類	最初の切手
01/01	6	11	新小判	04/11	4	5	国際航業所有保護総会	07/10	8	16	国立公園富士箱根	10/11	7	11	旧小判
01/05	1	2	インターネット博覧会	04/12	5	9	船シリーズ	07/11	2	2	日本標準時制定100年	10/12	4	4	国際航空運送会議
01/08	1	3	第2次昭和	04/14	2	3	昭和すかしなし	07/12	1	1	日本標準時75年	10/13	10	13	国際通信連合加盟75年
01/09	1	3	第3次ローマ字入り	04/15	6	10	第3次昭和	07/15	12	19	第2次昭和	10/14	7	10	鉄道70年
01/10	4	8	第2次新昭和	04/16	3	7	台湾行啓	07/16	8	14	お祭り	10/15	8	10	産業国家
01/11	4	4	国定公園 石鐘	04/17	3	12	ハンドボール世界選手権大	07/17	3	4	世界人形劇フェス	10/16	8	26	第1次昭和/10/17
01/12	1	5	伝えたい東京の風物	04/18	10	15	1971 国土緑化	07/18	2	3	国際薬理学会議	10/25	9	23	震災切手
01/13	2	7	相模絵シリーズ	04/19	8	12	1971 切手趣味週間	07/19	6	10	沖縄海洋博覧会	10/26	4	6	第12回国民体育大会
01/15	3	4	第2次新昭和	04/20	44	83	竜文切手	07/20	8	48	国立公園 十和田湖	10/27	11	19	第6回国民体育大会
01/16	4	7	年賀昭和27年用	04/21	4	15	1975 切手趣味週間	07/21	8	48	第1次昭和	10/28	7	13	第5回国民体育大会
01/17	2	3	KOBE2001 ひと・まち	04/22	2	4	第4次ローマ字入り	07/22	6	22	自然保護シリーズ	10/29	3	6	第3回国民体育大会
01/19	2	2	青年の船	04/23	5	6	なら・シルクロード博	07/23	33	205	1979 ふみの日	10/30	5	9	緯度観測所
01/20	7	11	第1次円単位	04/24	2	2	昭和コイル	07/24	1	1	酒粕の滝	10/31	4	13	田沢型大正白紙
01/21	4	14	新大正毛紙	04/25	10	19	国定公園 琵琶湖	07/25	4	5	国立公園 支笏洞爺	11/01	29	45	明治神宮鎮座
01/23	6	56	昆虫シリーズ	04/26	10	25	花の都岐阜	07/26	3	4	ガールスカウト50年	11/02	5	11	ガット東京総会
01/24	5	9	近代美術シリーズ	04/27	2	48	アジア開発銀行総会	07/27	3	6	第50回都市対抗野球	11/03	5	8	昭和立太子礼
01/25	6	10	昭和コイル	04/28	10	18	新小判	07/28	2	4	第1次世界遺産シリーズ	11/04	15	43	ボースカウト50年
01/26	5	10	昭和夫婦	04/29	1	2	日露戦争凱旋観兵式	07/29	1	3	昔ばなし	11/05	5	36	第13回国際道路会議
01/27	3	3	第4回国民体育大会冬季ナ	04/30	2	3	国定公園 錦江湾	07/30	2	5	昆虫シリーズ	11/06	4	9	奈良と太平記
01/28	4	13	昔ばなし	05/01	26	59	大正婚儀	07/31	3	6	高山植物	11/07	3	16	議事堂竣工
01/29	2	4	近代洋風建築	05/02	9	25	東京サミット	08/01	44	164	日露戦勝	11/08	4	11	慶応義塾100年
01/30	4	5	花シリーズ	05/03	3	4	日本国憲法	08/02	6	6	第13回世界ジャンボリー	11/09	6	8	近代洋風建築
01/31	5	9	1952 文化人切手	05/05	4	4	こどもの日	08/03	3	12	アジアジャンボリー	11/10	6	15	大正大礼
02/01	13	29	第1次昭和	05/06	2	2	新小判	08/05	2	3	近代美術シリーズ	11/11	7	19	オリンピック募金
02/02	3	22	第2次昭和	05/08	7	9	赤十字100年	08/06	4	5	広島平和条約	11/12	2	6	天皇在位10年
02/03	5	9	1950 文化人切手	05/09	2	2	1965 国土緑化運動	08/07	2	2	木曾三川近代治水100年	11/13	4	7	世界電気通信会議
02/05	7	23	長野オリンピック	05/10	14	19	大正銀婚	08/08	4	8	自然保護シリーズ	11/14	5	11	新宮落成
02/06	4	19	冬季オリンピック募金	05/11	2	3	電気通信展	08/09	4	5	長崎文化都市	11/15	24	66	赤十字条約75年
02/07	2	6	長野オリンピック募金	05/12	4	8	民生委員制度50年	08/10	8	18	第1次新昭和	11/16	3	7	幼稚園100年
02/09	2	12	日本の歌	05/13	2	5	国際ロータリー	08/11	4	4	第1次昭和	11/17	3	3	熱気球世界選手権
02/10	6	17	北九州府発足	05/14	3	8	東北の夏祭り	08/12	2	12	日中平和友好条約10年	11/18	2	5	世界歴史都市会議
02/11	3	11	第1次昭和	05/15	16	19	菊切手	08/15	11	20	国立公園 阿蘇	11/19	2	2	東海道電化完成
02/12	4	6	第3次国宝シリーズ	05/16	5	8	国際商業会議所	08/16	4	13	田沢型旧大正毛紙	11/20	13	29	旧小判
02/13	3	7	自然保護シリーズ	05/17	7	10	旧小判	08/17	2	2	犯罪防止国際連合会議	11/21	6	19	国際米穀年農業祭
02/15	7	15	観光地百選	05/18	6	6	1974 国土緑化	08/18	2	4	旧小判	11/22	4	15	1950 文化人切手
02/16	6	11	シンガポール陥落	05/19	6	15	1984 国土緑化	08/20	9	16	菊切手	11/23	1	1	国際児童福祉会議
02/18	1	1	自然保護シリーズ	05/20	12	24	田沢型旧大正毛紙	08/21	2	14	国立公園 霧島	11/24	5	25	健康保険50年
02/19	2	3	UPU 加入75年	05/21	6	8	昭和すかしなし	08/22	7	21	第9回国民体育大会	11/25	6	9	共同募金
02/20	5	8	菊切手	05/22	5	24	レスリング選手権	08/23	14	62	慶弔用	11/26	6	17	小内川ダム竣工
02/21	1	1	第2次昭和	05/23	14	54	1950 文化人切手	08/24	4	6	日本の歌	11/27	2	4	国立公園 秩父多摩
02/22	8	30	第1次新昭和	05/24	8	12	第3回アジア大会	08/25	8	14	1952 文化人切手	11/28	4	8	税関100年
02/23	6	43	日本民家	05/25	12	20	観光地百選	08/26	4	5	ユニバシアード東京大会	11/29	7	8	1948 切手趣味週間
02/24	1	1	全国菓子大博覧会	05/26	3	4	東名高速道路開通	08/27	4	7	高山植物	11/30	2	4	日中条約100年
02/25	6	8	尾崎記念館竣工	05/27	1	1	国土緑化	08/28	3	4	旧小判	12/01	34	93	新大正毛紙
02/26	2	6	近代美術シリーズ	05/28	4	5	第50回日本ダービー	08/29	1	1	第58回国民体育大会	12/02	4	7	年賀昭和11年用
02/27	2	2	1951 文化人切手	05/29	3	3	第52回国際ロータリー	08/30	4	5	自然保護シリーズ	12/03	5	16	選挙票
02/28	5	8	花シリーズ	05/30	6	10	国際看護協会大会	08/31	2	3	田沢型大正白紙	12/04	1	1	人権週間
03/01	17	34	芦ノ湖航空	05/31	4	9	消防100年	09/01	32	73	田沢型改色上巻	12/05	4	4	第1次ローマ字入り
03/02	6	27	沖縄海洋博覧会募金	06/01	35	104	愛国募金	09/02	5	12	第1次国宝シリーズ	12/06	4	6	国立公園 支笏洞爺
03/03	6	8	第4回国体冬季ジャブ	06/02	4	31	青い目の人形	09/03	7	12	昭和婦科	12/08	4	19	大東亜戦争1年
03/04	1	1	さんしん	06/03	5	11	環境の日制定記念	09/04	2	2	第47回国民体育大会	12/09	2	4	第2次国宝シリーズ
03/05	3	6	財政監督制度	06/04	3	3	壬生の花田植	09/05	1	1	リハビリ世界会議	12/10	14	18	年賀昭和12年用
03/06	2	3	世界一周航空路開設	06/05	4	13	メートル法実施	09/06	5	5	第51回国民体育大会	12/11	3	3	第1次昭和
03/08	2	3	国連加盟	06/06	5	6	読法公布25周年	09/07	5	5	国際郵政医学会議	12/12	2	6	郵便開設75年
03/09	2	3	明治銀婚	06/07	3	3	第4次ローマ字入り	09/09	6	12	第3回国民体育大会夏季	12/13	2	2	年賀昭和24年用
03/10	13	32	新小判	06/08	2	5	自然保護シリーズ	09/10	7	10	第2次新昭和	12/14	3	4	貯蓄増強宣伝
03/11	2	3	船シリーズ	06/10	9	13	第2次新昭和	09/11	3	4	国定 妙義荒船伝久高原	12/15	7	12	年賀昭和13年用
03/12	5	16	国定 明治の森高尾 箕面	06/11	3	3	第1次昭和	09/12	3	4	神経・脈流臨床国際会議	12/16	3	49	年賀昭和39年用
03/13	2	9	伝統工芸品	06/12	3	9	原子力船進水	09/13	5	7	司法保護	12/17	1	1	角館の武家屋敷
03/14	2	4	万国博覧会 第1次	06/13	3	12	日本列島クリーン運動	09/14	6	6	アルコール専売制度10年	12/18	3	4	日本機械運航見本市
03/15	13	18	日本貿易博覧会	06/14	1	1	北海道100年	09/15	7	8	田沢型旧大正毛紙	12/19	1	1	年賀昭和35年用
03/16	9	13	第2次新昭和	06/15	6	9	第3次昭和	09/16	5	16	国立公園 十和田八幡平	12/20	10	22	五重塔航空
03/17	3	25	世界フィギュアスケート選手権	06/16	3	13	日本の歌	09/17	3	6	リンゴ100年	12/21	2	11	第1次昭和
03/18	3	4	新小判	06/17	1	1	おまわりさん誕生100年	09/18	5	8	原子力竣工	12/22	3	21	年賀昭和36年用
03/19	6	14	第1次円単位	06/18	6	17	ブラジル移住50年	09/19	4	7	1951 文化人切手	12/24	1	2	議会開設70年
03/20	11	27	岡山博覧会	06/19	1	1	太平洋横断ケーブル開通	09/20	6	17	第1次円単位	12/25	3	6	国立公園 日光
03/21	7	20	朝鮮経済	06/20	7	24	第1次円単位	09/21	6	7	第1次昭和	12/26	1	1	第1次ローマ字入り
03/22	2	3	放送25年	06/21	6	26	第61回ライオンズ国際大会	09/22	9	40	第2次昭和				
03/23	10	42	1951 文化人切手	06/22	8	32	特殊鳥類	09/23	1	1	東北の四季物語				
03/24	4	6	国定公園 比婆道後歩程	06/23	21	83	旧小判	09/24	2	2	天草架橋完成				
03/25	10	15	電灯75年	06/24	4	8	赤十字思想100年	09/25	9	19	第1回国勢調査				
03/26	4	10	古墳壁画	06/25	8	11	観光地百選	09/26	10	26	第1次新昭和				
03/27	3	3	菊切手	06/26	6	8	国際協力年	09/27	8	14	49回国連会議同盟会議				
03/28	2	4	藤原京創部1300年	06/27	3	7	万国郵便連合加盟50年	09/28	4	8	ビジネスパーク				
03/29	1	1	第3次ローマ字入り	06/28	7	15	歌舞伎シリーズ	09/29	5	7	世界公刊：医療情報会議				
03/30	2	3	大鴨門橋・明石海峡大橋	06/29	4	7	旧小判	09/30	3	6	国立公園 陸中海岸				
03/31	3	9	水辺の鳥シリーズ	06/30	6	13	旧小判	10/01	40	95	菊切手				
04/01	27	52	菊切手	07/01	43	108	自然通信合同	10/02	17	29	神宮式年遷宮				
04/02	11	27	満州国皇帝来訪	07/02	12	34	第2次円単位	10/03	6	15	飛行試行				
04/03	9	35	第1次昭和	07/03	2	8	北の動物たち	10/04	3	3	1959 国際文通週間				
04/05	4	8	SLシリーズ	07/04	2	2	日本の自然	10/05	5	8	1958 国際文通週間				
04/06	3	7	国立文楽劇場開場記念	07/05	6	13	風景切手	10/06	31	62	芦ノ湖航空				
04/07	3	3	1973 国土緑化	07/06	3	14	愛唱歌シリーズ	10/07	10	20	1962 国際文通週間				
04/08	2	8	瀬戸大橋開通	07/07	13	26	愛知用水通水	10/08	6	18	第16回国民体育大会				
04/09	2	2	建築学100年	07/08	2	25	西国八十八ヶ所 第2集	10/09	13	25	1960 国際文通週間				
04/10	15	27	国立公園 吉野熊野	07/09	1	1	1951 文化人切手	10/10	8	34	万国郵便連合 UPU75				

表 5 切手発行のない日

1月2日	2月17日	8月19日
1月3日	3月7日	9月8日
1月4日	4月4日	12月7日
1月6日	4月13日	12月23日
1月7日	5月4日	12月27日
1月14日	5月7日	12月28日
1月18日	6月9日	12月29日
1月22日	7月13日	12月30日
2月4日	8月4日	12月31日
2月8日	8月13日	
2月14日	8月14日	

表6 複数回発行切手の発行日

発行件名	件数	一致	発行日
議会開設記念	5	4/5	12/24,11/29(4)
郵便創業記念	5	3/5	4/20(3),12/12,4/14
沖縄復帰記念	4	4/4	5/15(4)
世界人権宣言記念	4	2/4	12/10(2),12/5(2)
鉄道記念	3	3/3	10/14(3)
日中国交正常化記念	3	2/3	9/29(2),9/13
天皇即位	3	2/3	11/9,11/12(2)
国際通信連合加盟記念	2	2/2	10/13(2)
国際放送開始記念	2	2/2	6/1(2)
婦人参政権	2	2/2	4/10
日中平和友好条約	2	2/2	9/12
天皇ご成婚	2	2/2	4/10
近代製鉄発祥	2	2/2	12/1(2)
UPU 加入記念	2	0	6/27,6/20
放送開始記念	2	0	3/22,3/20
青年海外協力隊創設記念	2	0	10/9,4/20
電話創業記念	2	0	12/16,12/14
東京天文台記念	2	0	10/29,11/1
日韓国交記念	2	0	9/8,12/18
慶應大学創立	2	0	11/8,11/7
赤十字思想	2	0	6/24,5/8
平和条約	2	0	9/9,9/7
昭和天皇在位	2	0	11/10,4/28
国連加盟	2	0	3/8,9/29

カッコ内数は発行回数



慶應大学創立
11月8日と7日



平和条約締結
9月9日と7日



150周年の2008年11月8日も同じく土曜日、今回は繰上げでグラビアの切手が11月7日金曜日に発行された。このような繰り上げ当選ならぬ繰上げ発行の切手を捜してみたら、見つかりました、切手趣味週間、国際文通週間の様に4月20日、10月6日に強いてこだわる必要が少ないものは別にして、一つの記念事項に複数回切手が発行されているものを整理すると表6のように22件が該当した。このうち発行日が一致しているのは7件のみという結果であった。これらのうち、平和条約記念、日中国交正常化記念、東京天文台、電話創業などは発行日が土日を避けて繰り上げ発行がされた結果であると考えられた。また、曜日とは関係なく日付が異なることもみられ、切手発行日から記念日を特定することは危険であることを痛感。更に、今後は祭日には新たな切手の発行は期待できないのでは、とも考えた。

最後に、切手の誕生日を視覚的に楽しんでいただけたらとおもい少し遊びました。切手発行日カレンダー作成の試みをご笑覧下さい。

2011年9月						
日	月	火	水	木	金	土
				1 キョウ	2 関西空港開港	3 万国博覧会
4 第47回国民体育大会	5 リハビリテーション 世界会議	6 民間航空再開 50年	7 国際通貨基金総会	8 リンドウ	9 平和条約	10 北海道日本庁舎
11 第53回国民体育大会	12 無形・民俗文化財国際会議	13 司法保護	14 アルコール専売制度 100周年	15 八咫鳥干渉式	16 国際郵便電信電話万国 世界大会	17 リンゴ100年
18 原子炉竣工	19 国際電気通信連合会議	20 航空50年	21 金谷 安井神太郎	22 シマツクロウ	23 岩木山と林檎	24 アマチュア無線50年
25 第1回国勢調査	26 若戸大橋	27 49回列国議会同盟会議	28 2007 国際文通週間	29 日中国交正常化20年	30 樽屋蔵酒所	

薄黄色マスは発行無しの日

「稲門フィラテリー 10 周年展」開催決定

「都の西北 ―郵便から見た大学史―」

期間：平成 22 年 10 月 17 日（日）

～ 11 月 7 日（日）

会場：ワセダギャラリー（27 号館 1F）

協力：早稲田大学校友会（早稲田大学校友会設立 125 周年記念の一環として）

早稲田大学 大学史資料センター

展示内容

- ・主展示は池澤克就会員の作品「都の西北」（スタンプショウ 07 の作品を主体）
 - ・切手研究会の早稲田祭記念漫画絵はがき
 - ・稲門フィラテリー 10 年の歩み（仮）
- 会員のご協力をお願いします。

今年の見学旅行は群馬県

稲門フィラテリー恒例の見学旅行は群馬県に残る明治文化遺産を訪ねます、富岡製糸場、碓氷峠鉄道施設等の見学と伊香保温泉での研修会。全行程 バスを利用します。

期日は 4 月 16 日（金）～ 17 日（土）

みなさま、奮ってご参加下さい。



長谷部会員の旅行文 新聞に掲載

池山会員と旅行をされた長谷部会員の三宅島の旅の思いが埼玉新聞 2009.12.10 朝刊に掲載されましたので転載しました。

お詫びと訂正

本会報 34 号 11 ページ日本切手 2009 年の発行状況の記事の中の発行件数に誤りがありました。発行件数を総件数 41 ふるさと 19 特殊 20 通常 1 年賀 1 に訂正下さい。グリーティング、開港記念、少年漫画の扱いを間違えました。

1880年に大学に入学、最初の夏休みに三宅島に上陸滞在した。サークルの先輩が都立三宅高校の教員になっていたのを追い掛けた旅だった。週一便の旅客船からはしげに乗り移って上陸。校舎での自然生活（民宿もなかった）。雄山の登山。その山頂近くの牧場で飲んだ牛乳のおいしさは強く心に刻まれた。

それから半世紀、定年退職した昔の仲間の話で「三宅島に行こう」といつかになり、10月末に実現した。この半世紀の間に三宅島は3度の噴火を経験、2年余りの全島民避難もあった。避難命令が解除されて、どうなっているかといふことも関心の的だった。

50年前と同じだったのは「最後

三宅島再訪

長谷部 晃

所蔵へらいなもの、泊まった高校の校舎は噴火の影響は受けなかったが、鉄筋に建て替えられ、校地はネットで囲まれていた。記念写真を書いた植え込みもなくなっていた。牧場は噴火で全滅、牛はいなくなった。かつて緑を誇っていた山の木は立ち枯れていた。

しかし、危険区域以下の山の中腹では、立ち枯れたシイの木の間隙に若木が伸び始めていた。自然の復元力こそが驚くものだろうか。民宿のおかみさんは、元の住まいは火山ガスの高濃度地区で住めないのを安全な所に移って民宿を再開し、釣り客を中心にお客さんも戻ってきた、と喜んでいました。

住民は高齢者が多いが、元気で親切だった。火山の噴火に負けないう村民と自然の回復力に心打たれた旅だった。

（長谷部、67歳）

編集後記

土門拳が撮影した写真で編集された 1937 年（昭和 12 年）年政経学部卒業記念アルバム復刻版出版記念写真展を杉山会員と訪ねた。戦争突入前の学生生活が思いのほか、豊かだったと感じた。銀座、浅草での喫茶、運動・音楽活動の様子等、当時の社会での学生のおかれた立場と現在との違いを、痛感させられるものでした。角帽、詰襟、詰襟につけられた W 字の中に漢字で政経と書かれたバッジを、なつかしく思うのは後期高齢者予備軍の会員まででしょうか。女子学生の皆無のアルバムは異様な感を受けうけ、キャンパスの上に広がる広々とした空が空の存在をあらためてを感じさせ、羨ましく感じました。

今年は視点をかえた方が編集します。従来と異なるイメージの会報がお届けできると思います。

訃報

田中 駿一会員が 1 月に逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

発行日：2010 年 3 月 1 日

発行：稲門フィラテリー

発行人：小西 邦彦

〒150-0002

渋谷区渋谷 1-11-3 正栄ビル 4F

（株）英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：吉沢 忠一 五十野 和男

池澤 克就 小川 義博